

壬生町学校施設長寿命化計画



令和 3 年 3 月

壬生町学校教育課

目 次

1. 長寿命化計画の背景・目的	1
(1) 計画の背景	1
(2) 計画の目的	2
(3) 計画期間	2
(4) 対象施設	2
2. 学校施設の目指すべき姿	3
3. 学校施設の実態把握	4
(1) 学校施設の運営状況・活用状況等の実態	4
1) 人口の推移	4
2) 児童生徒数の推移	5
3) 財政状況	6
4) 施設の保有状況	7
5) 児童生徒数	9
6) 教室の利用状況	10
7) 将来における余剰教室の検討	11
(2) 学校施設の老朽化状況の実態	12
1) 学校施設の経過状況	12
2) 学校施設の劣化状況	13
3) 学校施設の老朽化状況を踏まえた課題	80
4. 学校施設整備の基本的な方針等	94
(1) 学校施設の規模・配置計画等の方針	94
(2) 改修等の基本的な方針	94
1) 維持管理の基本方針	94
2) 施設の耐用年数	95
3) 目標使用年数の設定	95
4) 修繕・改修周期の設定	101
5) 各施設の目標使用年数に応じた修繕・改修周期とこれまでの修繕状況	102

5. 基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等	110
(1) 改修等の整備水準	110
(2) 維持管理の項目・手法等	111
1) 維持管理の体制	111
2) 日常的な点検	112
3) 学校施設における定期点検の義務	113
4) 施設・設備点検の実施体制	114
5) 点検・修繕などの履歴情報の管理	114
6. 長寿命化の実施計画	115
(1) 補助制度と事業内容	115
(2) 整備レベルの見直し	116
(3) 改修等の優先順位付けと実施計画	117
1) 改修等の基本方針	117
2) 長寿命化改良事業の対象要件と各学校施設の状況	117
3) 改修等事業の優先順位付け	118
4) 改修等の実施計画	119
5) 長寿命化のコストの見通し、長寿命化の効果	120
7. 長寿命化計画の継続的運用の方針	121
(1) 推進維持体制等の整備	121
(2) フォローアップ	122

1. 長寿命化計画の背景・目的

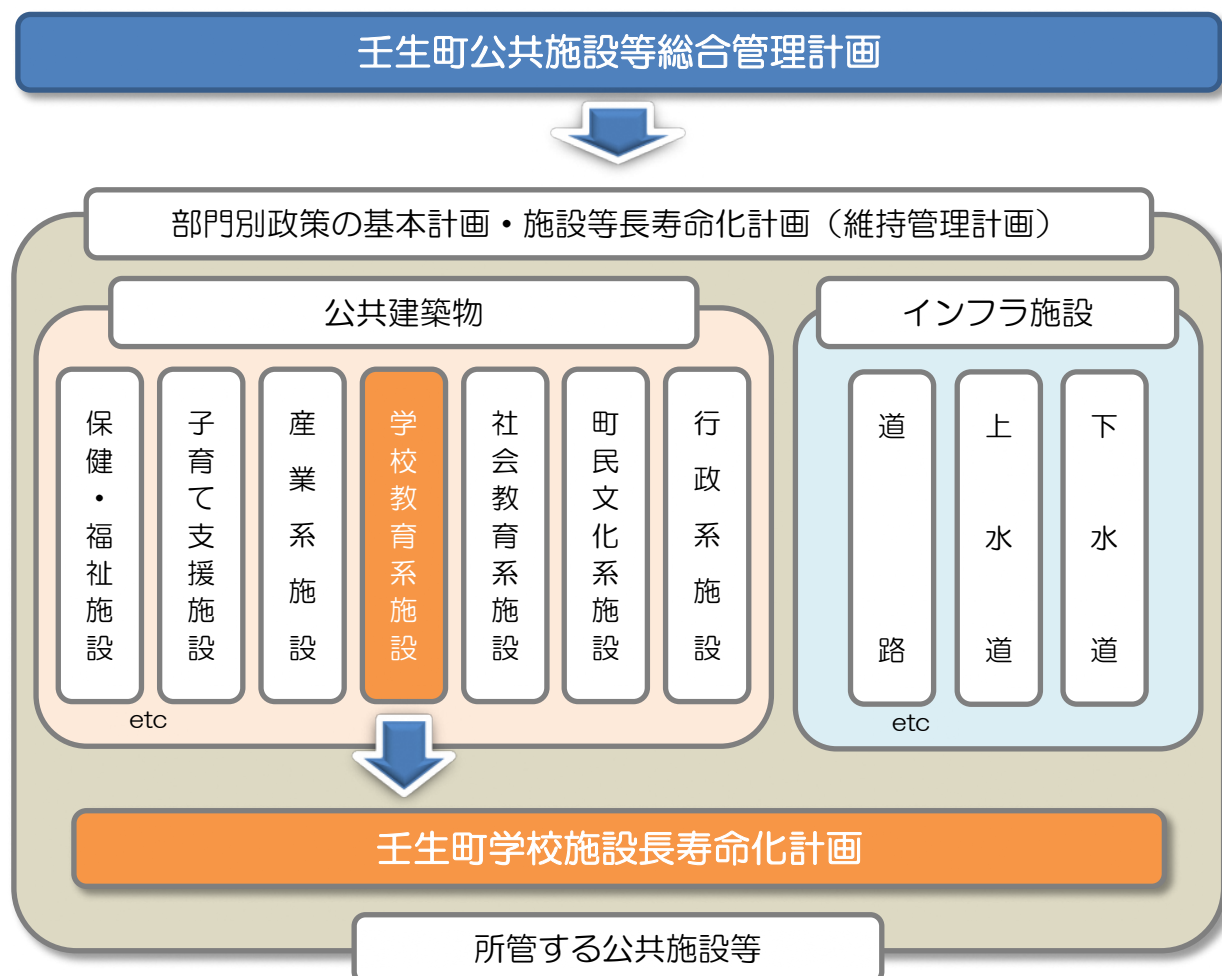
(1) 計画の背景

壬生町では、人口減少や少子高齢化の進行、利用者ニーズの変化、依然として続く厳しい財政状況の中、公共施設等の現状や課題を把握し、長期的な視点のもと、施設の更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行うことにより、財政負担の軽減や平準化を図り、公共施設等の適正配置を実施することが必要となっています。そこで、公共施設等のマネジメントを推進し、その機能を維持しつつ、総合的かつ計画的な管理を推進するため、平成 29 年 3 月に「壬生町公共施設等総合管理計画」を策定しました。

本町が所有する公共施設等（建築物）の総延床面積は約 11.9 万㎡であり、このうち学校施設は全体の 55.8%を占め、全ての公共施設の中で最も多い施設となっています。学校施設は、小学校 8 校、中学校 2 校の合計 10 校あり、これらは昭和後期から平成初期にかけて整備されたものが多く、建設後 30 年以上を経過し、施設・設備の老朽化が進んでいます。今日の学校施設には新学習指導要領等に基づく多様な学習内容や形態に対応した高機能かつ多機能な施設環境の整備に加え、防災対策、バリアフリー化、普通教室やトイレ等、子どもたちの学習・生活空間の快適化や環境負荷の低減等、様々な配慮が求められています。

本計画は、この「壬生町公共施設等総合管理計画」で取りまとめた基本方針に基づき、学校施設長寿命化計画を策定するものとします。

図表 1：学校施設長寿命化計画の位置づけ



（２）計画の目的

施設設備の維持管理については、これまでの対症療法的な方法から予防保全的な方法へ転換し、その機能や設備を常に良好な状態に保ち、長寿命化に努めます。

また、壬生町学校施設長寿命化計画の策定により、学校施設の使用年数の向上、ライフサイクルコストの縮減、中長期における財政の見通しを立てるとともに財政負担の平準化を目指します。

（３）計画期間

上位計画となる「壬生町公共施設等総合管理計画」の計画期間は、平成 29 年度（2017 年度）から平成 68 年度（2056 年度）までの 40 年間となっています。本計画は、学校施設の維持管理計画において中長期における財政の見通しを立てるものとしておりますが、昨今の建設部材の高騰や人件費の高騰を鑑み、計画期間を令和 3 年度（2021 年度）から令和 12 年度（2030 年度）までの 10 年間とします。ただし、計画期間内であっても上位計画の見直しや社会情勢の急激な変化等により、必要に応じて適宜見直すものとします。

（４）対象施設

本計画の対象となる施設は、以下のとおりとします。

図表 2：対象施設

学校施設 10 校	小学校:8校	壬生小学校 藤井小学校 壬生東小学校 睦小学校 稲葉小学校 羽生田小学校 壬生北小学校 安塚小学校
	中学校:2校	壬生中学校 南犬飼中学校

2. 学校施設の目指すべき姿

本計画の上位計画となる「壬生町公共施設等総合管理計画」における公共施設等の管理に関する基本的な方針において、学校教育施設は中断することができないサービスであるため、施設を長期間保持し続けるために可能な限り長寿命化を図っていくものとしています。また、長期的には、少子化による児童生徒の減少が生じ、学校運営に支障をきたす場合には、適切な施設配置についても検討していく方針です。

学校施設は、義務教育施設としての役割のほかに、地域コミュニティの活動拠点、災害時の防災拠点、校庭・屋内運動場等の開放などによる地域スポーツの活動拠点など、施設利用の多様性を踏まえた適切な管理を検討する必要があります。新たな学校教育と地域拠点としての役割を果たすべき学校教育施設ですが、老朽化の進行により建設当時の安全性が確保できなくなっていたり、時代の推移とともに現代の学校施設に求められる ICT 化や省エネルギー性、バリアフリー等の社会的要求にも対応できなくなってきました。

これまでの改築中心の考えでは、概ね 40 年から 50 年の期間で建替えを実施してきましたが、人口減少等による税収の減少や少子高齢化による扶助費の増加等により、これまでに整備してきた施設の修繕や更新、維持管理等に必要となる財源の確保が厳しくなっていくことが予測されます。

今後は、これまでのように建替え中心の考え方から、現在ある施設や設備を改修して長期的に活用していくという長寿命化の考え方に改め、設備の現代化改修と有効利用により、安全・安心な教育の場と地域に開けた学校施設を目指すものとします。

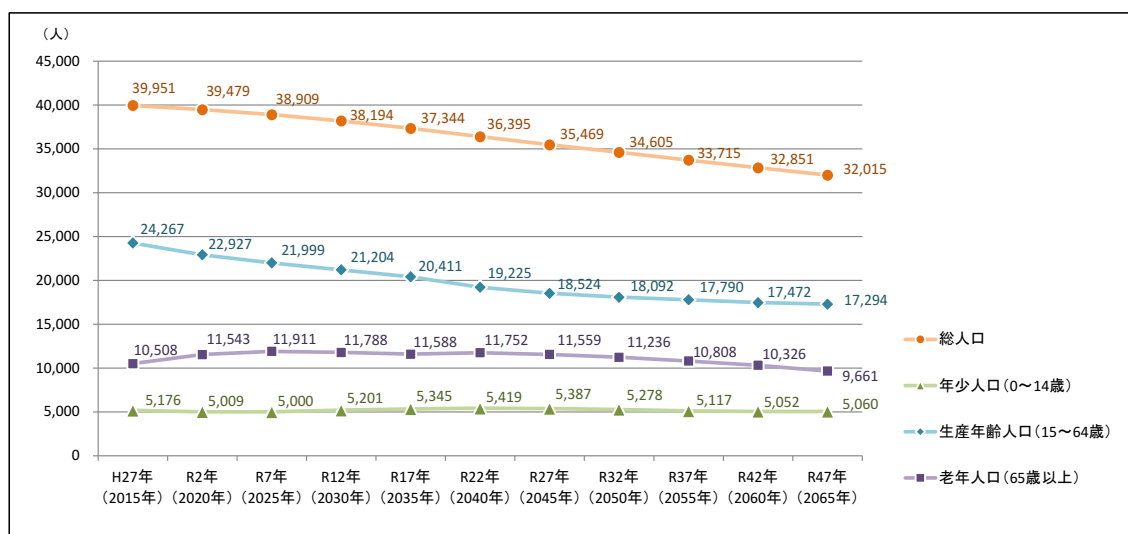
3. 学校施設の実態把握

(1) 学校施設の運営状況・活用状況等の実態

1) 人口の推移

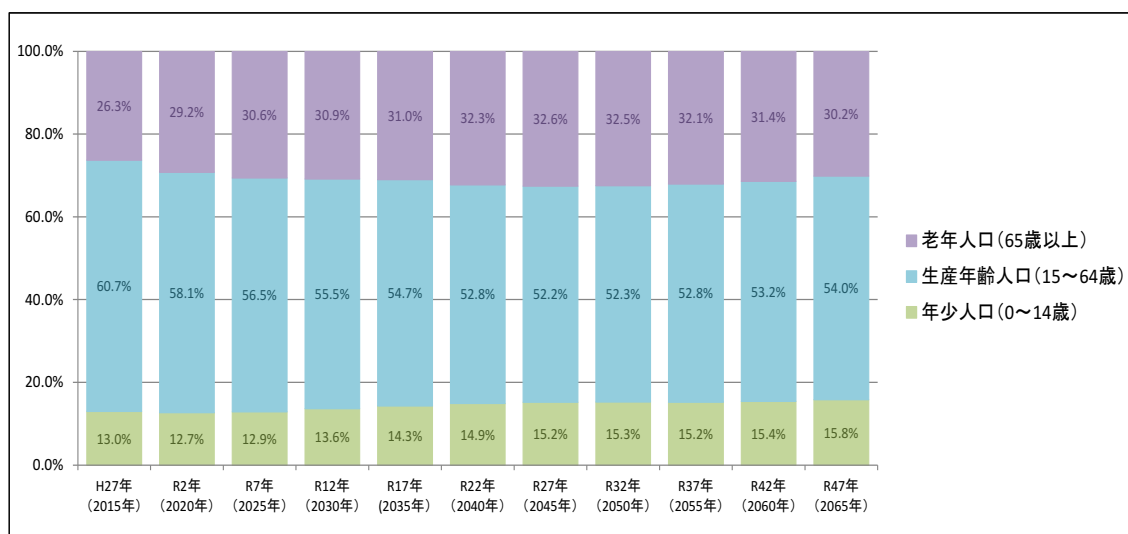
第2期壬生町人口ビジョン（令和2年3月改定）における将来人口の見通しをみると45年後の令和47年（2065年）には、約7,500人減少して32,015人になると想定されています。なお、将来展望人口の実現に向けて、産業振興や利便性の向上、子育て支援に取り組むことで、若年層の転出を抑制するとともに子育て世代の移住・定住を促進し、バランスの取れた人口構成を目指します。

図表3：年齢別人口の推移



資料：第2期壬生町人口ビジョン（令和2年3月改定）より作成

図表4：年齢別人口の構成割合の推移



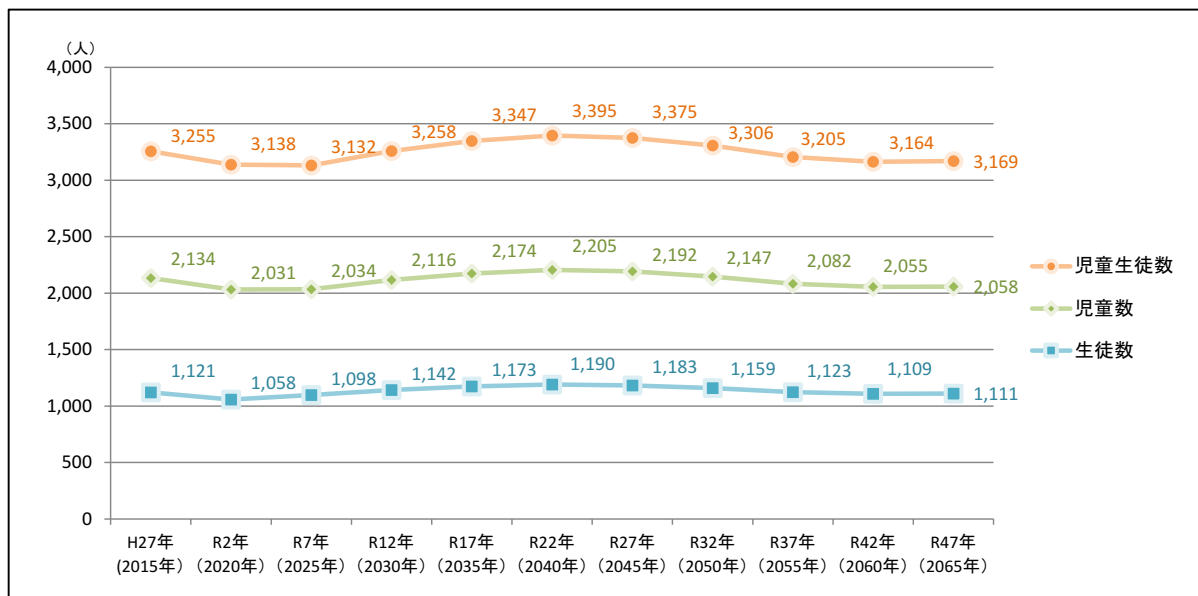
資料：第2期壬生町人口ビジョン（令和2年3月改定）より作成

2) 児童生徒数の推移

第2期壬生町人口ビジョンの推計値を基に将来における児童生徒数を試算すると45年後の令和47年(2065年)には、現在(2020年)より31人増加して3,169人になることが予想されます。

産業振興や利便性の向上、子育て支援に取り組むことで児童生徒数は緩やかに増加し、20年後の令和22年(2040年)の3,395人をピークに緩やかな減少傾向に転じます。

図表5：人口推計結果を用いた児童生徒数の推移の見通し



資料：国勢調査及び第2期壬生町人口ビジョン（令和2年3月改定）より作成

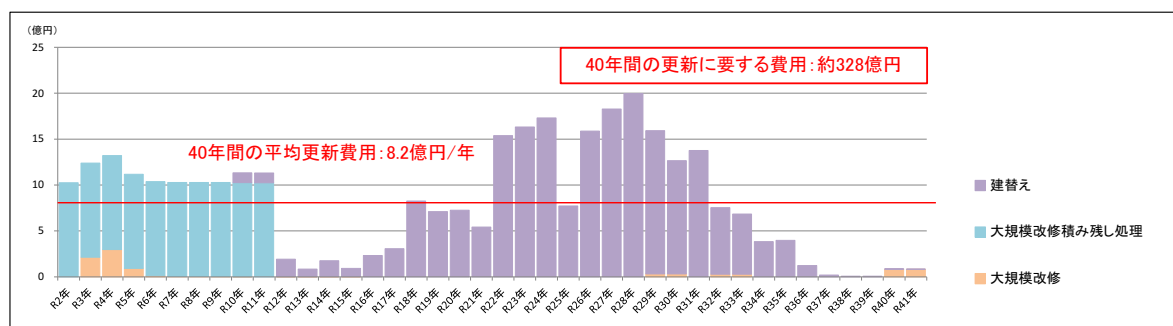
3) 財政状況

今後の学校施設の更新費用を公共施設更新費用試算ソフト（（一財）地域総合整備財団）を用いて試算すると、今後 40 年間に要する更新費用の総額は、約 328 億円（年間 8.2 億円）と試算されます。

上位計画となる壬生町公共施設等総合管理計画で取りまとめた公共施設の更新費用等の見通しは、今後 40 年間で 586.2 億円（年間 14.7 億円）であり、学校施設だけで年間維持管理費の約 56%を占めることになります。

なお、学校施設の過去 3 年間における普通建設事業費の合計は、約 2.94 億円であり、年平均でおよそ 9,800 万円となっています。試算ソフトを用いた更新費用と過去の実績に基づく歳出額に大きな差異が生じていることから、今後一層、適切な維持管理における更新費用の縮減と財政負担の平準化が必要であることがわかります。

図表 6：今後 40 年間の学校施設の更新に要する費用



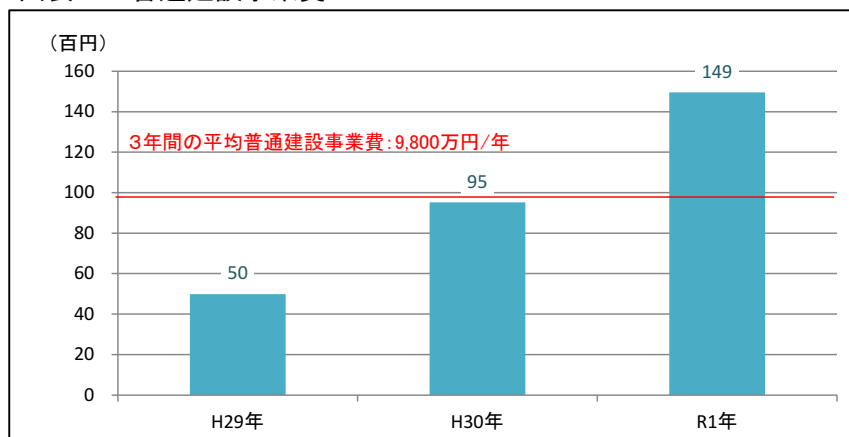
資料：学校施設台帳より作成

図表 7：更新費用の設定条件

分 類	項 目	
大規模改修	実施年数	30 年
	修繕期間	2 年
	大規模改修積み残し処理期間	10 年
	単価	17 万円/㎡
建替え	更新年数	60 年
	建替え期間	3 年
	単価	33 万円/㎡

資料：公共施設更新費用試算ソフト/（一財）地域総合整備財団

図表 8：普通建設事業費



資料：教育委員会資料より作成

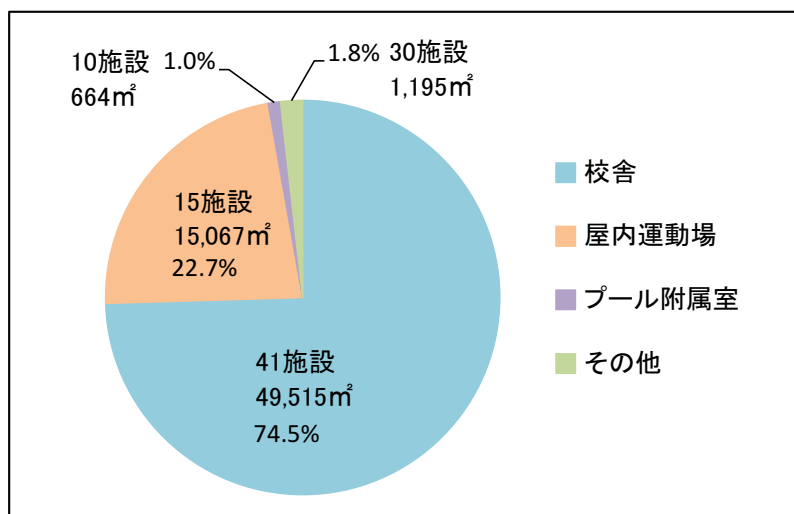
4) 施設の保有状況

本町は、小学校8校、中学校2校の合計10校の学校施設を保有しており、令和2年度に文部科学省に提出した公立学校施設台帳では、建物が96施設、延べ床面積66,441㎡となっています。

建物種別における面積割合でみると、校舎が74.5%、屋内運動場が22.7%と学校施設全体の90%以上を占めています。

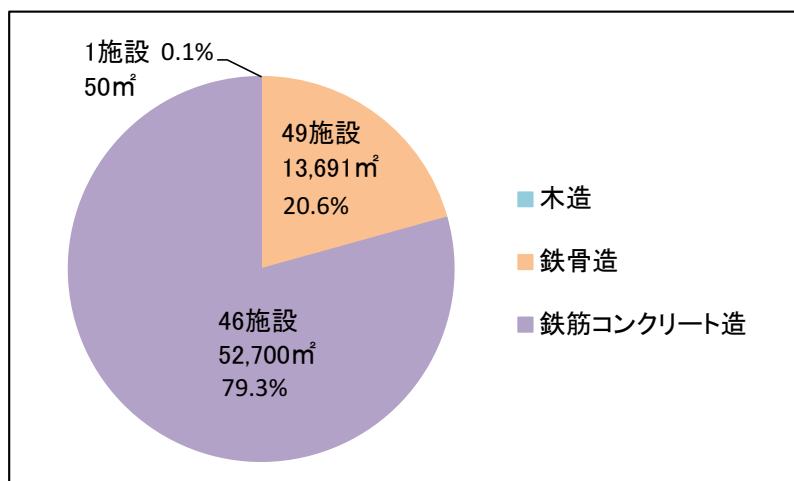
また、構造種別の面積割合でみると、木造が0.1%、鉄骨造が20.6%、鉄筋コンクリート造が79.3%となっています。

図表9：学校施設の建物種別面積割合



資料：学校施設台帳より作成

図表10：学校施設の構造種別面積割合



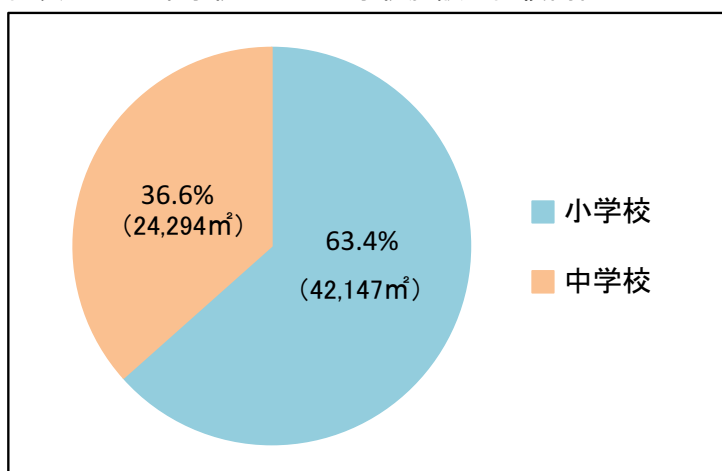
資料：学校施設台帳より作成

学校施設を延べ床面積の割合でみると、小学校は 63.4%、中学校は 36.6%となり、学校数が多い分、小学校の整備規模が大きくなっています。

また、学校施設を利用する児童生徒数（2020 年）でみると、児童数は 2,031 人、生徒数は 1,058 人であり、小学校利用者数が中学校利用者数の約 2 倍という状況となっています。

この状況を踏まえ、小学校と中学校施設の延べ床面積における児童生徒 1 人当たりの保有面積をみると、小学校は 20.8 m²、中学校は 23.0 m²となり、文部科学省が整理した全国平均値 15.5 m²（2010 年）を満たす教育環境が整備されています。なお、学校別にみると、安塚小学校（11.2 m²）は、延べ床面積に対して児童数が多く、他の学校施設に比べて児童生徒 1 人当たり面積が小さくなっています。

図表 11：小中学校における学校施設の面積割合



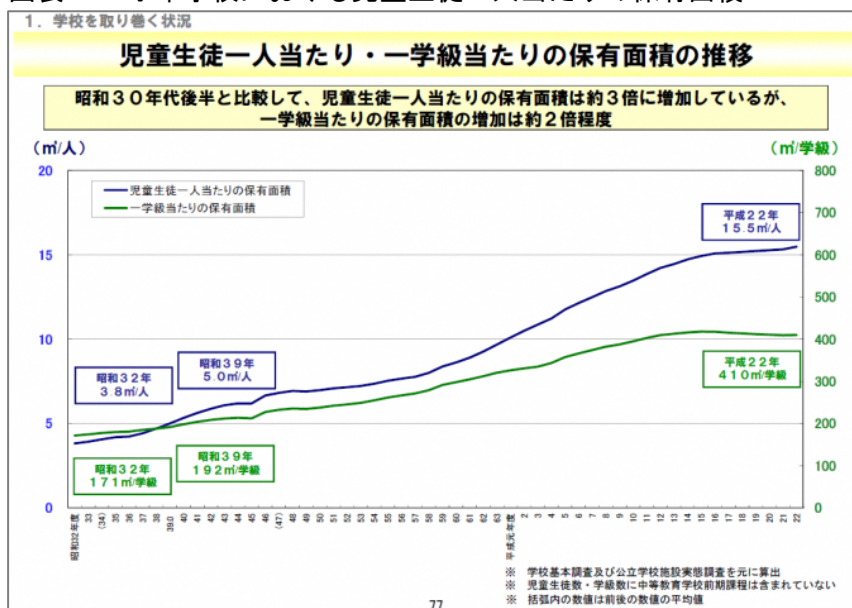
資料：学校施設台帳より作成

図表 12：児童生徒 1 人当たりにおける学校施設面積

分類	学校名	施設数	延べ床面積 (m ²)	児童生徒数 (人)	児童生徒 1 人当たり面積 (m ²)
小学校	壬生小学校	10 施設	10,641	623	17.1
	藤井小学校	9 施設	3,232	39	82.9
	壬生東小学校	6 施設	6,091	349	17.5
	睦小学校	10 施設	5,245	297	17.7
	稲葉小学校	8 施設	4,359	116	37.6
	羽生田小学校	7 施設	3,168	30	105.6
	壬生北小学校	9 施設	3,882	83	46.8
	安塚小学校	9 施設	5,529	494	11.2
	計	68 施設	42,147	2,031	20.8
中学校	壬生中学校	14 施設	12,237	543	22.5
	南犬飼中学校	14 施設	12,057	515	23.4
	計	28 施設	24,294	1,058	23.0
	合計	96 施設	66,441	3,089	21.5

資料：学校施設台帳より作成

図表 13：小中学校における児童生徒 1 人当たりの保有面積



資料：文部科学省

5) 児童生徒数

壬生町立学校施設に通う令和2年度の児童生徒数は、3,089人（132学級）となっています。

全校の児童生徒数が100人未満の学校施設は、藤井小学校（39人）、羽生田小学校（30人）、壬生北小学校（83人）の3校となっています。このうち、藤井小学校と羽生田小学校においては、小さい学校だからこそできるきめ細やかな指導や少人数での教育の良さを生かした魅力ある教育活動に取り組んでいます。

図表 14：児童生徒数

(人)

学校名	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	特別支援教室	合計
壬生小学校	81	101	87	111	109	99	35	623
藤井小学校	7	8	8	8	2	6	0	39
壬生東小学校	53	59	65	53	58	46	15	349
睦小学校	47	37	50	45	54	48	16	297
稲葉小学校	15	17	19	18	16	20	11	116
羽生田小学校	7	4	3	1	10	5	0	30
壬生北小学校	12	13	12	17	14	8	7	83
安塚小学校	83	74	84	78	83	69	23	494
計	305	313	328	331	346	301	107	2,031
壬生中学校	149	198	170	-	-	-	26	543
南犬飼中学校	171	146	175	-	-	-	23	515
計	320	344	345	-	-	-	49	1,058
合計								3,089

資料：学校施設台帳より作成

6) 教室の利用状況

令和2年5月1日現在における学級数（普通学級と特別支援学級の合計）は、小学校で96学級、中学校で36学級の合計132教室が利用されています。

図表 15：教室の利用状況

(教室)

学校名	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	特別支援教室	合計
壬生小学校	3	3	3	3	3	3	6	24
藤井小学校	1	1	0	1	0	1	0	4
壬生東小学校	2	2	2	2	2	2	3	15
睦小学校	2	1	2	2	2	2	3	14
稲葉小学校	1	1	1	1	1	1	2	8
羽生田小学校	1	1	0	1	0	1	0	4
壬生北小学校	1	1	1	1	1	1	2	8
安塚小学校	3	2	3	2	3	2	4	19
計	14	12	12	13	12	13	20	96
壬生中学校	4	5	5	-	-	-	4	18
南犬飼中学校	5	4	5	-	-	-	4	18
計	9	9	10	-	-	-	8	36
合計								132

資料：学校施設台帳より作成

7) 将来における余剰教室の検討

前項の2) 児童生徒数の推移で示したように、産業振興や利便性の向上、子育て支援に取り組むことで45年後(2065年)には、児童生徒数は現在より多い3,169人になるものと推測されます。

第2期壬生町人口ビジョンの将来展望人口を実現させると児童生徒数のピークとなる令和22年(2040年)には小学校で5教室、中学校で4教室不足することが予想されます。その後、児童生徒数の減少にともない教室不足も解消していき、令和47年(2065年)には小学校で1教室、中学校で2教室の不足となり、現在の学校施設と同規模となります。

また、本町の人口政策の効果が現れるまでの期間においても少人数教室や特別支援学級への対応の必要性から現在の学校施設規模を維持する必要があります。

図表 16：余剰教室の推計

分類		平成27年 (2015年)	令和2年 (2020年)	令和12年 (2030年)	令和22年 (2040年)	令和32年 (2050年)	令和42年 (2060年)	令和47年 (2065年)
小学校	児童数	2,134	2,031	2,116	2,205	2,147	2,055	2,058
	増減(人)			85	174	116	24	27
	増減(教室)		0	3	5	4	1	1
中学校	生徒数	1,121	1,058	1,142	1,190	1,159	1,109	1,111
	増減(人)			84	132	101	51	53
	増減(教室)		0	3	4	3	2	2
合計	児童生徒数	3,255	3,089	3,258	3,395	3,306	3,164	3,169
	増減(人)		0	169	306	217	75	80
	増減(教室)		0	6	9	7	3	3

※小中学校の1教室における児童生徒数を35人と設定する。

資料：第2期壬生町人口ビジョン（令和2年3月改定）より作成

(2) 学校施設の老朽化状況の実態

1) 学校施設の経過状況

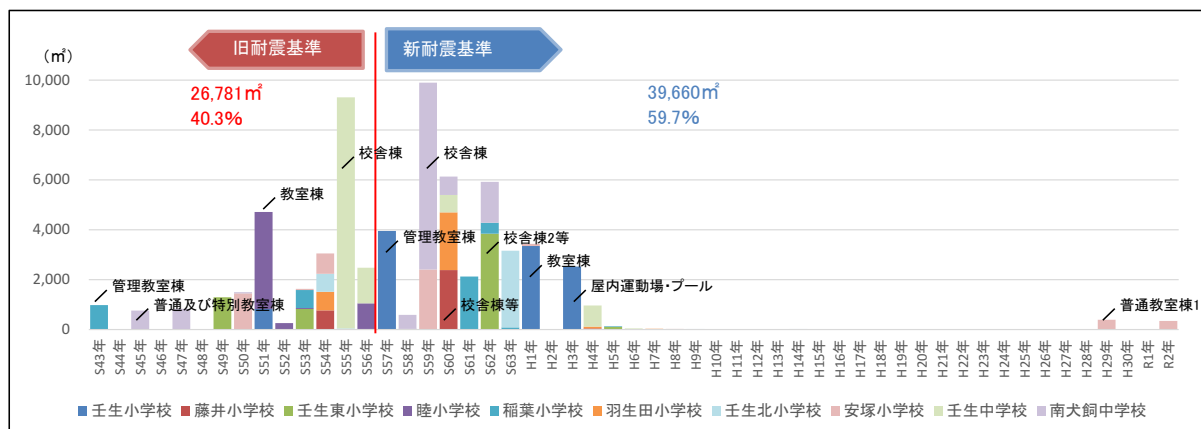
本町の学校施設は、建設から30年以上経過するものが80施設あり、延べ床面積にして61,978㎡と全体の93.3%を占めています。

また、昭和56年(1981年)以前の旧耐震基準で建てられた施設の延べ床面積の合計は、26,781㎡であり、全体の40.3%となります。

最も古い施設は、昭和43年(1968年)に建設された稲葉小学校の管理教室棟であり、建設から52年が経過しています。

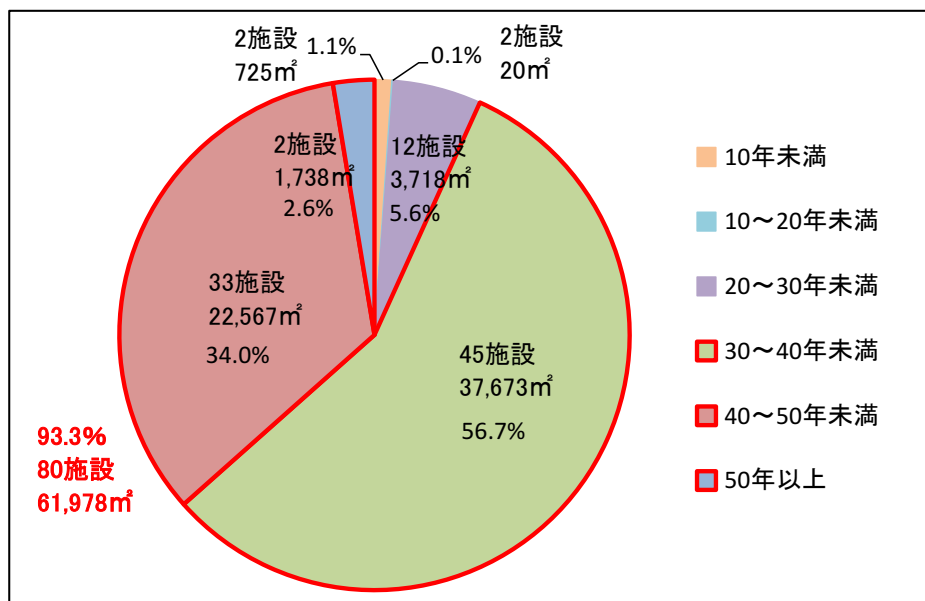
なお、旧耐震基準で建てられた施設を対象に、平成15年(2003年)から平成17年(2005年)にかけて耐震診断を実施し、調査の結果、全ての施設で耐震における安全性を確認しました。

図表 17：学校施設の整備状況



資料：学校施設台帳より作成

図表 18：経過年数の状況



資料：学校施設台帳より作成

2) 学校施設の劣化状況

① 調査対象施設と調査方法

学校施設の老朽化の実態を把握するために、劣化状況調査として既存資料や現地調査を実施しました。

劣化状況調査は、校舎、屋内運動場、プール施設及び倉庫等の学校施設を対象としました。

調査方法は、平成 29 年 3 月に文部科学省が作成した「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」の施設評価基準に基づく目視調査と、躯体の健全度を確認するためのコンクリート中性化及び圧縮強度試験を実施しました。

また、定期点検や目視調査では把握が難しい不具合箇所は、各学校へのヒアリングを実施し、施設情報として補完しました。

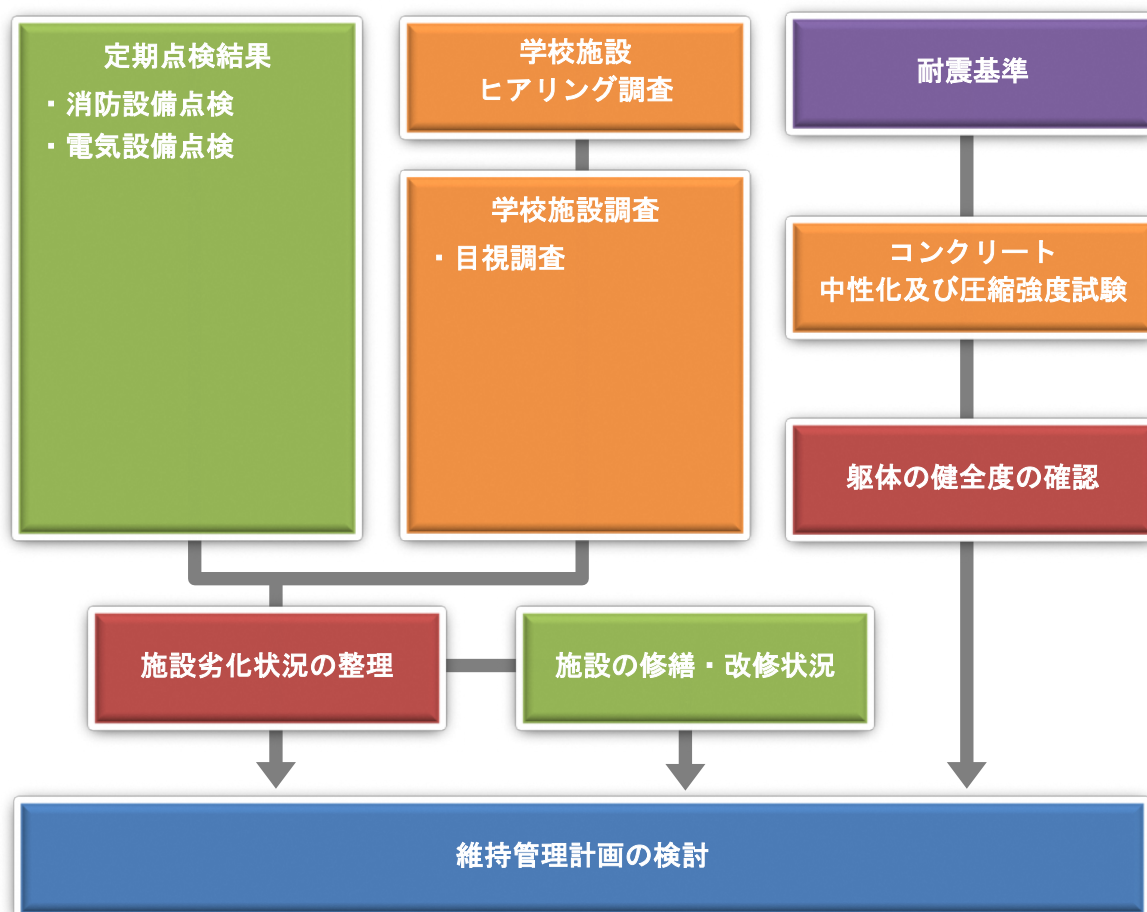
なお、電気設備や機械設備については、定期点検業務を業者に委託して実施していることから、その点検結果に基づき劣化状況を確認しました。

躯体の健全度に関しては、過去に実施した耐震診断より確認を行っています。

この躯体の健全度評価の結果を基に、劣化状況調査の結果を基礎資料として、今後の維持管理計画の検討を行うものとします。

※上記の調査とは別に南犬飼中学校の特別教室棟を対象にコンクリートのはつり調査を実施し、躯体内部の鉄筋の腐食状況を確認しました。調査の結果、問題となるような鉄筋の腐食は確認されませんでした。

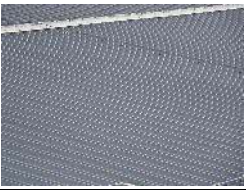
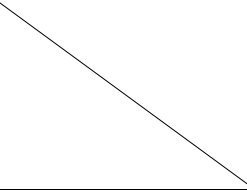
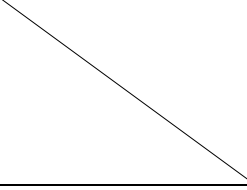
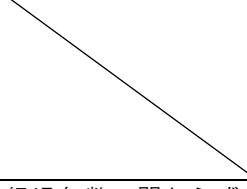
図表 19：劣化状況調査のフロー図



② 解説書に基づく施設評価

学校施設ヒアリングシートで教職員などから寄せられた施設の不具合情報を基礎資料として文部科学省の「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」の施設評価基準（A～D評価）に基づき、学校施設の目視調査を実施しました。以下に学校施設の施設状況及び施設評価を整理します。

図表 20：施設評価基準

項目	A 評価	B 評価	C 評価	D 評価
屋根・屋上 (陸屋根)				
	良好 汚れている程度 修繕後 10 年以内	部分的な損傷 部分的にふくれ、ひび割れ、変質、排水不良がある。	広範囲な損傷 広範囲にふくれ、ひび割れ、変質、排水不良がある。	広範囲に破断、破損、下地露出、幅広のひび割れがあり、最上階天井に漏水が複数箇所ある。
屋根・屋上 (鋼板屋根)				
	良好 汚れている程度 修繕後 10 年以内	部分的に塗装のはがれ、サビ、変質、シーリング材のひび、金物のサビがある。	広範囲に塗装のはがれ、サビ、変質、シーリング材のひび、金物のサビ、部分的な腐食・損壊などがある。	広範囲にサビ、はがれ、腐食、取付金物の損壊があり、最上階天井に漏水が複数箇所ある。
外壁				
	良好 汚れている程度 修繕後 10 年以内	部分的にひび割れ、変質、浮き、サビ汁などがある。	広範囲にひび割れ、亀甲状のひび割れ、変質、浮き、はがれ、サビ汁があり、小規模な漏水などがある。	広範囲に剥落、爆裂、幅広のひび割れがあり、内部の床に水たまり、漏水が複数箇所ある。
内部仕上げ (床、壁、天井等)				
	良好 汚れている程度 修繕後 10 年以内	部分的に漏水跡、ひび割れ、浮き、はがれなどがある。	広範囲に漏水跡、ひび割れ、浮き、はがれなどがある。	経過年数に関わらず著しい劣化事象がある。

※電気・機械設備は、設備の経過年数により評価

(A：20年未満、B：20～40年、C：40年以上、D：経過年数に関わらず著しい劣化事象がある場合)

※解説書に基づく「内部仕上げ」の施設評価は、上記の電気・機械設備の評価基準と同様に経過年数により評価されますが、本計画では目視調査結果に基づき、施設の劣化状況に応じた施設評価を行っています。

③ 施設評価

学校施設を文部科学省の「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」の施設評価基準（A～D）に基づき、劣化状況を判定しました。調査の結果、早急に対応が必要となるD評価は、藤井小学校校舎棟（屋上）と羽生田小学校管理教室棟（屋上）の2件を確認しました。

図表 21：施設評価一覧表（1/3）

学校施設名		構造 階数	経過 年数	劣化状況評価				
				屋根 屋上	外壁	内部 仕上げ	電気 設備	機械 設備
壬生小学校	管理教室棟	RC3	38	C	B	C	B	C
	教室棟	RC3	31	B	B	B	B	C
	屋内運動場	S1	44	C	C	C	C	C
	屋内運動場・プール	RC2	29	B	B	B	B	B
	渡り廊下棟 1	RC3	38	B	B	B	B	(B)
	渡り廊下棟 2	S2	31	B	B	B	B	(B)
	給食室	RC1	38	C	B	B	B	B
	体育器具庫	S1	38	B	B	B	(B)	(B)
	石油貯蔵庫	S1	38	C	B	B	B	(B)
	屋外便所	S1	31	B	B	B	B	B
藤井小学校	校舎棟	RC3	35	D	C	B	B	B
	屋内運動場	S2	41	C	B	B	C	C
	給食室・食堂	RC1	35	C	B	B	B	B
	プール付属室 1	S1	28	B	B	B	B	B
	プール付属室 2	S1	28	B	B	B	(B)	(B)
	倉庫	S1	39	C	B	B	(B)	(B)
	ポンプ室 1	S1	41	B	B	B	C	C
	ポンプ室 2	S1	35	B	B	B	B	B
	屋外便所	S1	24	B	C	B	B	B
壬生東小学校	校舎棟 1	RC3	46	C	B	B	C	C
	校舎棟 2	RC3	33	B	C	C	B	B
	屋内運動場	S1	42	B	C	C	C	C
	給食室	RC1	33	C	B	B	B	B
	プール付属室	RC1	27	C	B	B	B	B
	倉庫	S1	26	C	B	C	B	(B)
睦小学校	教室棟	RC3	44	B	C	C	C	C
	管理特別教室棟	RC2	44	B	C	C	C	C
	屋内運動場	S2	39	B	B	B	B	B
	渡り廊下棟	S2	44	B	B	B	C	(C)
	給食室	S1	43	B	B	B	C	C
	プール付属室	S1	43	B	B	B	(C)	C
	倉庫 1	S1	43	B	B	B	(C)	(C)
	倉庫 2	S1	42	C	B	B	C	(C)
	倉庫 3	S1	37	B	B	B	(B)	(B)
	屋外便所	S1	39	B	B	B	B	B

※A：概ね良好、B：部分的に劣化、C：広範囲に劣化、D：早急に対応する必要がある

※電気設備、機械設備の評価は経過年数による評価（A：20年未満、B：20～40年、C：40年以上、D：著しい劣化）

※（ ）表記は、電気・機械設備がない施設を示します。建物の健全度を100点評価するために想定評価を記載します。

図表 21：施設評価一覧表（2/3）

学校施設名		構造 階数	経過 年数	劣化状況評価				
				屋根 屋上	外壁	内部 仕上げ	電気 設備	機械 設備
稲葉小学校	管理教室棟	RC2	52	B	C	B	C	C
	普通特別教室棟	RC3	34	C	C	B	B	B
	屋内運動場	S1	42	B	B	B	C	C
	給食室	RC1	33	B	B	B	B	B
	プール付属室	S1	34	B	B	B	B	B
	石油貯蔵庫	RC1	42	C	C	C	C	(C)
	体育器具庫	S1	32	B	B	B	B	(B)
	屋外便所	S1	27	B	B	B	B	B
羽生田小学校	管理教室棟	RC3	35	D	B	B	B	C
	屋内運動場	S1	41	B	B	B	C	C
	給食室・食堂	RC1	35	C	B	B	B	B
	プール付属室	S1	28	B	B	B	B	B
	倉庫 1	S1	35	C	B	B	(B)	(B)
	倉庫 2	RC1	25	B	B	B	(B)	(B)
	屋外便所	RC1	20	B	B	B	B	B
壬生北小学校	校舎棟	RC3	32	B	B	B	B	B
	屋内運動場	RC1	41	A	B	B	C	C
	給食室	RC1	32	B	B	B	B	B
	プール付属室	S1	32	C	B	B	B	B
	機械室	S1	32	B	B	B	B	B
	体育器具庫	S1	40	C	B	B	C	(C)
	倉庫	RC1	18	B	B	B	B	(B)
	用具庫	RC1	18	B	B	B	B	(B)
	屋外便所	S1	23	B	B	B	B	(B)
安塚小学校	普通特別教室棟	RC3	45	C	C	C	C	C
	管理普通教室棟	RC3	36	B	C	B	B	B
	普通教室棟 1(リース物件)	S1	3	A	A	A	A	A
	普通教室棟 2(リース物件)	S1	0	A	A	A	A	A
	屋内運動場	RC1	41	B	C	B	C	C
	給食室	RC1	36	B	B	B	B	B
	プール付属室	S1	31	B	B	B	B	B
	体育器具庫	S1	42	C	C	B	(C)	(C)
	屋外便所	S1	31	B	B	B	B	B

※A：概ね良好、B：部分的に劣化、C：広範囲に劣化、D：早急に対応する必要がある

※電気設備、機械設備の評価は経過年数による評価（A：20年未満、B：20～40年、C：40年以上、D：著しい劣化）

※（ ）表記は、電気・機械設備がない施設を示します。建物の健全度を100点評価するために想定評価を記載します。

図表 21：施設評価一覧表（3/3）

学校施設名		構造 階数	経過 年数	劣化状況評価				
				屋根 屋上	外壁	内部 仕上げ	電気 設備	機械 設備
壬生中学校	普通教室棟	RC3	40	B	B	C	C	C
	管理特別教室棟	RC3	40	A	C	C	C	C
	生徒ホール棟	RC2	40	B	B	B	C	(C)
	昇降口棟	RC2	40	B	B	B	C	C
	屋内運動場	S2	39	B	B	B	B	B
	第 2 屋内運動場	S1	28	C	C	B	B	B
	武道場	S1	35	C	B	B	B	B
	渡り廊下 NO1 棟	RC2	40	B	B	B	C	(C)
	渡り廊下 NO2 棟	RC1	40	B	B	B	C	(C)
	給食室	RC1	40	B	B	B	C	C
	プール付属室	S1	40	B	B	B	C	C
	部室・屋外便所	S1	40	B	B	B	C	C
	ダックアウト(倉庫)	RC1	40	B	B	B	(C)	(C)
	ポンプ機械室棟	S1	40	B	B	B	C	C
南犬飼中学校	普通及び特別教室棟	RC2	50	B	B	B	C	C
	普通教室棟	RC3	36	C	C	B	B	B
	管理教室棟	RC3	36	B	C	B	B	C
	特別教室棟	RC2	36	C	B	B	B	B
	ホール棟	RC3	36	B	B	B	B	B
	屋内運動場 1	S2	48	B	B	B	C	C
	屋内運動場 2	S2	33	B	C	B	B	B
	武道場	S2	35	B	B	B	B	B
	渡り廊下棟 1	RC2	36	B	B	B	B	B
	渡り廊下棟 2	RC2	35	B	B	B	(B)	(B)
	給食室	RC2	37	B	B	B	B	B
	プール付属室	S1	37	B	B	B	B	B
	部室	S1	37	B	B	B	B	(B)
	倉庫	W1	45	C	C	B	C	(C)

※A：概ね良好、B：部分的に劣化、C：広範囲に劣化、D：早急に対応する必要がある

※電気設備、機械設備の評価は経過年数による評価（A：20 年未満、B：20～40 年、C：40 年以上、D：著しい劣化）

※（ ）表記は、電気・機械設備がない施設を示します。建物の健全度を 100 点評価するために想定評価を記載します。

学校施設名：壬生小学校 管理教室棟			
	代表建設年	昭和57年（1982年）	
	経過年数	38年	
	構造種別	鉄筋コンクリート造	
	評価	1. 屋根・屋上	C
		2. 外壁	B
		3. 内部仕上げ	C
		4. 電気設備	B
		5. 機械設備	C

1. 屋根・屋上			
	特記事項 屋上 保護防水の劣化		特記事項 屋上 保護防水のめくれ
	特記事項 屋上 保護防水のひび割れ		特記事項 屋上 パラペットの破損
2. 外壁			
	特記事項 南側外壁		特記事項 西側パラペット 損傷
3. 内部仕上げ			
	特記事項 3F廊下 天井の雨漏り跡		特記事項 1Fロビー 天井の雨漏り跡
	特記事項 2F廊下 内壁のひび割れ		特記事項 2F廊下 床の浮き

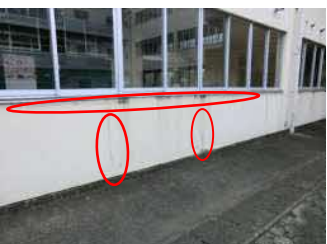
学校施設名：壬生小学校 教室棟

	代表建設年	平成元年（1989年）	
	経過年数	31年	
	構造種別	鉄筋コンクリート造	
	評価	1. 屋根・屋上	B
		2. 外壁	B
		3. 内部仕上げ	B
		4. 電気設備	B
		5. 機械設備	C

1. 屋根・屋上

	特記事項 屋根		特記事項 屋根
	特記事項 屋上 防水シートの浮き		特記事項 屋上 防水シートの浮き

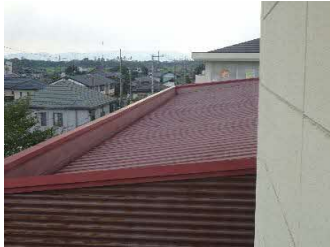
2. 外壁

	特記事項 南側ベランダ外壁 ひび割れ		特記事項 南側ベランダ 縦樋の腐食
	特記事項 北側外壁 ひび割れ		特記事項 犬走 ひび割れ

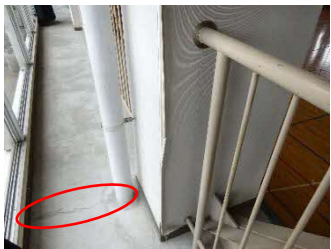
3. 内部仕上げ

	特記事項 2Fパソコン室 天井の雨漏り跡		特記事項 2F廊下 内壁のひび割れ
---	----------------------------	--	-------------------------

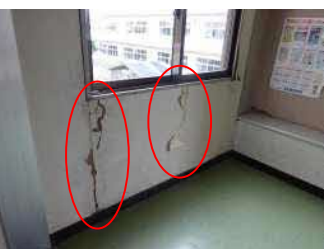
学校施設名：壬生小学校 屋内運動場			
	代表建設年	昭和51年（1976年）	
	経過年数	44年	
	構造種別	鉄骨造	
	評価	1. 屋根・屋上	C
		2. 外壁	C
		3. 内部仕上げ	C
		4. 電気設備	C
		5. 機械設備	C

1. 屋根・屋上			
	特記事項 西側屋根 サビ		特記事項 南側屋根 サビ
	特記事項 屋根		特記事項 屋根
2. 外壁			
	特記事項 南側外壁 窓サッシのサビ		特記事項 西側外壁 塗装の劣化
3. 内部仕上げ			
	特記事項 アリーナ 天井の鉄骨サビ		特記事項 ギャラリー 天井の雨漏り跡
	特記事項 ギャラリー 床タイルの剥離		特記事項 ギャラリー 雨漏り対策

学校施設名：壬生小学校 屋内運動場・プール			
	代表建設年	平成3年（1991年）	
	経過年数	29年	
	構造種別	鉄筋コンクリート造	
	評価	1. 屋根・屋上	B
		2. 外壁	B
		3. 内部仕上げ	B
		4. 電気設備	B
		5. 機械設備	B

1. 屋根・屋上			
	特記事項 北側屋根 腐食		特記事項 屋根
	特記事項 屋根		特記事項 屋根
2. 外壁			
	特記事項 北側外壁 ひび割れ、漏水痕		特記事項 東側外壁のひび割れ
3. 内部仕上げ			
	特記事項 1Fプール		特記事項 1Fプール 内壁のひび割れ
	特記事項 2F屋内運動場 アリーナ		特記事項 2F屋内運動場 ギャラリー床のひび割れ

学校施設名：壬生小学校 渡り廊下棟1			
	代表建設年	昭和57年（1982年）	
	経過年数	38年	
	構造種別	鉄筋コンクリート造	
	評価	1. 屋根・屋上	B
		2. 外壁	B
		3. 内部仕上げ	B
		4. 電気設備	B
		5. 機械設備	(B)

1. 屋根・屋上			
	特記事項 屋上通路		特記事項 屋上通路
2. 外壁			
	特記事項 東側外壁		特記事項 西側外壁
	特記事項 西側外壁 白華		特記事項 西側外壁
3. 内部仕上げ			
	特記事項 2F通路		特記事項 2F通路 壁の破損
	特記事項 2F通路 壁の剥離		特記事項 2F通路 壁の破損、壁紙の剥離

学校施設名：壬生小学校 渡り廊下棟2

	代表建設年	平成元年（1989年）	
	経過年数	31年	
	構造種別	鉄骨造	
	評価	1. 屋根・屋上	B
		2. 外壁	B
		3. 内部仕上げ	B
		4. 電気設備	B
		5. 機械設備	(B)

1. 屋根・屋上

	特記事項 屋上 防水シートの劣化		特記事項 屋上 防水シートのよれ、堆積物
---	----------------------------	--	--------------------------------

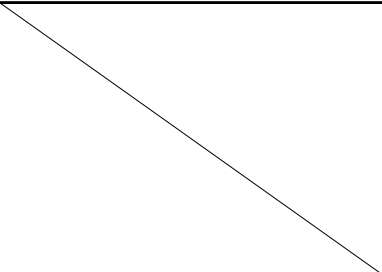
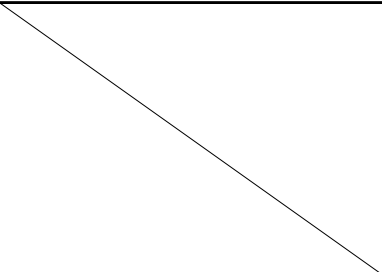
2. 外壁

	特記事項 東側外壁		特記事項 西側外壁
	特記事項 東側外壁 ひび割れ		特記事項 東側外壁 汚れ

3. 内部仕上げ

	特記事項 2F通路 内壁のひび割れ		特記事項 2F通路 天井の雨漏り跡
	特記事項 3F通路 塗装の剥離		特記事項 3F通路 塗装の剥離

学校施設名：壬生小学校 給食室			
	代表建設年	昭和57年（1982年）	
	経過年数	38年	
	構造種別	鉄筋コンクリート造	
	評価	1. 屋根・屋上	C
		2. 外壁	B
		3. 内部仕上げ	B
		4. 電気設備	B
		5. 機械設備	B

1. 屋根・屋上			
	特記事項 屋上 防水シートの劣化		特記事項 軒裏 仕上げ材のはく落
2. 外壁			
	特記事項 外壁 汚れ		特記事項 外壁 汚れ
3. 内部仕上げ			
	特記事項		特記事項

学校施設名：藤井小学校 校舎棟

	代表建設年	昭和60年（1985年）	
	経過年数	35年	
	構造種別	鉄筋コンクリート造	
	評価	1. 屋根・屋上	D
		2. 外壁	C
		3. 内部仕上げ	B
		4. 電気設備	B
		5. 機械設備	B

1. 屋根・屋上

	特記事項 屋上 パラペット破損		特記事項 屋上 パラペット破損
	特記事項 屋上 モルタル目地の破損		特記事項 屋上 ルーフトレン周辺の保護防水のひび割れ
	特記事項 屋上 保護防水目地の劣化		特記事項 2F屋上 保護防水の劣化

2. 外壁

	特記事項 東側外壁 ひび割れ		特記事項 北側非常階段 壁のひび割れ、劣化
---	----------------------------------	--	---

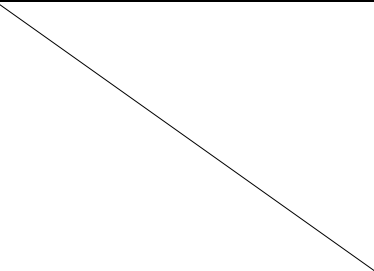
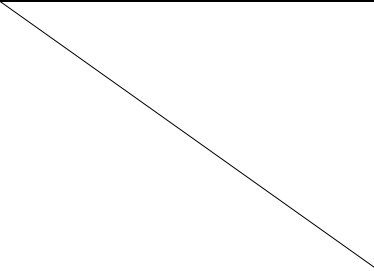
3. 内部仕上げ

	特記事項 廊下 天井の雨漏り跡		特記事項 廊下 内壁のひび割れ
---	-----------------------------------	--	-----------------------------------

学校施設名：藤井小学校 屋内運動場			
	代表建設年	昭和54年（1979年）	
	経過年数	41年	
	構造種別	鉄骨造	
	評価	1. 屋根・屋上	C
		2. 外壁	B
		3. 内部仕上げ	B
		4. 電気設備	C
		5. 機械設備	C

1. 屋根・屋上			
	特記事項 屋根		特記事項 屋根サビ
	特記事項 屋根サビ		特記事項 エントランス屋根
2. 外壁			
	特記事項 東側外壁		特記事項 北側外壁
3. 内部仕上げ			
	特記事項 アリーナ		特記事項 雨漏り跡
	特記事項 内壁の劣化		特記事項 ステージ裏階段のタイル剥がれ、滑り止め破損

学校施設名：藤井小学校 給食室・食堂				
	代表建設年	昭和60年（1985年）		
	経過年数	35年		
	構造種別	鉄筋コンクリート造		
	評価	1. 屋根・屋上	C	
		2. 外壁	B	
		3. 内部仕上げ	B	
		4. 電気設備	B	
5. 機械設備		B		

1. 屋根・屋上			
	特記事項 屋根・屋上 防水シートの劣化		特記事項 屋根・屋上 防水シートの劣化
2. 外壁			
	特記事項 東側外壁 サビ汚れ		特記事項 西側外壁 ひび割れ
	特記事項 南側外壁 軒裏		特記事項 北側外壁
3. 内部仕上げ			
	特記事項		特記事項

学校施設名：壬生東小学校 校舎棟1

	代表建設年	昭和49年（1974年）	
	経過年数	46年	
	構造種別	鉄筋コンクリート造	
	評価	1. 屋根・屋上	C
		2. 外壁	B
		3. 内部仕上げ	B
		4. 電気設備	C
		5. 機械設備	C

1. 屋根・屋上

	特記事項 屋上 防水シートの劣化		特記事項 屋上 防水シートのめくれ
	特記事項 屋上 防水シートの破れ		特記事項 屋上 草木の繁茂

2. 外壁

	特記事項 南側外壁		特記事項 北側外壁 塗装の汚れ
	特記事項 西側外壁		特記事項 窓サッシ シーリングの劣化

3. 内部仕上げ

	特記事項 3F多目的室 天井の雨漏り跡		特記事項 3F廊下 内壁のひび割れ
---	---------------------------	--	-------------------------

学校施設名：壬生東小学校 校舎棟2

	代表建設年	昭和62年（1987年）	
	経過年数	33年	
	構造種別	鉄筋コンクリート造	
	評価	1. 屋根・屋上	B
		2. 外壁	C
		3. 内部仕上げ	C
		4. 電気設備	B
		5. 機械設備	B

1. 屋根・屋上

	特記事項 屋根 サビ		特記事項 渡り廊下屋根 サビ
---	----------------------	--	--------------------------

2. 外壁

	特記事項 南側外壁 ひび割れ		特記事項 南側外壁 ひび割れ
	特記事項 外壁 ひび割れ		特記事項 外壁 ひび割れ

3. 内部仕上げ

	特記事項 天井の雨漏り跡		特記事項 廊下 内壁のひび割れ
	特記事項 廊下 内壁のひび割れ		特記事項 渡り廊下 内壁塗装の剥離

学校施設名：壬生東小学校 屋内運動場			
	代表建設年	昭和53年（1978年）	
	経過年数	42年	
	構造種別	鉄骨造	
	評価	1. 屋根・屋上	B
		2. 外壁	C
		3. 内部仕上げ	C
		4. 電気設備	C
		5. 機械設備	C

1. 屋根・屋上			
	特記事項 屋根		特記事項 屋根
2. 外壁			
	特記事項 東側外壁		特記事項 西側外壁
	特記事項 南側外壁		特記事項 北側外壁 窓サッシのサビ
3. 内部仕上げ			
	特記事項		特記事項 天井
	特記事項 ギャラリー窓枠 仕上げ材の剥がれ サビ		特記事項

学校施設名：壬生東小学校 給食室

	代表建設年	昭和62年（1987年）	
	経過年数	33年	
	構造種別	鉄筋コンクリート造	
	評価	1. 屋根・屋上	C
		2. 外壁	B
		3. 内部仕上げ	B
		4. 電気設備	B
		5. 機械設備	B

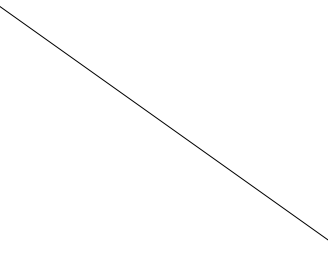
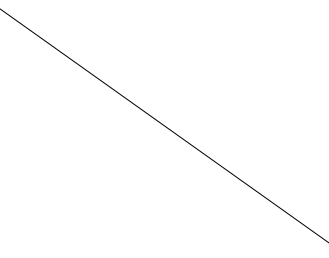
1. 屋根・屋上

	特記事項 屋根 サビ		特記事項 屋根 サビ
	特記事項 屋根 サビ		特記事項 屋根 サビ

2. 外壁

	特記事項 東側外壁		特記事項 西側外壁
	特記事項 南側外壁 仕上げ材の剥がれ		特記事項 北側外壁

3. 内部仕上げ

	特記事項		特記事項
---	------	--	------

学校施設名：睦小学校 教室棟

	代表建設年	昭和51年（1976年）	
	経過年数	44年	
	構造種別	鉄筋コンクリート造	
	評価	1. 屋根・屋上	B
		2. 外壁	C
		3. 内部仕上げ	C
		4. 電気設備	C
		5. 機械設備	C

1. 屋根・屋上

	特記事項 屋上 パラペットのひび割れ		特記事項 屋上 草木の繁茂
---	--------------------------	--	---------------------

2. 外壁

	特記事項 外壁 ひび割れ		特記事項 外壁 ひび割れ
	特記事項 外壁 膨れ		特記事項 外壁 膨れ

3. 内部仕上げ

	特記事項 廊下 天井の雨漏り跡		特記事項 内壁のひび割れ、塗装 の劣化
	特記事項 柱のひび割れ		特記事項 廊下 内壁のひび割れ

学校施設名：睦小学校 管理特別教室棟			
	代表建設年	昭和51年（1976年）	
	経過年数	44年	
	構造種別	鉄筋コンクリート造	
	評価	1. 屋根・屋上	B
		2. 外壁	C
		3. 内部仕上げ	C
		4. 電気設備	C
		5. 機械設備	C

1. 屋根・屋上			
	特記事項 屋上		特記事項 屋上 笠木の剥離
	特記事項 屋上 防水シートの浮き		特記事項 屋上 防水シートの浮き
2. 外壁			
	特記事項 東側外壁		特記事項 西側外壁 ベランダ手すり壁 の剥落
	特記事項 南側外壁 手すりのサビ		特記事項 北側外壁
3. 内部仕上げ			
	特記事項 内壁のひび割れ		特記事項 階段室 内壁のひび割れ

学校施設名：睦小学校 屋内運動場

	代表建設年	昭和56年（1981年）	
	経過年数	39年	
	構造種別	鉄骨造	
	評価	1. 屋根・屋上	B
		2. 外壁	B
		3. 内部仕上げ	B
		4. 電気設備	B
		5. 機械設備	B

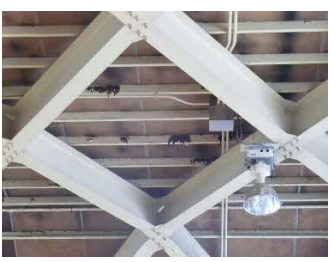
1. 屋根・屋上

	特記事項 屋根		特記事項 屋根
	特記事項 屋根		特記事項 屋根

2. 外壁

	特記事項 東側外壁		特記事項 西側外壁
	特記事項 南側外壁		特記事項 北側外壁

3. 内部仕上げ

	特記事項 アリーナ		特記事項 アリーナ 天井の鉄骨サビ
---	--------------	--	-------------------------

学校施設名：睦小学校 渡り廊下棟

	代表建設年	昭和51年（1976年）	
	経過年数	44年	
	構造種別	鉄骨造	
	評価	1. 屋根・屋上	B
		2. 外壁	B
		3. 内部仕上げ	B
		4. 電気設備	C
		5. 機械設備	(C)

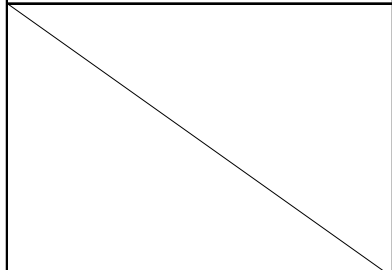
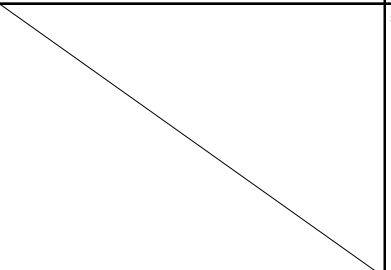
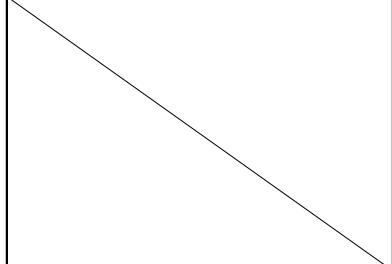
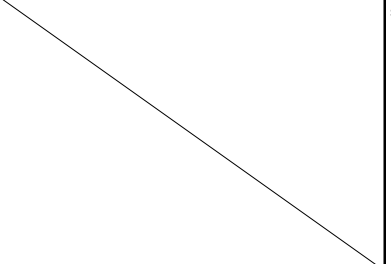
1. 屋根・屋上

	特記事項 屋上		特記事項 屋上
---	------------	--	------------

2. 外壁

	特記事項 東側外壁		特記事項 西側外壁
--	--------------	---	--------------

3. 内部仕上げ

	特記事項 2階廊下		特記事項 2階廊下 床の劣化
	特記事項		特記事項
	特記事項		特記事項

学校施設名：睦小学校 給食室

	代表建設年	昭和52年（1977年）	
	経過年数	43年	
	構造種別	鉄骨造	
	評価	1. 屋根・屋上	B
		2. 外壁	B
		3. 内部仕上げ	B
		4. 電気設備	C
		5. 機械設備	C

1. 屋根・屋上

	特記事項 屋根 サビ		特記事項 屋根 サビ
---	----------------------	--	----------------------

2. 外壁

	特記事項 西側外壁		特記事項 東側外壁
	特記事項 北側外壁		特記事項

3. 内部仕上げ

	特記事項		特記事項
	特記事項		特記事項

学校施設名：稲葉小学校 管理教室棟			
	代表建設年	昭和43年（1968年）	
	経過年数	52年	
	構造種別	鉄筋コンクリート造	
	評価	1. 屋根・屋上	B
		2. 外壁	C
		3. 内部仕上げ	B
		4. 電気設備	C
		5. 機械設備	C

1. 屋根・屋上			
	特記事項 屋上		特記事項 屋上 防水シートの劣化
	特記事項 屋上 シーリングの欠損、浮き		特記事項 屋上 シーリングの欠損、浮き
2. 外壁			
	特記事項 外壁 パラペットのひび割れ、剥離		特記事項 軒裏 雨漏り跡
	特記事項 軒裏 雨漏り跡		特記事項 窓 シーリングの剥がれ
3. 内部仕上げ			
	特記事項 内壁のひび割れ		特記事項 天井の雨漏り跡

学校施設名：稲葉小学校 普通特別教室棟

	代表建設年	昭和61年（1986年）	
	経過年数	34年	
	構造種別	鉄筋コンクリート造	
	評価	1. 屋根・屋上	C
		2. 外壁	C
		3. 内部仕上げ	B
		4. 電気設備	B
		5. 機械設備	B

1. 屋根・屋上

	特記事項 屋上 防水シートの剥がれ		特記事項 屋上 防水シートの剥がれ
	特記事項 屋上 保護防水の劣化		特記事項 屋上 パラペットひび割れ、 草木の繁茂

2. 外壁

	特記事項 外壁 ひび割れ		特記事項 外壁 ひび割れ
	特記事項 外壁 剥離		特記事項 外壁 漏水跡

3. 内部仕上げ

	特記事項 内壁のひび割れ		特記事項 内壁のひび割れ
---	---------------------	--	---------------------

学校施設名：稲葉小学校 屋内運動場			
	代表建設年	昭和53年（1978年）	
	経過年数	42年	
	構造種別	鉄骨造	
	評価	1. 屋根・屋上	B
		2. 外壁	B
		3. 内部仕上げ	B
		4. 電気設備	C
		5. 機械設備	C

1. 屋根・屋上			
	特記事項 屋根		特記事項 屋根
	特記事項 屋根		特記事項 屋根
2. 外壁			
	特記事項 ブレースのサビ		特記事項 外壁 破損
	特記事項 窓サッシのサビ		特記事項 エントランス軒裏 天井の漏水跡
3. 内部仕上げ			
	特記事項 アリーナ		特記事項 エントランス 天井の雨漏り跡

学校施設名：稲葉小学校 給食室

	代表建設年	昭和62年（1987年）	
	経過年数	33年	
	構造種別	鉄筋コンクリート造	
	評価	1. 屋根・屋上	B
		2. 外壁	B
		3. 内部仕上げ	B
		4. 電気設備	B
		5. 機械設備	B

1. 屋根・屋上

	特記事項 屋上 防水シートの劣化		特記事項 屋上 防水シートの劣化
---	----------------------------	--	----------------------------

2. 外壁

	特記事項 東側外壁 軒裏の白華		特記事項 西側外壁
	特記事項 南側外壁		特記事項 北側外壁

3. 内部仕上げ

	特記事項		特記事項
	特記事項		特記事項

学校施設名：羽生田小学校 管理教室棟

	代表建設年	昭和60年（1985年）	
	経過年数	35年	
	構造種別	鉄筋コンクリート造	
	評価	1. 屋根・屋上	D
		2. 外壁	B
		3. 内部仕上げ	B
		4. 電気設備	B
		5. 機械設備	C

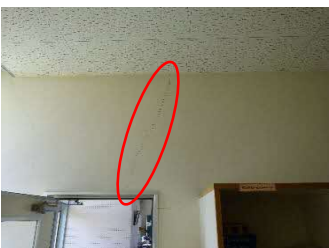
1. 屋根・屋上

	特記事項 屋上		特記事項 屋上 防水シートの劣化、破れ
	特記事項 屋上 草木の繁茂		特記事項 屋上 保護防水の目地の割れ
	特記事項 入口庇上部 防水シートの劣化		特記事項 入口庇上部 防水シートの膨れ

2. 外壁

	特記事項 北側外壁 壁のひび割れ		特記事項 北側1F軒裏 鉄筋露出
---	------------------------	--	------------------------

3. 内部仕上げ

	特記事項 音楽準備室 内壁のひび割れ		特記事項 2F廊下 天井の雨漏り跡
---	--------------------------	--	-------------------------

学校施設名：羽生田小学校 屋内運動場			
	代表建設年	昭和54年（1979年）	
	経過年数	41年	
	構造種別	鉄骨造	
	評価	1. 屋根・屋上	B
		2. 外壁	B
		3. 内部仕上げ	B
		4. 電気設備	C
5. 機械設備		C	

1. 屋根・屋上			
	特記事項 屋根		特記事項 軒上 防水シートの劣化
	特記事項 屋根 サビ		特記事項 屋根 サビ
2. 外壁			
	特記事項 北側外壁		特記事項 西側外壁
3. 内部仕上げ			
	特記事項 アリーナ		特記事項 内壁の雨漏り跡
	特記事項 ギャラリー 内壁のひび割れ		特記事項 床の雨漏り跡

学校施設名：羽生田小学校 給食室・食堂

	代表建設年	昭和60年（1985年）	
	経過年数	35年	
	構造種別	鉄筋コンクリート造	
	評価	1. 屋根・屋上	C
		2. 外壁	B
		3. 内部仕上げ	B
		4. 電気設備	B
		5. 機械設備	B

1. 屋根・屋上

	特記事項 屋上 保護防水の劣化		特記事項 屋上 保護防水の劣化
	特記事項 屋上 保護防水の劣化		特記事項 屋上 保護防水の劣化

2. 外壁

	特記事項 東側外壁 軒裏 仕上げ材のはく落		特記事項 西側外壁
	特記事項 南側外壁		特記事項 北側外壁

3. 内部仕上げ

	特記事項		特記事項
---	------	--	------

学校施設名：壬生北小学校 校舎棟

	代表建設年	昭和63年（1988年）	
	経過年数	32年	
	構造種別	鉄筋コンクリート造	
	評価	1. 屋根・屋上	B
		2. 外壁	B
		3. 内部仕上げ	B
		4. 電気設備	B
		5. 機械設備	B

1. 屋根・屋上

	特記事項 屋上 苔の繁茂 防水の劣化		特記事項 屋根
---	---------------------------------	--	----------------

2. 外壁

	特記事項 東側外壁		特記事項 西側外壁
	特記事項 南側外壁		特記事項 北側外壁 軒裏 仕上げ材の剥落

3. 内部仕上げ

	特記事項 3F図工室 天井の雨漏り跡		特記事項 3Fコンピューター室 天井の雨漏り跡
	特記事項 階段室 内壁のひび割れ		特記事項 家庭科室 ドア付近内壁のひび割れ

学校施設名：壬生北小学校 屋内運動場			
	代表建設年	昭和54年（1979年）	
	経過年数	41年	
	構造種別	鉄筋コンクリート造	
	評価	1. 屋根・屋上	A
		2. 外壁	B
		3. 内部仕上げ	B
		4. 電気設備	C
		5. 機械設備	C

1. 屋根・屋上			
	特記事項 屋根		特記事項 屋上
2. 外壁			
	特記事項 東側外壁		特記事項 西側外壁
	特記事項 南側外壁		特記事項 北側外壁
3. 内部仕上げ			
	特記事項 アリーナ		特記事項 ギャラリー 内壁の剥離
	特記事項 ギャラリー 内壁の膨れ		特記事項 器具庫 内壁の膨れ

学校施設名：壬生北小学校 給食室

	代表建設年	昭和63年（1988年）	
	経過年数	32年	
	構造種別	鉄筋コンクリート造	
	評価	1. 屋根・屋上	B
		2. 外壁	B
		3. 内部仕上げ	B
		4. 電気設備	B
		5. 機械設備	B

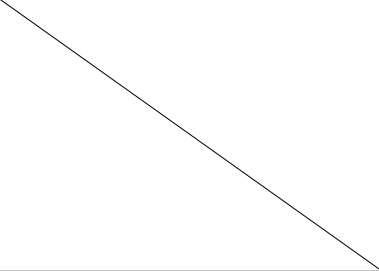
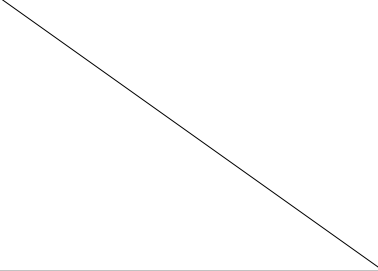
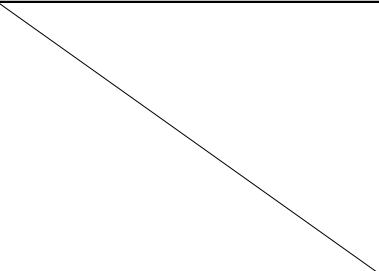
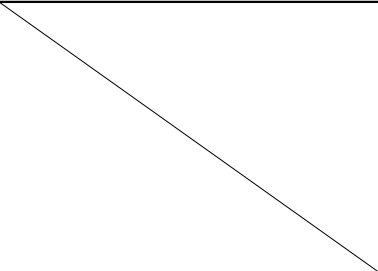
1. 屋根・屋上

	特記事項 屋根 軽度な変色		特記事項 屋根 軽度な変色
---	-------------------------	--	-------------------------

2. 外壁

	特記事項 東側外壁		特記事項 南側外壁
	特記事項 南側外壁		特記事項 北側外壁

3. 内部仕上げ

	特記事項		特記事項
	特記事項		特記事項

学校施設名：安塚小学校 普通特別教室棟

	代表建設年	昭和50年（1975年）	
	経過年数	45年	
	構造種別	鉄筋コンクリート造	
	評価	1. 屋根・屋上	C
		2. 外壁	C
		3. 内部仕上げ	C
		4. 電気設備	C
		5. 機械設備	C

1. 屋根・屋上

	特記事項 屋上 防水シートの劣化、水溜まり跡		特記事項 屋上 防水シートの劣化、水溜まり跡
	特記事項 屋上 防水シートのよれ		特記事項 屋上 手すりのサビ

2. 外壁

	特記事項 北側外壁 ひび割れ		特記事項 ベランダ天井 漏水跡
	特記事項 外壁 膨れ		特記事項 窓サッシ シーリングの劣化

3. 内部仕上げ

	特記事項 3F廊下 天井の雨漏り跡		特記事項 3F廊下 内壁のひび割れ
---	-----------------------------	--	-----------------------------

学校施設名：安塚小学校 管理普通教室棟

	代表建設年	昭和59年（1984年）	
	経過年数	36年	
	構造種別	鉄筋コンクリート造	
	評価	1. 屋根・屋上	B
		2. 外壁	C
		3. 内部仕上げ	B
		4. 電気設備	B
		5. 機械設備	B

1. 屋根・屋上

	特記事項 屋上 目地シーリング劣化		特記事項 屋上 排水溝保護防水のひび割れ、草木の繁茂
	特記事項 屋上 保護防水の目地破損		特記事項 2F屋上 防水シートの劣化

2. 外壁

	特記事項 外壁 爆裂		特記事項 3Fベランダ 天井の漏水跡
	特記事項 外壁 錆汁		特記事項 ベランダ手摺根本ひび割れ

3. 内部仕上げ

	特記事項 廊下 内壁のひび割れ		特記事項 廊下 床の剥離
---	---------------------------	--	------------------------

学校施設名：安塚小学校 普通教室棟1（リース物件）			
	代表建設年	平成29年（2017年）	
	経過年数	3年	
	構造種別	鉄骨造	
	評価	1. 屋根・屋上	A
		2. 外壁	A
		3. 内部仕上げ	A
		4. 電気設備	A
		5. 機械設備	A

1. 屋根・屋上			
	特記事項 屋根		特記事項 屋根
2. 外壁			
	特記事項 東側外壁		特記事項 西側外壁
	特記事項 南側外壁		特記事項 北側外壁
3. 内部仕上げ			
	特記事項 教室		特記事項 廊下
	特記事項 廊下		特記事項

学校施設名：安塚小学校 普通教室棟2（リース物件）

	代表建設年	令和2年（2020年）	
	経過年数	0年	
	構造種別	鉄骨造	
	評価	1. 屋根・屋上	A
		2. 外壁	A
		3. 内部仕上げ	A
		4. 電気設備	A
		5. 機械設備	A

1. 屋根・屋上

	特記事項 屋根		特記事項
---	------------	--	------

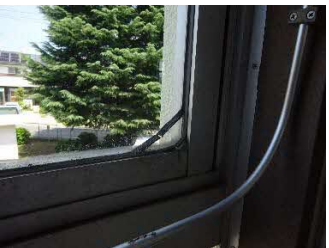
2. 外壁

	特記事項 東側外壁		特記事項 西側外壁
	特記事項 南側外壁		特記事項 北側外壁

3. 内部仕上げ

	特記事項 教室		特記事項 教室
	特記事項 廊下		特記事項 廊下

学校施設名：安塚小学校 屋内運動場			
	代表建設年	昭和54年（1979年）	
	経過年数	41年	
	構造種別	鉄筋コンクリート造	
	評価	1. 屋根・屋上	B
		2. 外壁	C
		3. 内部仕上げ	B
		4. 電気設備	C
		5. 機械設備	C

1. 屋根・屋上			
	特記事項 屋上		特記事項 エントランス屋根 防水シートの汚れ
	特記事項 屋上		特記事項 エントランス屋根 防水シートの汚れ
2. 外壁			
	特記事項 東側外壁		特記事項 西側外壁
	特記事項 南側外壁 膨れ		特記事項 北側外壁 膨れ
3. 内部仕上げ			
	特記事項 アリーナ		特記事項 ギャラリー サッシのシーリング 劣化

学校施設名：安塚小学校 給食室

	代表建設年	昭和59年（1984年）	
	経過年数	36年	
	構造種別	鉄筋コンクリート造	
	評価	1. 屋根・屋上	B
		2. 外壁	B
		3. 内部仕上げ	B
		4. 電気設備	B
		5. 機械設備	B

1. 屋根・屋上

	特記事項 屋上 水溜り跡		特記事項 屋上 水溜り跡
	特記事項 屋上 水溜り跡		特記事項

2. 外壁

	特記事項 東側外壁		特記事項 西側外壁
	特記事項 南側外壁 膨れ		特記事項 北側外壁 膨れ

3. 内部仕上げ

	特記事項		特記事項
--	------	--	------

学校施設名：壬生中学校 普通教室棟				
	代表建設年	昭和55年（1980年）		
	経過年数	40年		
	構造種別	鉄筋コンクリート造		
	評価	1. 屋根・屋上	B	
		2. 外壁	B	
		3. 内部仕上げ	C	
		4. 電気設備	C	
5. 機械設備		C		

1. 屋根・屋上			
	特記事項 屋上 防水シートの劣化		特記事項 屋根 防水シートの劣化
	特記事項 ペントハウス屋上 防水シートの劣化		特記事項 ペントハウス屋上 防水シートの劣化
2. 外壁			
	特記事項 南側外壁 汚れ		特記事項 北側外壁 膨れ
3. 内部仕上げ			
	特記事項 廊下 内壁のひび割れ		特記事項 階段室 内壁のひび割れ
	特記事項 天井の雨漏り跡		特記事項 廊下 床のひび割れ

学校施設名：壬生中学校 管理特別教室棟

	代表建設年	昭和55年（1980年）	
	経過年数	40年	
	構造種別	鉄筋コンクリート造	
	評価	1. 屋根・屋上	A
		2. 外壁	C
		3. 内部仕上げ	C
		4. 電気設備	C
		5. 機械設備	C

1. 屋根・屋上

	特記事項 屋上		特記事項 屋上 防水シートの汚れ
---	------------	--	------------------------

2. 外壁

	特記事項 東側外壁 ひび割れ		特記事項 北側外壁 膨れ
	特記事項 2Fベランダ 外壁のひび割れ		特記事項 エントランス 階段のタイル破損、白 華

3. 内部仕上げ

	特記事項 2F理科室 天井の漏水跡		特記事項 2F階段室 壁のひび割れ
	特記事項 3F音楽室 床の雨漏り跡		特記事項 1F保健室 天井の雨漏り跡

学校施設名：壬生中学校 生徒ホール棟

	代表建設年	昭和55年（1980年）	
	経過年数	40年	
	構造種別	鉄筋コンクリート造	
	評価	1. 屋根・屋上	B
		2. 外壁	B
		3. 内部仕上げ	B
		4. 電気設備	C
		5. 機械設備	(C)

1. 屋根・屋上

	特記事項 屋上 保護防水の劣化、白華		特記事項 屋上
	特記事項 屋上		特記事項 屋上

2. 外壁

	特記事項 西側外壁		特記事項 西側外壁 壁の剥離
	特記事項		特記事項

3. 内部仕上げ

	特記事項 生徒ホール		特記事項 床の劣化
---	---------------	--	--------------

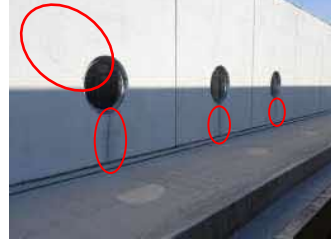
学校施設名：壬生中学校 昇降口棟

	代表建設年	昭和55年（1980年）	
	経過年数	40年	
	構造種別	鉄筋コンクリート造	
	評価	1. 屋根・屋上	B
		2. 外壁	B
		3. 内部仕上げ	B
		4. 電気設備	C
		5. 機械設備	C

1. 屋根・屋上

	特記事項 屋上		特記事項 屋上 保護防水の劣化
	特記事項 屋上 保護防水の劣化		特記事項 屋上 欠損

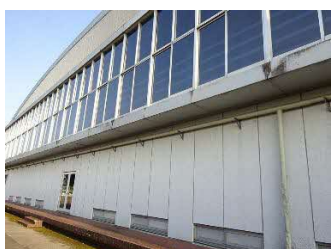
2. 外壁

	特記事項 西側外壁 ひび割れ		特記事項 西側1F外壁 ひび割れ
	特記事項 西側1F外壁 ひび割れ		特記事項 西側1F外壁 ひび割れ、仕上げ材のはく落

3. 内部仕上げ

	特記事項 昇降口		特記事項 昇降口 天井の雨漏り跡
---	-------------	--	------------------------

学校施設名：壬生中学校 屋内運動場			
	代表建設年	昭和56年（1981年）	
	経過年数	39年	
	構造種別	鉄骨造	
	評価	1. 屋根・屋上	B
		2. 外壁	B
		3. 内部仕上げ	B
		4. 電気設備	B
		5. 機械設備	B

1. 屋根・屋上			
	特記事項 屋根劣化		特記事項 屋根劣化
	特記事項 屋根劣化		特記事項 屋根サビ
2. 外壁			
	特記事項 北側外壁		特記事項 北側犬走白華
	特記事項		特記事項
3. 内部仕上げ			
	特記事項 アリーナ		特記事項 ギャラリー柱 仕上げ材のはく落

学校施設名：壬生中学校 第2屋内運動場

	代表建設年	平成4年（1992年）	
	経過年数	28年	
	構造種別	鉄骨造	
	評価	1. 屋根・屋上	C
		2. 外壁	C
		3. 内部仕上げ	B
		4. 電気設備	B
		5. 機械設備	B

1. 屋根・屋上

	特記事項 屋根		特記事項 屋根
---	------------	--	------------

2. 外壁

	特記事項 外壁		特記事項 外壁
	特記事項 外壁 壁の汚れ		特記事項 犬走 タイルの破損

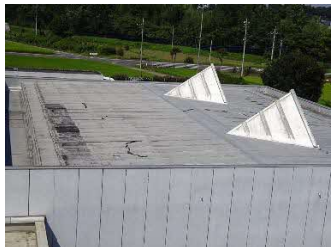
3. 内部仕上げ

	特記事項 ギャラリー 床のひび割れ		特記事項 ギャラリー 天井の雨漏り跡
	特記事項 天井の破損		特記事項 アリーナ 床の劣化

学校施設名：壬生中学校 武道場

	代表建設年	昭和60年（1985年）	
	経過年数	35年	
	構造種別	鉄骨造	
	評価	1. 屋根・屋上	C
		2. 外壁	B
		3. 内部仕上げ	B
		4. 電気設備	B
		5. 機械設備	B

1. 屋根・屋上

	特記事項 屋上 防水シートの劣化		特記事項 屋上 防水シートの剥がれ
	特記事項 屋上 防水シートの劣化		特記事項 屋上 防水シートの劣化

2. 外壁

	特記事項 北側外壁		特記事項 東側外壁 フレームの腐食
	特記事項		特記事項 シーリングの劣化・サビ

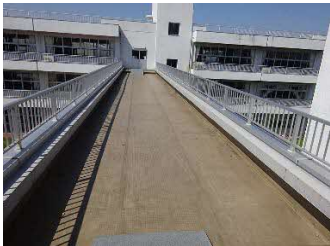
3. 内部仕上げ

	特記事項 武道場		特記事項 管理室 内壁のひび割れ
---	-------------	--	------------------------

学校施設名：壬生中学校 渡り廊下N01棟

	代表建設年	昭和55年（1980年）	
	経過年数	40年	
	構造種別	鉄筋コンクリート造	
	評価	1. 屋根・屋上	B
		2. 外壁	B
		3. 内部仕上げ	B
		4. 電気設備	C
		5. 機械設備	(C)

1. 屋根・屋上

	特記事項 屋上通路		特記事項 屋上通路
	特記事項 屋上通路		特記事項 屋上通路

2. 外壁

	特記事項 東側外壁		特記事項
	特記事項		特記事項

3. 内部仕上げ

	特記事項 2F通路		特記事項 2F通路 天井の漏水跡
---	--------------	--	------------------------

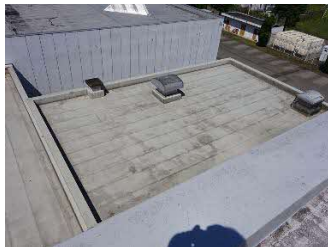
学校施設名：壬生中学校 渡り廊下N02棟			
	代表建設年	昭和55年（1980年）	
	経過年数	40年	
	構造種別	鉄筋コンクリート造	
	評価	1. 屋根・屋上	B
		2. 外壁	B
		3. 内部仕上げ	B
		4. 電気設備	C
		5. 機械設備	(C)

1. 屋根・屋上			
	特記事項 屋上		特記事項 屋上
	特記事項 屋上		特記事項
2. 外壁			
	特記事項 西側外壁		特記事項
	特記事項		特記事項
3. 内部仕上げ			
	特記事項 1F通路		特記事項 1F通路 内壁の剥離

学校施設名：壬生中学校 給食室

	代表建設年	昭和55年（1980年）	
	経過年数	40年	
	構造種別	鉄筋コンクリート造	
	評価	1. 屋根・屋上	B
		2. 外壁	B
		3. 内部仕上げ	B
		4. 電気設備	C
		5. 機械設備	C

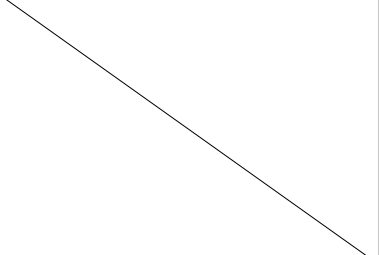
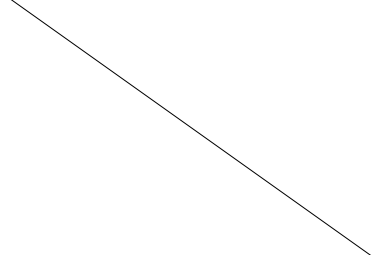
1. 屋根・屋上

	特記事項 屋上 防水シートの劣化		特記事項 屋上 防水シートの劣化
	特記事項 屋上 防水シートの劣化		特記事項 屋上 防水シートの劣化

2. 外壁

	特記事項 ひび割れ、サビ汚れ		特記事項 ひび割れ、サビ汚れ
	特記事項 ひび割れ、サビ汚れ		特記事項 ひび割れ、サビ汚れ

3. 内部仕上げ

	特記事項		特記事項
---	------	--	------

学校施設名：南犬飼中学校 普通及び特別教室棟

	代表建設年	昭和45年（1970年）	
	経過年数	50年	
	構造種別	鉄筋コンクリート造	
	評価	1. 屋根・屋上	B
		2. 外壁	B
		3. 内部仕上げ	B
		4. 電気設備	C
		5. 機械設備	C

1. 屋根・屋上

	特記事項 屋根		特記事項 屋根
	特記事項 屋根		特記事項 屋根

2. 外壁

	特記事項 北側外壁		特記事項 南側外壁
	特記事項		特記事項

3. 内部仕上げ

	特記事項 2F第2美術室		特記事項 廊下
---	-----------------	--	------------

学校施設名：南犬飼中学校 普通教室棟			
	代表建設年	昭和59年（1984年）	
	経過年数	36年	
	構造種別	鉄筋コンクリート造	
	評価	1. 屋根・屋上	C
		2. 外壁	C
		3. 内部仕上げ	B
		4. 電気設備	B
5. 機械設備		B	

1. 屋根・屋上			
	特記事項 屋上 防水シートの劣化、破れ		特記事項 屋上 保護防水の破損
	特記事項 2F南側屋根 保護防水の劣化		特記事項 2F南側屋根 シーリングの劣化
2. 外壁			
	特記事項 西側外壁 軒裏の雨漏り跡		特記事項 北側外壁 ひび割れ
	特記事項 西側外壁 膨れ、笠木からサビ		特記事項 南側外壁 軒裏の漏水跡
3. 内部仕上げ			
	特記事項 天井の雨漏り跡		特記事項 廊下 内壁のひび割れ

学校施設名：南犬飼中学校 管理教室棟			
	代表建設年	昭和59年（1984年）	
	経過年数	36年	
	構造種別	鉄筋コンクリート造	
	評価	1. 屋根・屋上	B
		2. 外壁	C
		3. 内部仕上げ	B
		4. 電気設備	B
		5. 機械設備	C

1. 屋根・屋上			
	特記事項 屋上		特記事項 屋上
2. 外壁			
	特記事項 外壁 軒裏の漏水跡		特記事項 バルコニー 壁のひび割れ
	特記事項 バルコニー 床のひび割れ		特記事項 北側外壁 壁のひび割れ
3. 内部仕上げ			
	特記事項 3F家庭科室 天井の雨漏り跡		特記事項 3F家庭科室 内壁のひび割れ

学校施設名：南犬飼中学校 特別教室棟

	代表建設年	昭和59年（1984年）	
	経過年数	36年	
	構造種別	鉄筋コンクリート造	
	評価	1. 屋根・屋上	C
		2. 外壁	B
		3. 内部仕上げ	B
		4. 電気設備	B
		5. 機械設備	B

1. 屋根・屋上

	特記事項 屋上 防水シートの劣化		特記事項 屋上 防水シートの劣化
	特記事項 屋上 防水シートの破れ		特記事項 屋上 防水シートの劣化

2. 外壁

	特記事項 北側外壁 剥離		特記事項 北側外壁 ひび割れ
	特記事項 外壁 軒裏の漏水跡		特記事項 西側外壁 ひび割れ

3. 内部仕上げ

	特記事項 階段室 天井の雨漏り跡		特記事項 廊下 内壁のひび割れ
---	------------------------	--	-----------------------

学校施設名：南犬飼中学校　ホール棟				
	代表建設年	昭和59年（1984年）		
	経過年数	36年		
	構造種別	鉄筋コンクリート造		
	評価	1. 屋根・屋上	B	
		2. 外壁	B	
		3. 内部仕上げ	B	
		4. 電気設備	B	
5. 機械設備		B		

1. 屋根・屋上			
	特記事項 屋上		特記事項 屋上 防水シートの劣化
	特記事項 屋上 防水シートの破れ		特記事項 屋上 防水シートの劣化
2. 外壁			
	特記事項 外壁 庇のひび割れ		特記事項 東側外壁 ひび割れ
	特記事項 西側外壁		特記事項
3. 内部仕上げ			
	特記事項 プレイエリア		特記事項 2Fホール 雨漏り跡

学校施設名：南犬飼中学校 屋内運動場1

	代表建設年	昭和47年（1972年）	
	経過年数	48年	
	構造種別	鉄骨造	
	評価	1. 屋根・屋上	B
		2. 外壁	B
		3. 内部仕上げ	B
		4. 電気設備	C
		5. 機械設備	C

1. 屋根・屋上

	特記事項 屋根		特記事項 屋根
---	------------	--	------------

2. 外壁

	特記事項 東側外壁		特記事項 南側外壁
	特記事項 南側外壁 化粧板破損		特記事項 南側外壁 化粧板破損

3. 内部仕上げ

	特記事項 アリーナ		特記事項 ギャラリー 床パネルと金物の破損
	特記事項 準備室 外壁のへこみ		特記事項 アリーナ 床の破損

学校施設名：南犬飼中学校 屋内運動場2

	代表建設年	昭和62年（1987年）	
	経過年数	33年	
	構造種別	鉄骨造	
	評価	1. 屋根・屋上	B
		2. 外壁	C
		3. 内部仕上げ	B
		4. 電気設備	B
		5. 機械設備	B

1. 屋根・屋上

	特記事項 屋根		特記事項 屋根の排水溝
---	------------	--	----------------

2. 外壁

	特記事項 外壁 雨漏り跡		特記事項 外壁 雨漏り跡
	特記事項 外壁 プレースのサビ		特記事項 外壁 プレースのサビ、基礎 のひび割れ

3. 内部仕上げ

	特記事項 ギャラリー 床の雨漏り跡		特記事項 ギャラリー 内壁の剥離
	特記事項 ギャラリー 窓ガラスのひび割れ		特記事項 ラウンジ 天井の破損

学校施設名：南犬飼中学校 武道場			
	代表建設年	昭和60年（1985年）	
	経過年数	35年	
	構造種別	鉄骨造	
	評価	1. 屋根・屋上	B
		2. 外壁	B
		3. 内部仕上げ	B
		4. 電気設備	B
		5. 機械設備	B

1. 屋根・屋上			
	特記事項 屋根		特記事項 屋根の排水溝
2. 外壁			
	特記事項 南側外壁		特記事項 躯体
	特記事項 躯体 床スラブの白華		特記事項
3. 内部仕上げ			
	特記事項 武道場 床の破損		特記事項 武道場 床の劣化
	特記事項 武道場 天井の雨漏り跡		特記事項 武道場 天井の梁材のサビ

学校施設名：南犬飼中学校 渡り廊下棟1

	代表建設年	昭和59年（1984年）	
	経過年数	36年	
	構造種別	鉄筋コンクリート造	
	評価	1. 屋根・屋上	B
		2. 外壁	B
		3. 内部仕上げ	B
		4. 電気設備	B
		5. 機械設備	B

1. 屋根・屋上

	特記事項 屋根		特記事項 屋根 天井の破損
	特記事項 屋上 防水シートの浮き		特記事項 屋上 保護防水の劣化 支柱にサビ

2. 外壁

	特記事項 東側外壁		特記事項 西側外壁
	特記事項		特記事項

3. 内部仕上げ

	特記事項 通路		特記事項 2F廊下 内壁のひび割れ
---	------------	--	-------------------------

学校施設名：南犬飼中学校 渡り廊下棟2				
	代表建設年	昭和60年（1985年）		
	経過年数	35年		
	構造種別	鉄筋コンクリート造		
	評価	1. 屋根・屋上	B	
		2. 外壁	B	
		3. 内部仕上げ	B	
		4. 電気設備	(B)	
5. 機械設備		(B)		

1. 屋根・屋上			
	特記事項 屋上		特記事項 屋上 防水シートの劣化
	特記事項 屋上 防水シートの劣化、よれ		特記事項 屋上 防水シートの劣化、よれ
2. 外壁			
	特記事項 北側外壁		特記事項 北側外壁 軒裏の漏水跡
	特記事項		特記事項
3. 内部仕上げ			
	特記事項 通路		特記事項 通路 天井の雨漏り跡

学校施設名：南犬飼中学校 給食室

	代表建設年	昭和58年（1983年）	
	経過年数	37年	
	構造種別	鉄筋コンクリート造	
	評価	1. 屋根・屋上	B
		2. 外壁	B
		3. 内部仕上げ	B
		4. 電気設備	B
		5. 機械設備	B

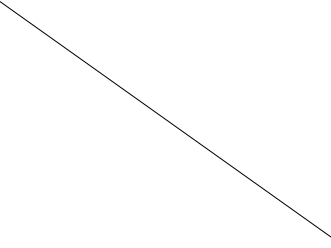
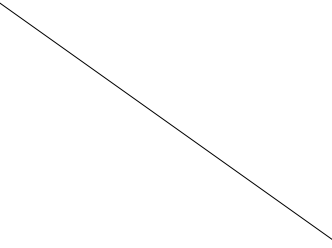
1. 屋根・屋上

	特記事項 屋上 保護防水の劣化		特記事項 屋上 保護防水の劣化
	特記事項 屋上 保護防水の劣化		特記事項 屋上 保護防水の劣化

2. 外壁

	特記事項		特記事項 ひび割れ、仕上げ材の膨れ
	特記事項 ひび割れ、仕上げ材の劣化		特記事項 ひび割れ、仕上げ材のはく落

3. 内部仕上げ

	特記事項		特記事項
---	------	--	------

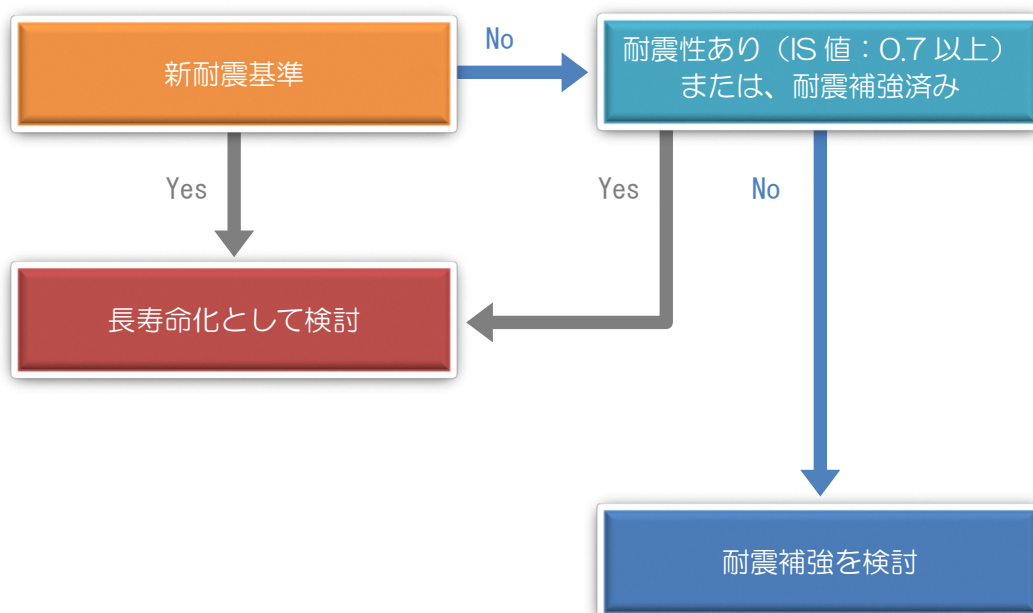
④ 耐震性能の確認

校舎及び屋内運動場の耐震性能が適切であるかを評価・判定します。公立学校施設の耐震診断等については、「公立学校建物の耐震診断等実施要領に基づく耐震診断方法の適用等について（平成 22 年 4 月 9 日付 22 施施助第 5 号）」等に基づき実施しています。

本計画では、新耐震基準（昭和 56 年 7 月以降）に建設された学校施設は、耐震性能が満たされているものとして判断します。また、旧耐震基準（昭和 56 年 6 月以前）で建設された学校施設は、耐震診断における IS 値が 0.7 以上または、耐震補強済みであれば長寿命化対象として検討を行うものとします。

評価の結果、調査対象となった全ての校舎及び屋内運動場で耐震性能基準を満たしていることを確認しました。

図表 22：耐震性能評価フロー図



図表 23：耐震性能評価一覧表（1/2）

学校施設名		代表 建設年	耐震 基準	耐震診断		改修後の耐震性能	
				診断年度	IS 値	改修年度	IS 値
壬生小学校	管理教室棟	昭和 57 年 (1982 年)	新耐震	—	—	—	—
	教室棟	平成元年 (1989 年)	新耐震	—	—	—	—
	屋内運動場	昭和 51 年 (1976 年)	旧耐震	平成 15 年 (2003 年)	0.80	—	—
	屋内運動場・プール	平成 3 年 (1991 年)	新耐震	—	—	—	—
藤井小学校	校舎棟	昭和 60 年 (1985 年)	新耐震	—	—	—	—
	屋内運動場	昭和 54 年 (1979 年)	旧耐震	平成 17 年 (2005 年)	0.80	—	—
壬生東小学校	校舎棟 1	昭和 49 年 (1974 年)	旧耐震	平成 15 年 (2003 年)	0.85	—	—
	校舎棟 2	昭和 62 年 (1987 年)	新耐震	—	—	—	—
	屋内運動場	昭和 53 年 (1978 年)	旧耐震	平成 15 年 (2003 年)	0.80	—	—
睦小学校	教室棟	昭和 51 年 (1976 年)	旧耐震	平成 16 年 (2004 年)	0.75	—	—
	管理特別教室棟	昭和 51 年 (1976 年)	旧耐震	平成 16 年 (2004 年)	0.70	—	—
	屋内運動場	昭和 56 年 (1981 年)	旧耐震	平成 16 年 (2004 年)	0.94	—	—
稲葉小学校	管理教室棟	昭和 43 年 (1968 年)	旧耐震	平成 15 年 (2003 年)	0.85	—	—
	普通特別教室棟	昭和 61 年 (1986 年)	新耐震	—	—	—	—
	屋内運動場	昭和 53 年 (1978 年)	旧耐震	平成 15 年 (2003 年)	0.78	—	—
羽生田小学校	管理教室棟	昭和 60 年 (1985 年)	新耐震	—	—	—	—
	屋内運動場	昭和 54 年 (1979 年)	旧耐震	平成 17 年 (2005 年)	0.72	—	—
壬生北小学校	校舎棟	昭和 63 年 (1988 年)	新耐震	—	—	—	—
	屋内運動場	昭和 54 年 (1979 年)	旧耐震	平成 17 年 (2005 年)	0.70	—	—
安塚小学校	普通特別教室棟	昭和 50 年 (1975 年)	旧耐震	平成 16 年 (2004 年)	0.70	—	—
	管理普通教室棟	昭和 59 年 (1984 年)	新耐震	—	—	—	—
	普通教室棟 1 (リース物件)	平成 29 年 (2017 年)	新耐震	—	—	—	—
	普通教室棟 2 (リース物件)	令和 2 年 (2020 年)	新耐震	—	—	—	—
	屋内運動場	昭和 54 年 (1979 年)	旧耐震	平成 16 年 (2004 年)	1.28	—	—

図表 23：耐震性能評価一覧表（2/2）

学校施設名		代表 建設年	耐震 基準	耐震診断		改修後の耐震性能	
				診断年度	IS 値	改修年度	IS 値
壬生中学校	普通教室棟	昭和 55 年 (1980 年)	旧耐震	平成 17 年 (2005 年)	0.74	－	－
	管理特別教室棟	昭和 55 年 (1980 年)	旧耐震	平成 17 年 (2005 年)	0.72	－	－
	生徒ホール棟	昭和 55 年 (1980 年)	旧耐震	平成 17 年 (2005 年)	1.31	－	－
	昇降口棟	昭和 55 年 (1980 年)	旧耐震	平成 17 年 (2005 年)	1.52	－	－
	屋内運動場	昭和 56 年 (1981 年)	旧耐震	平成 17 年 (2005 年)	0.72	－	－
	第 2 屋内運動場	平成 4 年 (1992 年)	新耐震	－	－	－	－
	武道場	昭和 60 年 (1985 年)	新耐震	－	－	－	－
	渡り廊下 NO1 棟	昭和 55 年 (1980 年)	旧耐震	平成 17 年 (2005 年)	0.78	－	－
	渡り廊下 NO2 棟	昭和 55 年 (1980 年)	旧耐震	－	－	－	－
南犬飼中学校	普通及び特別教室	昭和 45 年 (1970 年)	旧耐震	平成 16 年 (2004 年)	0.85	－	－
	普通教室棟	昭和 59 年 (1984 年)	新耐震	－	－	－	－
	管理教室棟	昭和 59 年 (1984 年)	新耐震	－	－	－	－
	特別教室棟	昭和 59 年 (1984 年)	新耐震	－	－	－	－
	ホール棟	昭和 59 年 (1984 年)	新耐震	－	－	－	－
	屋内運動場 1	昭和 47 年 (1972 年)	旧耐震	平成 16 年 (2004 年)	0.82	－	－
	屋内運動場 2	昭和 62 年 (1987 年)	新耐震	－	－	－	－
	武道場	昭和 60 年 (1985 年)	新耐震	－	－	－	－
	渡り廊下棟 1	昭和 59 年 (1984 年)	新耐震	－	－	－	－
	渡り廊下棟 2	昭和 60 年 (1985 年)	新耐震	－	－	－	－

⑤ コンクリート中性化及び強度試験による躯体健全度の確認

鉄筋コンクリート構造の校舎を対象に、学校施設が長寿命化対象となり得るかを判定するため、コンクリート中性化及び圧縮強度試験を実施しました。

躯体の健全度を確認するための基準は、平成 19 年（2007 年）に国土交通省が作成した「大規模リニューアル（案）」を参考に、「圧縮強度」「中性化深さ」「中性化の進行速度」の 3 項目により、躯体の健全度の評価・判定を行いました。

図表24：躯体の健全度評価基準

圧縮強度	コンクリート強度の平均値が低強度（13.5N/mm ² 未満）の場合は、長寿命化に適さないと判定
中性化深さ	調査時におけるコンクリートの中性化深さの平均値が 30mmに達しているものは長寿命化に適さないと判定
中性化の進行速度	調査時点で理論値よりも中性化の進行が早ければ、長寿命化に適さないと判定

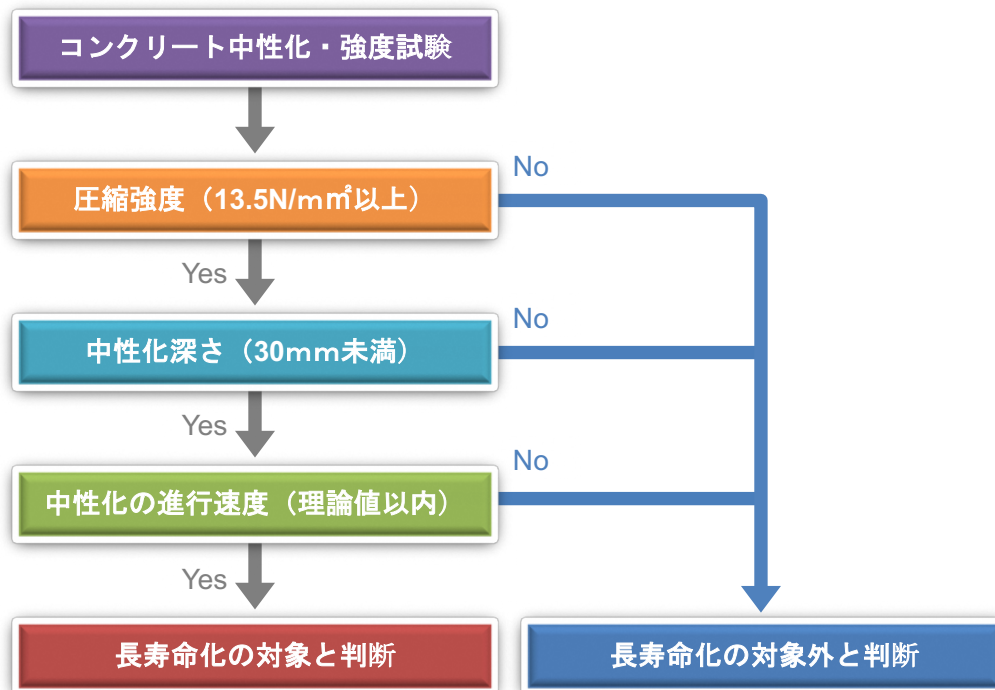
資料：「大規模リニューアル（案）」国土交通省 2007 年作成

理論値は中性化速度式 $Y=R(-3.57+9.0 \times W/B) \sqrt{T}$ …土木学会式を用いて算出。

Y：中性化深さ（mm） R：環境係数 1.6 W/B：有効水結合材比 0.659

T：供用年数 0～25 年は 25、供用年数 25～50 年は 50

図表25：躯体の健全度評価フロー図



各校舎より採取したテストピースを「圧縮強度」「中性化深さ」「中性化の進行速度」の3項目により、躯体の健全度を評価した結果、全ての施設が健全な状態であることを確認しました。

この結果により、全ての校舎を長寿命化対象施設とすることができます。

図表 26：令和2年度コンクリート中性化・圧縮強度試験結果一覧表

学校施設名		経過 年数	調査 箇所数	調査時の 平均強度 (N/mm ²)	調査時の平 均中性化 深さ(mm)	理論式によ る中性化深 さ(mm)	健全度 評価
壬生小学校	管理教室棟	38	3	24.3	4.9	23.0	○
	教室棟	31	3	31.8	4.2	20.7	○
藤井小学校	校舎棟	35	3	33.9	18.5	22.0	○
壬生東小学校	校舎棟 1	46	3	29.8	6.5	25.3	○
	校舎棟 2	33	3	39.0	19.9	21.4	○
睦小学校	教室棟	44	3	33.4	5.0	24.7	○
	管理特別教室棟	44	3	29.5	4.5	24.7	○
稲葉小学校	管理教室棟	52	3	25.0	3.8	26.9	○
	普通特別教室棟	34	3	35.8	18.9	21.7	○
羽生田小学校	管理教室棟	35	3	32.0	21.0	22.0	○
壬生北小学校	校舎棟	32	3	24.1	18.1	21.1	○
安塚小学校	普通特別教室棟	45	3	26.9	2.0	25.0	○
	管理普通教室棟	36	3	39.7	3.6	22.4	○
壬生中学校	普通教室棟	40	3	40.2	1.8	23.6	○
	管理特別教室棟	40	3	40.2	2.7	23.6	○
南犬飼中学校	普通及び特別教室棟	50	3	34.0	2.1	26.4	○
	普通教室棟	36	3	35.1	17.1	22.4	○
	管理教室棟	36	2	22.8	20.0	22.4	○
	特別教室棟	36	3	30.5	11.8	22.4	○
	ホール棟	36	1	41.1	7.3	22.4	○

※コンクリート平均強度：13.5N/m²、中性化深さ：30 mm未満、中性化の進行速度：理論値未満

※○：全ての条件を満たしている。×：3 つのうち 1 つでも条件を満たしていない。

⑥ 消防設備点検

令和２年度の定期点検において、設備の不具合の指摘を消火器具７校、屋内消火栓設備７校、自動火災報知設備８校、誘導灯及び誘導標識８校で受けています。

消防設備は、教職員及び児童生徒の安全に関わる重要な設備であることから適宜修繕を行っています。今後も適切に維持管理を図っていきます。

図表 27：消防設備点検の結果

学校名	消火器具	屋内消火栓設備	自動火災報知設備	非常警報器具及び設備	誘導灯及び誘導標識
壬生小学校	×	×	×	○	×
藤井小学校	×	×	×	○	×
壬生東小学校	○	×	×	○	×
睦小学校	○	×	×	○	—
稲葉小学校	×	×	×	○	×
羽生田小学校	○	—	○	○	×
壬生北小学校	×	○	×	○	×
安塚小学校	×	○	○	○	○
壬生中学校	×	×	×	○	×
南犬飼中学校	×	×	×	○	×

○：良好 ×：不良 —：該当なし

⑦ 電気設備点検

令和２年度の定期点検において、不適合の指摘を６校で受けています。

電気設備点検における指摘事項は受電設備と負荷設備が挙げられます。電気設備は教職員や児童生徒の安全に関わる重要な設備であることから今後も適切に維持管理を図っていきます。

図表 28：電気設備点検の結果

学校名	引込設備	受電設備	配電設備	負荷設備	非常用予備発電装置	蓄電池設備
壬生小学校	△	△	—	○	—	—
藤井小学校	○	△	—	○	—	—
壬生東小学校	○	×	—	○	—	—
睦小学校	○	△	—	○	—	—
稲葉小学校	○	×	—	○	—	—
羽生田小学校	△	×	—	×	—	—
壬生北小学校	○	△	—	×	—	—
安塚小学校	○	○	—	○	—	—
壬生中学校	○	×	○	○	—	—
南犬飼中学校	○	×	—	×	—	—

○：良好 △：更新推奨 ×：不適合、推奨

3) 学校施設の老朽化状況を踏まえた課題

これまでに取りまとめた施設調査内容と定期点検結果、学校施設ヒアリングシートを通して教職員が認識する施設の不具合状況等を重ね合わせることで実情に応じた整理を行うとともに、各学校施設の状況から本町における学校施設全体の劣化の方向性を整理します。

校舎または屋内運動場などの大規模施設において、劣化が進行していると判断される施設評価C以下の数量に着目すると「屋根・屋上」27件、「外壁」20件、「内部仕上げ」11件、「電気設備」35件、「機械設備」39件となっています。このうち、C評価が3つ以上ある建物は17施設（大規模施設で特に劣化が進行している施設は12施設）あり、大規模施設で早急な対応が必要となるD評価と判定した項目がある建物は2施設です。

CまたはD評価と判定した建物の多くは建設から40年以上を経過しています。

図表 29：施設部位の劣化の方向性

項目	評価数の合計	屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備
A評価	12	4	2	2	2	2
B評価	336	65	74	83	59	55
C評価	130	25	20	11	35	39
D評価	2	2	0	0	0	0
評価数の合計	480	96	96	96	96	96

※電気・機械設備は、設備の経過年数により評価しています。

（A：20年未満、B：20～40年、C：40年以上、D：経過年数に関わらず著し劣化事象がある場合）

※機械設備がない倉庫は、建物の健全度を100点評価するために電気設備の評価を記載し集計しています。

図表 30：大規模施設で特に劣化が進行している施設

項目	施設数	学校施設名
建物部位でD評価がある施設	2	藤井小学校 校舎棟 羽生田小学校 管理教室棟
建物部位でC評価が3つ以上ある施設	12	壬生小学校 管理教室棟 壬生小学校 屋内運動場 藤井小学校 屋内運動場 壬生東小学校 校舎棟 1 壬生東小学校 屋内運動場 睦小学校 教室棟 睦小学校 管理特別教室棟 稲葉小学校 管理教室棟 安塚小学校 普通特別教室棟 安塚小学校 屋内運動場 壬生中学校 普通教室棟 壬生中学校 管理特別教室棟

① 屋根・屋上

建物を長く活用していくためには、漏水対策が必要不可欠となりますが、各学校に行ったヒアリング調査では、7校14施設から漏水の不具合があるとの報告がありました。

漏水の外的要因は、屋根・屋上の防水層の劣化や外壁のひび割れ、シーリングの劣化が主な原因箇所となっています。また、建物内部からの漏水は、給排水管の劣化が原因となります。症状を認識するまで雨水は少なからず躯体に影響を及ぼすことから、学校施設を長期的に活用するためには、雨漏り対策として防水工事を行うことが重要となります。

また、雨漏り対策として雨樋に溜まったゴミを定期的に除去することも漏水事故防止に有効となります。

図表 31：屋根・屋上の劣化状況

			
パラペットの破損	防水シートの劣化、破れ	モルタル目地の破損	屋根のサビ

② 外壁

近年において、文部科学省が全国の教育委員会に注意喚起を行っている外壁部材等の落下事故に注意を払う必要があります。

今回の劣化状況調査において、壬生小学校管理教室棟と安塚小学校管理普通教室棟の2施設で外壁部材の落下が懸念される箇所を確認しました。

外壁の防水機能の低下は、雨水が浸透することで躯体コンクリート強度の低下やコンクリート内部の鉄筋を腐食させることにつながり、建物構造に大きく影響をきたすものです。学校施設を長く、安全に活用するためには、雨水の侵入を防止するための防水工事が重要となります。

なお、外壁の劣化を放置してしまうと、突然外壁タイルやモルタルが落下するなどの事故が発生する可能性があるため、児童生徒の安全性に配慮した維持管理を行う必要があります。

図表 32：外壁の劣化状況

			
パラペット破損	外壁剥離	外壁爆裂	軒裏雨漏り跡

③ 内部仕上げ

現地調査では、天井や床の雨漏り跡、内壁のひび割れや塗装の剥離を確認しました。また、学校施設ヒアリングシートでは、内壁のひび割れから雨水の侵入があるとの意見もあります。学校施設を長期的に活用するためには、雨水の侵入を防ぐための防水工事を優先的に実施する必要があります。

また、校舎内の高温・高湿度の状況はカビ菌の繁殖につながります。カビ菌はアレルギーの原因となることから、児童生徒の健康に考慮して換気に注意を払うなどの日常的な取り組みも重要です。

図表 33：内部仕上げの劣化状況

			
天井の雨漏り跡	床の雨漏り跡	内壁のひび割れ	内壁塗装の剥離

④ 電気・機械設備

文部科学省の「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」では、電気・機械設備の施設評価は設備の経過年数により評価されます。このため、定期点検を実施している消防設備点検と電気設備点検の点検結果を用いて、より詳細な整備情報を確認しました。

消防設備点検では、非常警報器具及び設備を除き、学校毎に不具合の有無は異なりますが、消火器具、屋内消火栓設備、自動火災報知設備、誘導灯及び誘導標識について指摘を受けています。対象施設は建設から 30 年以上経過している施設が多く、施設の老朽化とともに機械設備の老朽化も進行しています。

電気設備点検では、受電設備と負荷設備に不具合が生じている学校があり、速やかに修繕を行う必要があります。

⑤ 学校施設調査と学校施設ヒアリングシートの意見

学校施設ヒアリングシートに寄せられた施設の不具合の意見を基礎資料として、学校施設調査を実施しました。この調査結果とともに学校施設ヒアリングシートに寄せられた意見との整合及び乖離を以下に整理します。

学校施設ヒアリングシートによると、多くの学校の校舎や屋内運動場で雨漏りが発生しているとのことであり、また、目視調査でも雨漏り箇所を確認しました。雨漏りは、快適な施設利用を妨げるとともに、少なからず建物の劣化にも影響を及ぼすことから、学校施設を快適かつ長期的に活用するために雨漏り対策は重要です。このため、学校施設の維持管理計画の中で適切な修繕・改修を行っていくものとします。

図表 34：学校施設劣化状況一覧（1/4）

学校施設名		代表建設年	屋根 屋上	外壁	内部 仕上げ	電気 設備	機械 設備
壬生 小学校	管理教室棟	昭和 57 年 (1982 年)	●	◎	◎	-	◎
	教室棟	平成元年 (1989 年)	-	-	-	-	◎
	屋内運動場	昭和 51 年 (1976 年)	●	◎	●	●	●
	屋内運動場・プール	平成 3 年 (1991 年)	-	-	-	-	-
	渡り廊下棟 1	昭和 57 年 (1982 年)	-	-	-	-	-
	渡り廊下棟 2	平成元年 (1989 年)	-	-	-	-	-
	給食室	昭和 57 年 (1982 年)	●	-	○	-	-
	体育器具庫	昭和 57 年 (1982 年)	-	-	-	-	-
	石油貯蔵庫	昭和 57 年 (1982 年)	●	-	-	-	-
	屋外便所	平成元年 (1989 年)	-	-	-	-	-
藤井 小学校	校舎棟	昭和 60 年 (1985 年)	◎	◎	-	-	-
	屋内運動場	昭和 54 年 (1979 年)	◎	-	-	●	●
	給食室・食堂	昭和 60 年 (1985 年)	◎	-	-	-	-
	プール付属室 1	平成 4 年 (1992 年)	-	-	-	-	-
	プール付属室 2	平成 4 年 (1992 年)	-	-	-	-	-
	倉庫	昭和 56 年 (1981 年)	●	-	-	-	-
	ポンプ室 1	昭和 54 年 (1979 年)	-	-	-	●	●
	ポンプ室 2	昭和 60 年 (1985 年)	-	-	-	-	-
	屋外便所	平成 8 年 (1996 年)	-	●	-	-	-
壬生東 小学校	校舎棟 1	昭和 49 年 (1974 年)	●	-	-	●	●
	校舎棟 2	昭和 62 年 (1987 年)	-	●	◎	-	-
	屋内運動場	昭和 53 年 (1978 年)	-	●	●	●	●
	給食室	昭和 62 年 (1987 年)	●	-	○	-	-
	プール付属室	平成 5 年 (1993 年)	●	-	-	-	-
	倉庫	平成 6 年 (1994 年)	●	-	●	-	-

◎：学校施設調査と学校との間で施設不具合の認識が一致

○：学校施設ヒアリングシートにより施設不具合の指摘あり

●：学校施設調査による指摘事項あり

-：指摘事項なし

※学校施設調査における不具合は、施設評価 C 以上のものとする。

図表 34：学校施設劣化状況一覧（2/4）

学校施設名		代表建設年	屋根 屋上	外壁	内部 仕上げ	電気 設備	機械 設備
睦 小学校	教室棟	昭和 51 年 (1976 年)	－	◎	◎	●	●
	管理特別教室棟	昭和 51 年 (1976 年)	－	◎	●	●	●
	屋内運動場	昭和 56 年 (1981 年)	－	－	－	－	－
	渡り廊下棟	昭和 51 年 (1976 年)	－	－	－	●	●
	給食室	昭和 52 年 (1977 年)	－	－	－	●	●
	プール付属室	昭和 52 年 (1977 年)	－	－	－	●	●
	倉庫 1	昭和 52 年 (1977 年)	－	－	－	●	●
	倉庫 2	昭和 53 年 (1978 年)	●	－	－	●	●
	倉庫 3	昭和 58 年 (1983 年)	－	－	－	－	－
	屋外便所	昭和 56 年 (1981 年)	－	－	－	－	－
稲葉 小学校	管理教室棟	昭和 43 年 (1968 年)	－	◎	○	●	●
	普通特別教室棟	昭和 61 年 (1986 年)	◎	◎	○	－	－
	屋内運動場	昭和 53 年 (1978 年)	－	○	－	●	●
	給食室	昭和 62 年 (1987 年)	－	－	－	－	－
	プール付属室	昭和 61 年 (1986 年)	－	－	－	－	－
	石油貯蔵庫	昭和 53 年 (1978 年)	●	●	●	●	●
	体育器具庫	昭和 63 年 (1988 年)	－	－	－	－	－
	屋外便所	平成 5 年 (1993 年)	－	－	－	－	－
羽生田 小学校	管理教室棟	昭和 60 年 (1985 年)	●	○	－	－	◎
	屋内運動場	昭和 54 年 (1979 年)	－	－	－	●	●
	給食室・食堂	昭和 60 年 (1985 年)	●	－	－	－	－
	プール付属室	平成 4 年 (1992 年)	－	－	－	－	－
	倉庫 1	昭和 60 年 (1985 年)	●	－	－	－	－
	倉庫 2	平成 7 年 (1995 年)	－	－	－	－	－
	屋外便所	平成 12 年 (2000 年)	－	－	－	－	－

◎：学校施設調査と学校との間で施設不具合の認識が一致

○：学校施設ヒアリングシートにより施設不具合の指摘あり

●：学校施設調査による指摘事項あり

－：指摘事項なし

※学校施設調査における不具合は、施設評価 C 以上のものとする。

図表 34：学校施設劣化状況一覧（3/4）

学校施設名		代表建設年	屋根 屋上	外壁	内部 仕上げ	電気 設備	機械 設備
壬生北 小学校	校舎棟	昭和 63 年 (1988 年)	○	○	○	-	-
	屋内運動場	昭和 54 年 (1979 年)	-	-	-	●	●
	給食室	昭和 63 年 (1988 年)	-	-	-	-	-
	プール付属室	昭和 63 年 (1988 年)	●	-	-	-	-
	機械室	昭和 63 年 (1988 年)	-	-	-	-	-
	体育器具庫	昭和 55 年 (1980 年)	●	-	-	●	●
	倉庫	平成 14 年 (2002 年)	-	-	-	-	-
	用具庫	平成 14 年 (2002 年)	-	-	-	-	-
	屋外便所	平成 9 年 (1997 年)	-	-	-	-	-
安塚 小学校	普通特別教室棟	昭和 50 年 (1975 年)	◎	◎	◎	●	●
	管理普通教室棟	昭和 59 年 (1984 年)	-	◎	○	-	-
	普通教室棟 1(リース物件)	平成 29 年 (2017 年)	-	-	-	-	-
	普通教室棟 2(リース物件)	令和 2 年 (2020 年)	-	-	-	-	-
	屋内運動場	昭和 54 年 (1979 年)	-	●	-	●	●
	給食室	昭和 59 年 (1984 年)	-	-	○	-	-
	プール付属室	平成元年 (1989 年)	-	-	-	-	-
	体育器具庫	昭和 53 年 (1978 年)	●	●	-	●	●
	屋外便所	平成元年 (1989 年)	-	-	-	-	-

◎：学校施設調査と学校との間で施設不具合の認識が一致

○：学校施設ヒアリングシートにより施設不具合の指摘あり

●：学校施設調査による指摘事項あり

—：指摘事項なし

※学校施設調査における不具合は、施設評価 C 以上のものとする。

図表 34：学校施設劣化状況一覧（4/4）

学校施設名		代表建設年	屋根 屋上	外壁	内部 仕上げ	電気 設備	機械 設備
壬生 中学校	普通教室棟	昭和 55 年 (1980 年)	—	—	●	●	●
	管理特別教室棟	昭和 55 年 (1980 年)	—	◎	◎	●	●
	生徒ホール棟	昭和 55 年 (1980 年)	—	—	—	●	●
	昇降口棟	昭和 55 年 (1980 年)	—	—	—	●	●
	屋内運動場	昭和 56 年 (1981 年)	—	—	—	—	—
	第 2 屋内運動場	平成 4 年 (1992 年)	◎	●	○	—	—
	武道場	昭和 60 年 (1985 年)	◎	—	—	—	—
	渡り廊下 NO1 棟	昭和 55 年 (1980 年)	—	—	—	●	●
	渡り廊下 NO2 棟	昭和 55 年 (1980 年)	—	—	—	●	●
	給食室	昭和 55 年 (1980 年)	—	—	—	●	●
	プール付属室	昭和 55 年 (1980 年)	—	—	—	●	●
	部室・屋外便所	昭和 55 年 (1980 年)	—	—	—	●	●
	ダックアウト(倉庫)	昭和 55 年 (1980 年)	—	—	—	●	●
	ポンプ機械室棟	昭和 55 年 (1980 年)	—	—	—	●	●
南大飼 中学校	普通及び特別教室棟	昭和 45 年 (1970 年)	—	—	—	●	●
	普通教室棟	昭和 59 年 (1984 年)	●	◎	○	—	○
	管理教室棟	昭和 59 年 (1984 年)	—	◎	○	—	◎
	特別教室棟	昭和 59 年 (1984 年)	●	—	—	—	—
	ホール棟	昭和 59 年 (1984 年)	—	—	—	—	—
	屋内運動場 1	昭和 47 年 (1972 年)	—	—	—	●	●
	屋内運動場 2	昭和 62 年 (1987 年)	—	●	—	—	—
	武道場	昭和 60 年 (1985 年)	—	—	—	—	—
	渡り廊下棟 1	昭和 59 年 (1984 年)	—	—	—	—	—
	渡り廊下棟 2	昭和 60 年 (1985 年)	—	—	—	—	—
	給食室	昭和 58 年 (1983 年)	—	—	—	—	—
	プール付属室	昭和 58 年 (1983 年)	—	—	—	—	—
	部室	昭和 58 年 (1983 年)	—	—	—	—	—
	倉庫	昭和 50 年 (1975 年)	●	●	—	●	●

◎：学校施設調査と学校との間で施設不具合の認識が一致

○：学校施設ヒアリングシートにより施設不具合の指摘あり

●：学校施設調査による指摘事項あり

—：指摘事項なし

※学校施設調査における不具合は、施設評価 C 以上のものとする。

⑥ 学校施設の修繕・改修状況

学校施設の修繕・改修履歴を整理すると、近年において各学校で空調機設置やトイレの洋式化改修など、社会的要求に対応するための設備の現代化改修に取り組んでいます。

図表 35：学校施設の修繕・改善履歴一覧表（1/10）

学校施設名	代表 建設年	経過 年数	構造 階数	No	実施年	経過 年数	修繕・改修内容
壬生小学校							
管理教室棟	昭和57年 (1982年)	38	RC3	①	令和元年 (2019年)	1	トイレ洋式化工事
教室棟	平成元年 (1989年)	31	RC3	①	令和元年 (2019年)	1	トイレ洋式化工事
					令和元年 (2019年)	1	特別教室等空調機設置工事
屋内運動場	昭和51年 (1976年)	44	S1				
屋内運動場・プール	平成3年 (1991年)	29	RC2				
渡り廊下棟1	昭和57年 (1982年)	38	RC3				
渡り廊下棟2	平成元年 (1989年)	31	S2				
給食室	昭和57年 (1982年)	38	RC1				
体育器具庫	昭和57年 (1982年)	38	S1				
石油貯蔵庫	昭和57年 (1982年)	38	S1				
屋外便所	平成元年 (1989年)	31	S1				

※W：木造 S：鉄骨造等 RC：鉄筋コンクリート造

※上記の丸番号は、後述の4（2）5）各施設の目標使用年数に応じた修繕・改修周期とこれまでの修繕状況の図表41の丸番号と整合します。

図表 35：学校施設の修繕・改善履歴一覧表（2/10）

学校施設名	代表 建設年	経過 年数	構造 階数	No	実施年	経過 年数	修繕・改修内容
藤井小学校							
校舎棟	昭和60年 (1985年)	35	RC3	①	平成30年 (2018年)	2	ランチルーム空調機設置工事
屋内運動場	昭和54年 (1979年)	41	S2				
給食室・食堂	昭和60年 (1985年)	35	RC1				
プール付属室 1	平成4年 (1992年)	28	S1				
プール付属室 2	平成4年 (1992年)	28	S1				
倉庫	昭和56年 (1981年)	39	S1				
ポンプ室 1	昭和54年 (1979年)	41	S1				
ポンプ室 2	昭和60年 (1985年)	35	S1				
屋外便所	平成8年 (1996年)	24	S1				

※W：木造 S：鉄骨造等 RC：鉄筋コンクリート造

※上記の丸番号は、後述の4（2）5）各施設の目標使用年数に応じた修繕・改修周期とこれまでの修繕状況の図表41の丸番号と整合します。

図表 35：学校施設の修繕・改善履歴一覧表（3/10）

学校施設名	代表 建設年	経過 年数	構造 階数	No	実施年	経過 年数	修繕・改修内容
壬生東小学校							
校舎棟 1	昭和49年 (1974年)	46	RC3	①	令和元年 (2019年)	1	避難階段改修
校舎棟 2	昭和62年 (1987年)	33	RC3	①	令和元年 (2019年)	1	特別教室等空調機設置
屋内運動場	昭和53年 (1978年)	42	S1	①	平成30年 (2018年)	2	非構造部材(天井落下物等)耐震
給食室	昭和62年 (1987年)	33	RC1				
プール付属室	平成5年 (1993年)	27	RC1				
倉庫	平成6年 (1994年)	26	S1				

※W：木造 S：鉄骨造等 RC：鉄筋コンクリート造

※上記の丸番号は、後述の4（2）5）各施設の目標使用年数に応じた修繕・改修周期とこれまでの修繕状況の図表41の丸番号と整合します。

図表 35：学校施設の修繕・改善履歴一覧表（4/10）

学校施設名	代表 建設年	経過 年数	構造 階数	No	実施年	経過 年数	修繕・改修内容
睦小学校							
教室棟	昭和51年 (1976年)	44	RC3				
管理特別教室棟	昭和51年 (1976年)	44	RC2	①	平成29年 (2017年)	3	特別支援学級空調機設置工事
屋内運動場	昭和56年 (1981年)	39	S2	①	平成30年 (2018年)	2	非構造部材(天井落下物等)耐震
渡り廊下棟	昭和51年 (1976年)	44	S2				
給食室	昭和52年 (1977年)	43	S1				
プール付属室	昭和52年 (1977年)	43	S1				
倉庫 1	昭和52年 (1977年)	43	S1				
倉庫 2	昭和53年 (1978年)	42	S1				
倉庫 3	昭和58年 (1983年)	37	S1				
屋外便所	昭和56年 (1981年)	39	S1				

※W：木造 S：鉄骨造等 RC：鉄筋コンクリート造

※上記の丸番号は、後述の4（2）5）各施設の目標使用年数に応じた修繕・改修周期とこれまでの修繕状況の図表 41 の丸番号と整合します。

図表 35：学校施設の修繕・改善履歴一覧表（5/10）

学校施設名	代表 建設年	経過 年数	構造 階数	No	実施年	経過 年数	修繕・改修内容
稲葉小学校							
管理教室棟	昭和43年 (1968年)	52	RC2				
普通特別教室棟	昭和61年 (1986年)	34	RC3	①	令和元年 (2019年)	1	特別教室等空調機設置工事
屋内運動場	昭和53年 (1978年)	42	S1	①	平成29年 (2017年)	3	非構造部材耐震補強工事
給食室	昭和62年 (1987年)	33	RC1				
プール付属室	昭和61年 (1986年)	34	S1				
石油貯蔵庫	昭和53年 (1978年)	42	RC1				
体育器具庫	昭和63年 (1988年)	32	S1				
屋外便所	平成5年 (1993年)	27	S1				

※W：木造 S：鉄骨造等 RC：鉄筋コンクリート造

※上記の丸番号は、後述の4（2）5）各施設の目標使用年数に応じた修繕・改修周期とこれまでの修繕状況の図表 41 の丸番号と整合します。

図表 35：学校施設の修繕・改善履歴一覧表（6/10）

学校施設名	代表 建設年	経過 年数	構造 階数	No	実施年	経過 年数	修繕・改修内容
羽生田小学校							
管理教室棟	昭和60年 (1985年)	35	RC3	①	令和元年 (2019年)	1	玄関屋根防水工事
				②	平成30年 (2018年)	2	保健室空調機取替工事
屋内運動場	昭和54年 (1979年)	41	S1	①	平成29年 (2017年)	3	非構造部材耐震補強工事
給食室・食堂	昭和60年 (1985年)	35	RC1				
プール付属室	平成4年 (1992年)	28	S1				
倉庫1	昭和60年 (1985年)	35	S1				
倉庫2	平成7年 (1995年)	25	RC1				
屋外便所	平成12年 (2000年)	20	RC1				

※W：木造 S：鉄骨造等 RC：鉄筋コンクリート造

※上記の丸番号は、後述の4（2）5）各施設の目標使用年数に応じた修繕・改修周期とこれまでの修繕状況の図表41の丸番号と整合します。

図表 35：学校施設の修繕・改善履歴一覧表（7/10）

学校施設名	代表 建設年	経過 年数	構造 階数	No	実施年	経過 年数	修繕・改修内容
壬生北小学校							
校舎棟	昭和63年 (1988年)	32	RC3	①	平成29年 (2017年)	3	特別支援学級間仕切り設置工事
屋内運動場	昭和54年 (1979年)	41	RC1				
給食室	昭和63年 (1988年)	32	RC1				
プール付属室	昭和63年 (1988年)	32	S1				
機械室	昭和63年 (1988年)	32	S1				
体育器具庫	昭和55年 (1980年)	40	S1				
倉庫	平成14年 (2002年)	18	RC1				
用具庫	平成14年 (2002年)	18	RC1				
屋外便所	平成9年 (1997年)	23	S1				

※W：木造 S：鉄骨造等 RC：鉄筋コンクリート造

※上記の丸番号は、後述の4（2）5）各施設の目標使用年数に応じた修繕・改修周期とこれまでの修繕状況の図表41の丸番号と整合します。

図表 35：学校施設の修繕・改善履歴一覧表（8/10）

学校施設名	代表 建設年	経過 年数	構造 階数	No	実施年	経過 年数	修繕・改修内容
安塚小学校							
普通特別教室棟	昭和50年 (1975年)	45	RC3	①	令和元年 (2019年)	1	特別教室等空調機設置工事
				②	平成30年 (2018年)	2	自動火災報知設備受信機取替工事
管理普通教室棟	昭和59年 (1984年)	36	RC3	①	令和元年 (2019年)	1	特別教室等空調機設置工事
				②	平成30年 (2018年)	2	自動火災報知設備受信機取替工事
普通教室棟 1 (リース物件)	平成29年 (2017年)	3	S1				
普通教室棟 2 (リース物件)	令和2年 (2020年)	0	S1				
屋内運動場	昭和54年 (1979年)	41	RC1	①	令和2年 (2020年)	0	非構造部材(天井落下物等)耐震
給食室	昭和59年 (1984年)	36	RC1	①	平成30年 (2018年)	2	電源増設工事
プール付属室	平成元年 (1989年)	31	S1				
体育器具庫	昭和53年 (1978年)	42	S1				
屋外便所	平成元年 (1989年)	31	S1				

※W：木造 S：鉄骨造等 RC：鉄筋コンクリート造

※上記の丸番号は、後述の4（2）5）各施設の目標使用年数に応じた修繕・改修周期とこれまでの修繕状況の図表41の丸番号と整合します。

図表 35：学校施設の修繕・改善履歴一覧表（9/10）

学校施設名	代表 建設年	経過 年数	構造 階数	No	実施年	経過 年数	修繕・改修内容
壬生中学校							
普通教室棟	昭和55年 (1980年)	40	RC3	①	令和元年 (2019年)	1	トイレ洋式化工事
				②	平成29年 (2017年)	3	昇降口棟等非構造部材耐震補強
管理特別教室棟	昭和55年 (1980年)	40	RC3	①	令和元年 (2019年)	1	トイレ洋式化工事
					令和元年 (2019年)	1	特別教室等空調機設置工事
				②	平成30年 (2018年)	2	放送設備等改修工事
				③	平成29年 (2017年)	3	保健室空調機取替工事
生徒ホール棟	昭和55年 (1980年)	40	RC2				
昇降口棟	昭和55年 (1980年)	40	RC2				
屋内運動場	昭和56年 (1981年)	39	S2				
第2屋内運動場	平成4年 (1992年)	28	S1				
武道場	昭和60年 (1985年)	35	S1				
渡り廊下 NO1 棟	昭和55年 (1980年)	40	RC2				
渡り廊下 NO2 棟	昭和55年 (1980年)	40	RC1				
給食室	昭和55年 (1980年)	40	RC1				
プール付属室	昭和55年 (1980年)	40	S1				
部室・屋外便所	昭和55年 (1980年)	40	S1				
ダックアウト(倉庫)	昭和55年 (1980年)	40	RC1				
ポンプ機械室棟	昭和55年 (1980年)	40	S1				

※W：木造 S：鉄骨造等 RC：鉄筋コンクリート造

※上記の丸番号は、後述の4（2）5）各施設の目標使用年数に応じた修繕・改修周期とこれまでの修繕状況の図表41の丸番号と整合します。

図表 35：学校施設の修繕・改善履歴一覧表（10/10）

学校施設名	代表 建設年	経過 年数	構造 階数	No	実施年	経過 年数	修繕・改修内容
南犬飼中学校							
普通及び特別教室棟	昭和45年 (1970年)	50	RC2	①	令和元年 (2019年)	1	特別教室等空調機設置工事
普通教室棟	昭和59年 (1984年)	36	RC3				
管理教室棟	昭和59年 (1984年)	36	RC3	①	令和元年 (2019年)	1	特別教室等空調機設置工事
				②	平成30年 (2018年)	2	外壁改修工事(外壁タイル撤去)
特別教室棟	昭和59年 (1984年)	36	RC2	①	令和元年 (2019年)	1	特別教室等空調機設置工事
ホール棟	昭和59年 (1984年)	36	RC3	①	平成30年 (2018年)	2	外壁改修工事(外壁タイル撤去)
屋内運動場 1	昭和47年 (1972年)	48	S2				
屋内運動場 2	昭和62年 (1987年)	33	S2	①	平成30年 (2018年)	2	屋根・樋等改修工事
武道場	昭和60年 (1985年)	35	S2				
渡り廊下棟 1	昭和59年 (1984年)	36	RC2				
渡り廊下棟 2	昭和60年 (1985年)	35	RC2				
給食室	昭和58年 (1983年)	37	RC2				
プール附属室	昭和58年 (1983年)	37	S1				
部室	昭和58年 (1983年)	37	S1				
倉庫	昭和50年 (1975年)	45	W1				

※W：木造 S：鉄骨造等 RC：鉄筋コンクリート造

※上記の丸番号は、後述の4（2）5）各施設の目標使用年数に応じた修繕・改修周期とこれまでの修繕状況の図表41の丸番号と整合します。

4. 学校施設整備の基本的な方針等

(1) 学校施設の規模・配置計画等の方針

本計画の上位計画となる「壬生町公共施設等総合管理計画」では、学校教育施設をいかに継続して施設を利用するか。併せて、児童生徒数を踏まえた施設の適正配置を課題としています。

令和2年度の児童生徒数をみると、藤井小学校の全校児童数は39人、羽生田小学校の全校児童数は30人と少人数の学校となっていますが、両校ともに小さい学校だからこそできる細やかな指導や少人数での教育の良さを生かした魅力ある教育活動に取り組んでいます。

第2期壬生町人口ビジョン（令和2年3月改定）では、今後、産業振興や利便性の向上、子育て支援に取り組むことで若年層の転出を抑制するとともに子育て世代の移住・定住を促進し、将来においても子どもの人口（年少人口）を維持していくものとしています。

また、学校施設は義務教育施設としての役割のほかに、地域コミュニティの活動拠点、災害時の防災拠点、校庭・屋内運動場等の開放などによる地域スポーツの活動拠点など、学校施設は地域活動の拠点として今後、公共施設の統廃合に伴う受け皿と成り得る施設です。

このため、当面は現在の学校施設を維持し、今後の社会情勢や人口動向、上位計画の壬生町公共施設等総合管理計画と整合を図りながら、学校施設の有効活用を検討していくものとします。

(2) 改修等の基本的な方針

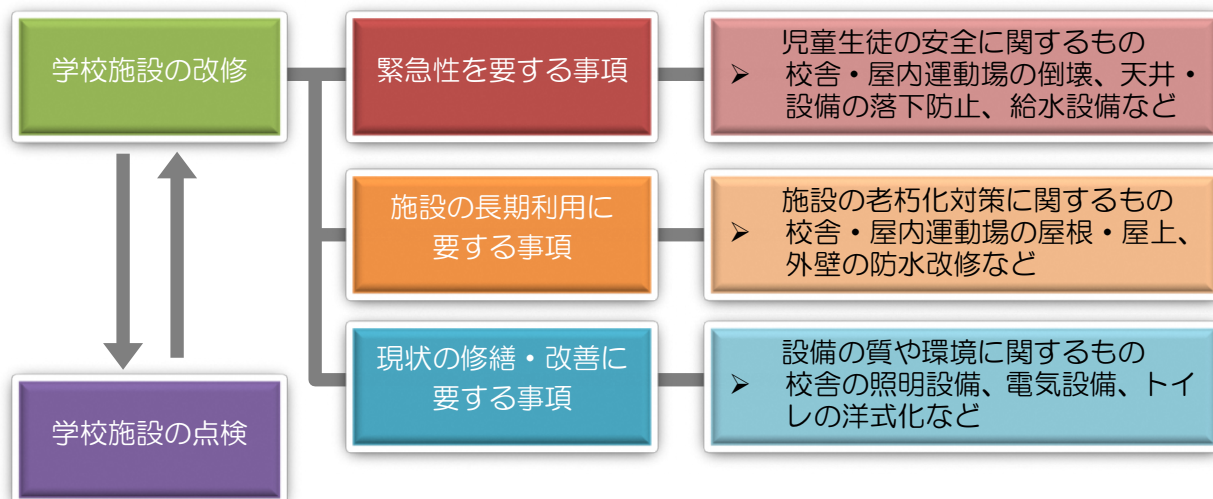
1) 維持管理の基本方針

本町の学校施設は、建設から30年以上経過するものが80施設あり、学校施設の延べ床面積にして93.3%を占めています。

施設の老朽化対策に要する費用の中でも、特に校舎や屋内運動場は多額の費用を要するため、設備の劣化や不具合を定期的に把握するための点検が重要であるとともに、設備の不具合が軽微なうちに対策を講じることが財政支出の軽減につながります。

しかし、財政支出にも限度があることから、児童生徒の安全に関する「緊急性を要する事項」、施設の老朽化対策に関する「施設の長期利用に要する事項」、設備の質や環境に関する「現状の修繕・改善に要する事項」に分類し、優先順位を付けて施設の長寿命化と財政負担の平準化を図るものとします。

図表 36：維持管理の基本方針



2) 施設の耐用年数

建物の耐用年数の考え方は諸説ありますが、本計画では、建物の損失補償の考え方に基づき、目標使用年数の設定を行うものとします。

まず、第一法規（株）より発行された「新工法による建物移転補償の実務」によると、鉄筋コンクリート造または、鉄骨鉄筋コンクリート造の校舎の耐用年数は 90 年、鉄骨造の屋内運動場の耐用年数は 80 年と設定されています。

また、（一財）首都圏高速道路補償センターより発行された「非木造建物調査積算要領の解説」では、「非木造建物の場合、躯体が鉄骨やコンクリートのため根本的な改良を行わない限り、耐用年数の余命を延ばすことはできない」ものとされています。

図表 37：学校施設の耐用年数

施設名	構造	耐用年数
校舎	S:鉄骨造(肉厚 9mm～4mm)	60
	RC:鉄筋コンクリート造	90
	SRC:鉄骨鉄筋コンクリート造	90
屋内運動場	S:鉄骨造(肉厚 9mm以上主として H 型構造)	80
物置・倉庫等	W:木造	20
	S:軽量鉄骨造、鉄骨造(肉厚 4mm以下)	45

資料：新工法による建物移転補償の実務/第一法規

3) 目標使用年数の設定

文部科学省の「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」の長寿命化による使用期間は 70 年から 80 年程度と定められていますが、近年の文部科学省資料では 80 年以上の活用が求められています。目標使用年数の設定は、施設の修繕・改修周期と密接に関係します。

本町の学校施設は同時期に整備を行ったことから改築（建替え）や修繕・改修のタイミングが同期してしまい、町の財政に大きな影響を及ぼすことになります。

このため、校舎や屋内運動場などの大規模施設の改修タイミングを施設の劣化状況に基づき設定した結果、目標使用年数を 90 年と設定しました。

なお、物置や倉庫等の付属施設は、前項の 2) 施設の耐用年数に準じるものとします。

※RC 造プール付属室は、薬品を使用する施設のため、目標使用年数を 45 年とします。

図表 38：学校施設の目標使用年数

施設名	構造	目標使用年数
校舎	S:鉄骨造(肉厚 9mm～4mm)	60
	RC:鉄筋コンクリート造	90
	SRC:鉄骨鉄筋コンクリート造	90
屋内運動場	S:鉄骨造(肉厚 9mm以上主として H 型構造)	90
	RC:鉄筋コンクリート造	90
物置・倉庫等	W:木造	20
	S:軽量鉄骨造、鉄骨造(肉厚 4mm以下)	45
	RC:鉄筋コンクリート造(プール付属室)	45

図表 39：学校施設の目標使用年数一覧表（1/5）

学校施設名	代表建設年	経過年数	構造階数	目標使用年数	残利用年数
壬生小学校					
管理教室棟	昭和 57 年 (1982 年)	38	RC3	90	52
教室棟	平成元年 (1989 年)	31	RC3	90	59
屋内運動場	昭和 51 年 (1976 年)	44	S1	90	46
屋内運動場・プール	平成 3 年 (1991 年)	29	RC2	90	61
渡り廊下棟 1	昭和 57 年 (1982 年)	38	RC3	90	52
渡り廊下棟 2	平成元年 (1989 年)	31	S2	90	59
給食室	昭和 57 年 (1982 年)	38	RC1	90	52
体育器具庫	昭和 57 年 (1982 年)	38	S1	45	7
石油貯蔵庫	昭和 57 年 (1982 年)	38	S1	45	7
屋外便所	平成元年 (1989 年)	31	S1	45	14
藤井小学校					
校舎棟	昭和 60 年 (1985 年)	35	RC3	90	55
屋内運動場	昭和 54 年 (1979 年)	41	S2	90	49
給食室・食堂	昭和 60 年 (1985 年)	35	RC1	90	55
プール付属室 1	平成 4 年 (1992 年)	28	S1	45	17
プール付属室 2	平成 4 年 (1992 年)	28	S1	45	17
倉庫	昭和 56 年 (1981 年)	39	S1	45	6
ポンプ室 1	昭和 54 年 (1979 年)	41	S1	45	4
ポンプ室 2	昭和 60 年 (1985 年)	35	S1	45	10
屋外便所	平成 8 年 (1996 年)	24	S1	45	21
壬生東小学校					
校舎棟 1	昭和 49 年 (1974 年)	46	RC3	90	44
校舎棟 2	昭和 62 年 (1987 年)	33	RC3	90	57
屋内運動場	昭和 53 年 (1978 年)	42	S1	90	48
給食室	昭和 62 年 (1987 年)	33	RC1	90	57
プール付属室	平成 5 年 (1993 年)	27	RC1	45	18
倉庫	平成 6 年 (1994 年)	26	S1	45	19

※W：木造 S：鉄骨造等 RC：鉄筋コンクリート造

図表 39：学校施設の目標使用年数一覧表（2/5）

学校施設名	代表建設年	経過年数	構造階数	目標使用年数	残利用年数
睦小学校					
教室棟	昭和 51 年 (1976 年)	44	RC3	90	46
管理特別教室棟	昭和 51 年 (1976 年)	44	RC2	90	46
屋内運動場	昭和 56 年 (1981 年)	39	S2	90	51
渡り廊下棟	昭和 51 年 (1976 年)	44	S2	90	46
給食室	昭和 52 年 (1977 年)	43	S1	90	47
プール付属室	昭和 52 年 (1977 年)	43	S1	45	2
倉庫 1	昭和 52 年 (1977 年)	43	S1	45	2
倉庫 2	昭和 53 年 (1978 年)	42	S1	45	3
倉庫 3	昭和 58 年 (1983 年)	37	S1	45	8
屋外便所	昭和 56 年 (1981 年)	39	S1	45	6
稲葉小学校					
管理教室棟	昭和 43 年 (1968 年)	52	RC2	90	38
普通特別教室棟	昭和 61 年 (1986 年)	34	RC3	90	56
屋内運動場	昭和 53 年 (1978 年)	42	S1	90	48
給食室	昭和 62 年 (1987 年)	33	RC1	90	57
プール付属室	昭和 61 年 (1986 年)	34	S1	45	11
石油貯蔵庫	昭和 53 年 (1978 年)	42	RC1	45	3
体育器具庫	昭和 63 年 (1988 年)	32	S1	45	13
屋外便所	平成 5 年 (1993 年)	27	S1	45	18
羽生田小学校					
管理教室棟	昭和 60 年 (1985 年)	35	RC3	90	55
屋内運動場	昭和 54 年 (1979 年)	41	S1	90	49
給食室・食堂	昭和 60 年 (1985 年)	35	RC1	90	55
プール付属室	平成 4 年 (1992 年)	28	S1	45	17
倉庫 1	昭和 60 年 (1985 年)	35	S1	45	10
倉庫 2	平成 7 年 (1995 年)	25	RC1	45	20
屋外便所	平成 12 年 (2000 年)	20	RC1	45	25

※W：木造 S：鉄骨造等 RC：鉄筋コンクリート造

図表 39：学校施設の目標使用年数一覧表（3/5）

学校施設名	代表建設年	経過年数	構造階数	目標使用年数	残利用年数
壬生北小学校					
校舎棟	昭和 63 年 (1988 年)	32	RC3	90	58
屋内運動場	昭和 54 年 (1979 年)	41	RC1	90	49
給食室	昭和 63 年 (1988 年)	32	RC1	90	58
プール付属室	昭和 63 年 (1988 年)	32	S1	45	13
機械室	昭和 63 年 (1988 年)	32	S1	45	13
体育器具庫	昭和 55 年 (1980 年)	40	S1	45	5
倉庫	平成 14 年 (2002 年)	18	RC1	45	27
用具庫	平成 14 年 (2002 年)	18	RC1	45	27
屋外便所	平成 9 年 (1997 年)	23	S1	45	22
安塚小学校					
普通特別教室棟	昭和 50 年 (1975 年)	45	RC3	90	45
管理普通教室棟	昭和 59 年 (1984 年)	36	RC3	90	54
普通教室棟 1 (リース物件)	平成 29 年 (2017 年)	3	S1	45	52
普通教室棟 2 (リース物件)	令和 2 年 (2020 年)	0	S1	45	55
屋内運動場	昭和 54 年 (1979 年)	41	RC1	90	49
給食室	昭和 59 年 (1984 年)	36	RC1	90	54
プール付属室	平成元年 (1989 年)	31	S1	45	14
体育器具庫	昭和 53 年 (1978 年)	42	S1	45	3
屋外便所	平成元年 (1989 年)	31	S1	45	14

※W：木造 S：鉄骨造等 RC：鉄筋コンクリート造

図表 39：学校施設の目標使用年数一覧表（4/5）

学校施設名	代表建設年	経過年数	構造階数	目標使用年数	残利用年数
壬生中学校					
普通教室棟	昭和 55 年 (1980 年)	40	RC3	90	50
管理特別教室棟	昭和 55 年 (1980 年)	40	RC3	90	50
生徒ホール棟	昭和 55 年 (1980 年)	40	RC2	90	50
昇降口棟	昭和 55 年 (1980 年)	40	RC2	90	50
屋内運動場	昭和 56 年 (1981 年)	39	S2	90	51
第 2 屋内運動場	平成 4 年 (1992 年)	28	S1	90	62
武道場	昭和 60 年 (1985 年)	35	S1	90	55
渡り廊下 NO1 棟	昭和 55 年 (1980 年)	40	RC2	90	50
渡り廊下 NO2 棟	昭和 55 年 (1980 年)	40	RC1	90	50
給食室	昭和 55 年 (1980 年)	40	RC1	90	50
プール付属室	昭和 55 年 (1980 年)	40	S1	45	5
部室・屋外便所	昭和 55 年 (1980 年)	40	S1	45	5
ダックアウト(倉庫)	昭和 55 年 (1980 年)	40	RC1	45	5
ポンプ機械室棟	昭和 55 年 (1980 年)	40	S1	45	5

※W：木造 S：鉄骨造等 RC：鉄筋コンクリート造

図表 39：学校施設の目標使用年数一覧表（5/5）

学校施設名	代表建設年	経過年数	構造階数	目標使用年数	残利用年数
南犬飼中学校					
普通及び特別教室棟	昭和 45 年 (1970 年)	50	RC2	90	40
普通教室棟	昭和 59 年 (1984 年)	36	RC3	90	54
管理教室棟	昭和 59 年 (1984 年)	36	RC3	90	54
特別教室棟	昭和 59 年 (1984 年)	36	RC2	90	54
ホール棟	昭和 59 年 (1984 年)	36	RC3	90	54
屋内運動場 1	昭和 47 年 (1972 年)	48	S2	90	42
屋内運動場 2	昭和 62 年 (1987 年)	33	S2	90	57
武道場	昭和 60 年 (1985 年)	35	S2	90	55
渡り廊下棟 1	昭和 59 年 (1984 年)	36	RC2	90	54
渡り廊下棟 2	昭和 60 年 (1985 年)	35	RC2	90	55
給食室	昭和 58 年 (1983 年)	37	RC2	90	53
プール付属室	昭和 58 年 (1983 年)	37	S1	45	8
部室	昭和 58 年 (1983 年)	37	S1	45	8
倉庫	昭和 50 年 (1975 年)	45	W1	20	-25

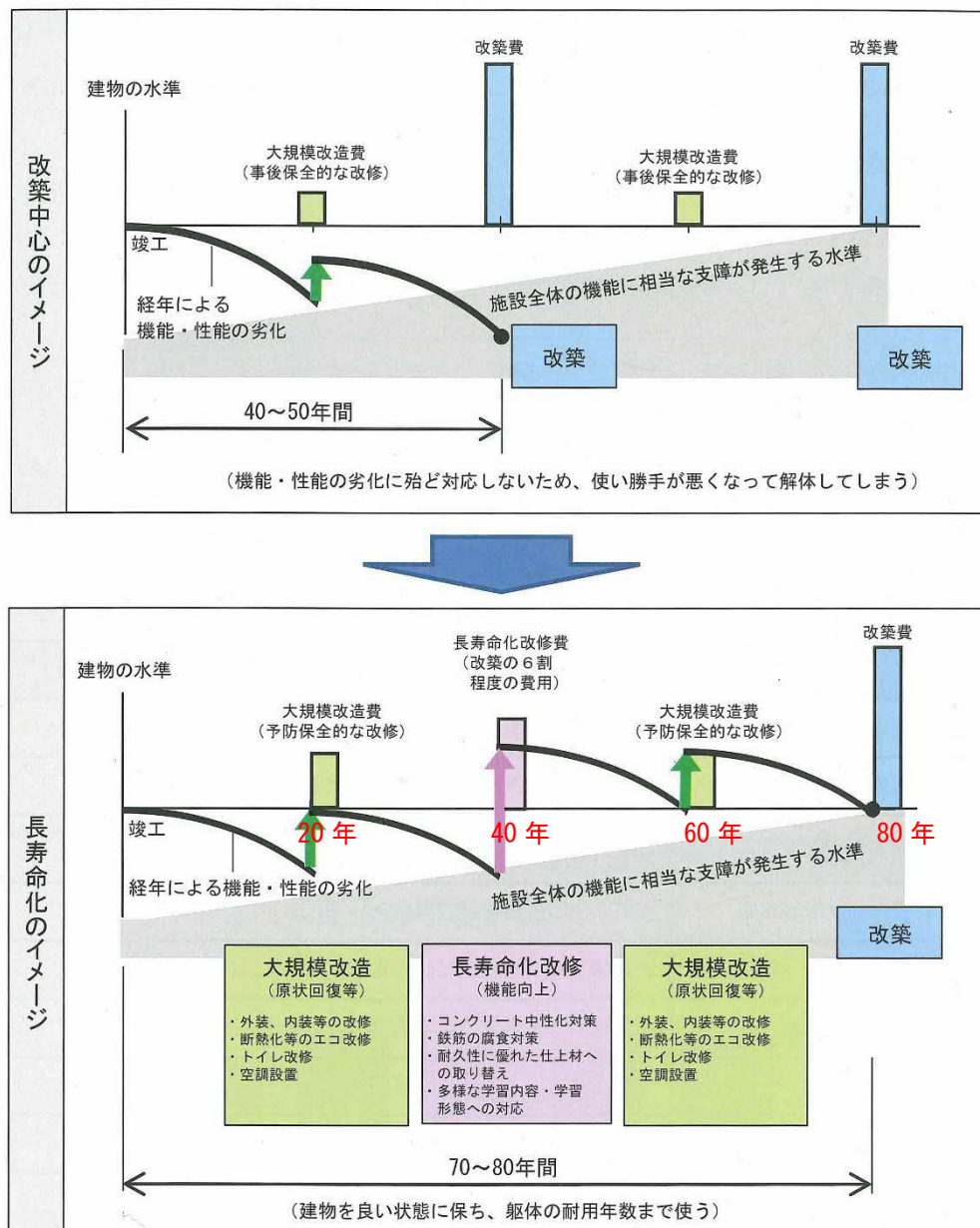
※W：木造 S：鉄骨造等 RC：鉄筋コンクリート造

4) 修繕・改修周期の設定

これまでの改築中心の考え方では、概ね40年から50年の期間で建替えを実施してきました。今後は、建替え（改築）から長寿命化改修に切り替え、部位改修を併用した整備を行っていきます。

長寿命化改修を実施する修繕・改修周期の設定は、文部科学省の「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」の大規模な修繕・改修の周期を20年、長寿命化改修に要する費用は改築の6割程度を参考とします。

図表 40：改築中心から長寿命化への転換のイメージ



資料：学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書/文部科学省より引用

5) 各施設の目標使用年数に応じた修繕・改修周期とこれまでの修繕状況

① 目標使用年数 90 年間の施設

目標使用年数を 90 年間と設定した施設は、鉄筋コンクリート造の校舎及び屋内運動場、鉄骨造の屋内運動場など 54 施設となっています。

現状において、建設後 30 年以上経過したものは 80 施設あり、そのうち建設後 40 年以上経過したものは 35 施設あります。最も古い施設は、稲葉小学校管理教室棟の築 52 年となっています。

これまでの施設の修繕状況をみると、近年において各学校で空調機設置やトイレの洋式化改修など、社会的要求に対応するための設備の現代化改修に取り組んでいます。

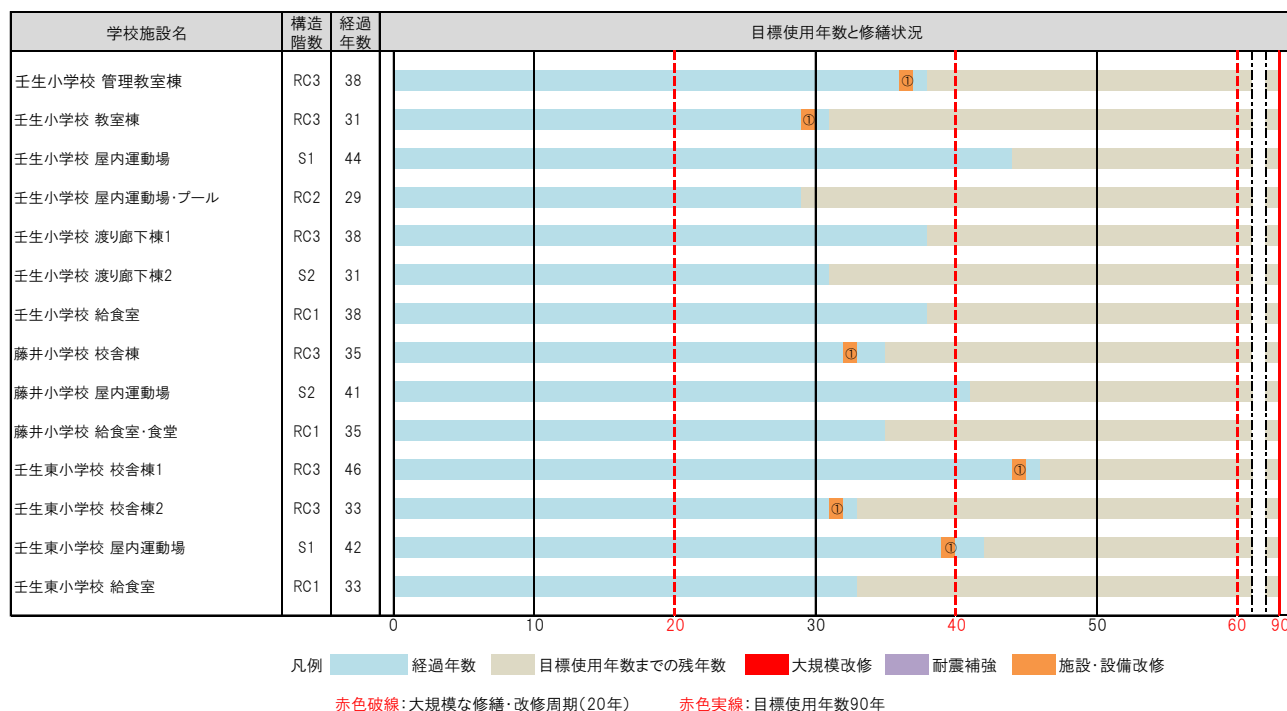
しかし、老朽化が進む校舎本体については、不具合が発生してから対応する対症療法的な修繕が行われているのが現状です。

各設備の修繕周期に着目すると、多くの設備が耐用年数を迎えており、このまま対症療法的な修繕を続けると設備の老朽化から一度に多額の修繕費用が必要になるなどの財政的なリスクが高まります。

前項の 4) 修繕・改修周期の設定で定めたように、計画的な修繕・改修に転換することにより、維持管理費の平準化と、中長期的な財政の見通しを立てることが必要となっています。

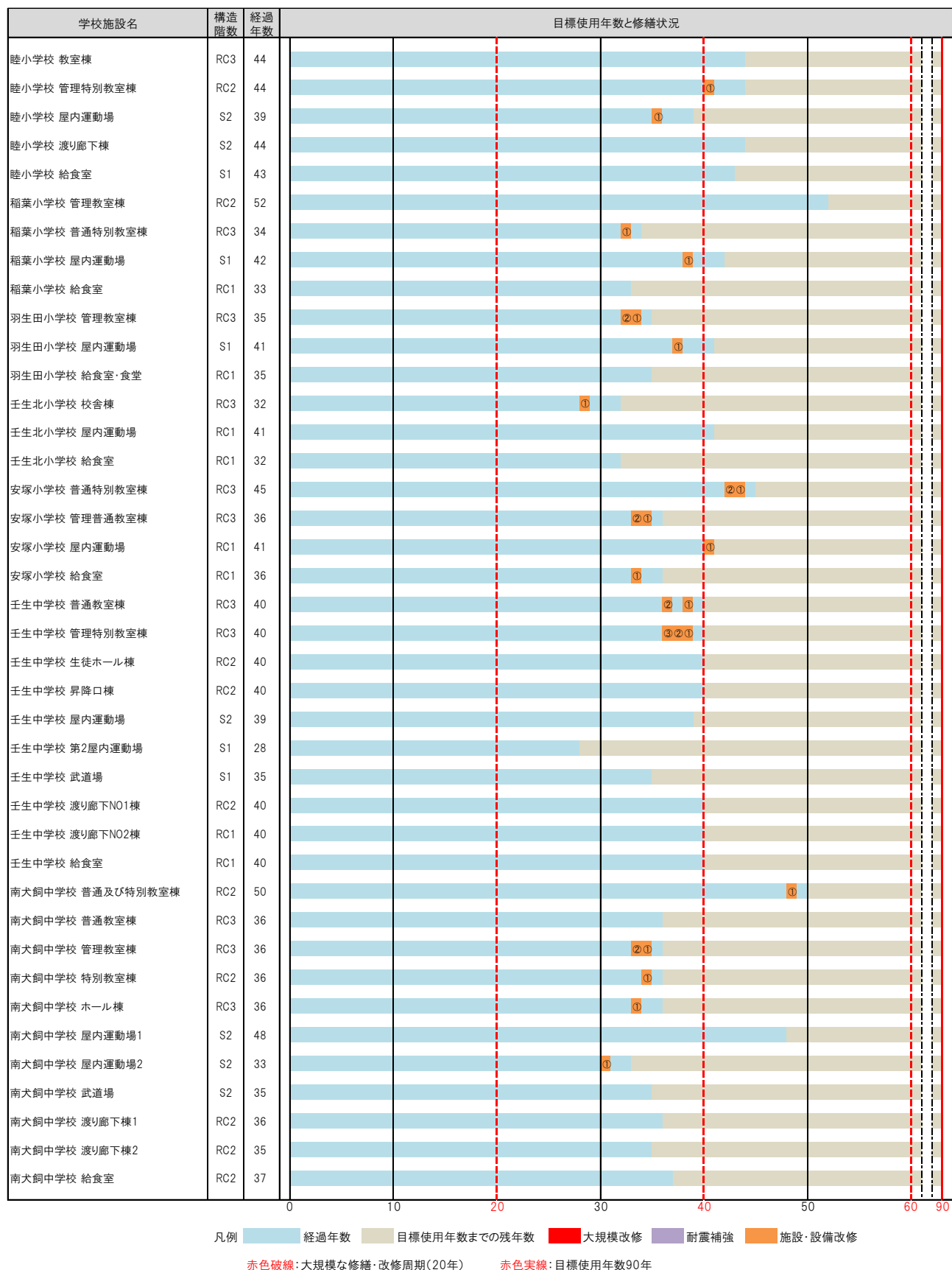
また、一度に全ての修繕・改修を行うことは、財政的に困難であるため、実施する内容の絞り込みと優先順位付けを行い、計画的な設備の修繕・改修を行っていきます。

図表 41：目標使用年数 90 年間の校舎・屋内運動場の修繕状況（1/2）



※図表中の丸番号は、前述の 3 (2) 3) ⑥学校施設の修繕・改修状況の図表 35 の丸番号と整合し、学校施設の修繕・改修内容を説明しています。

図表 41：目標使用年数 90 年間の校舎・屋内運動場の修繕状況（2/2）



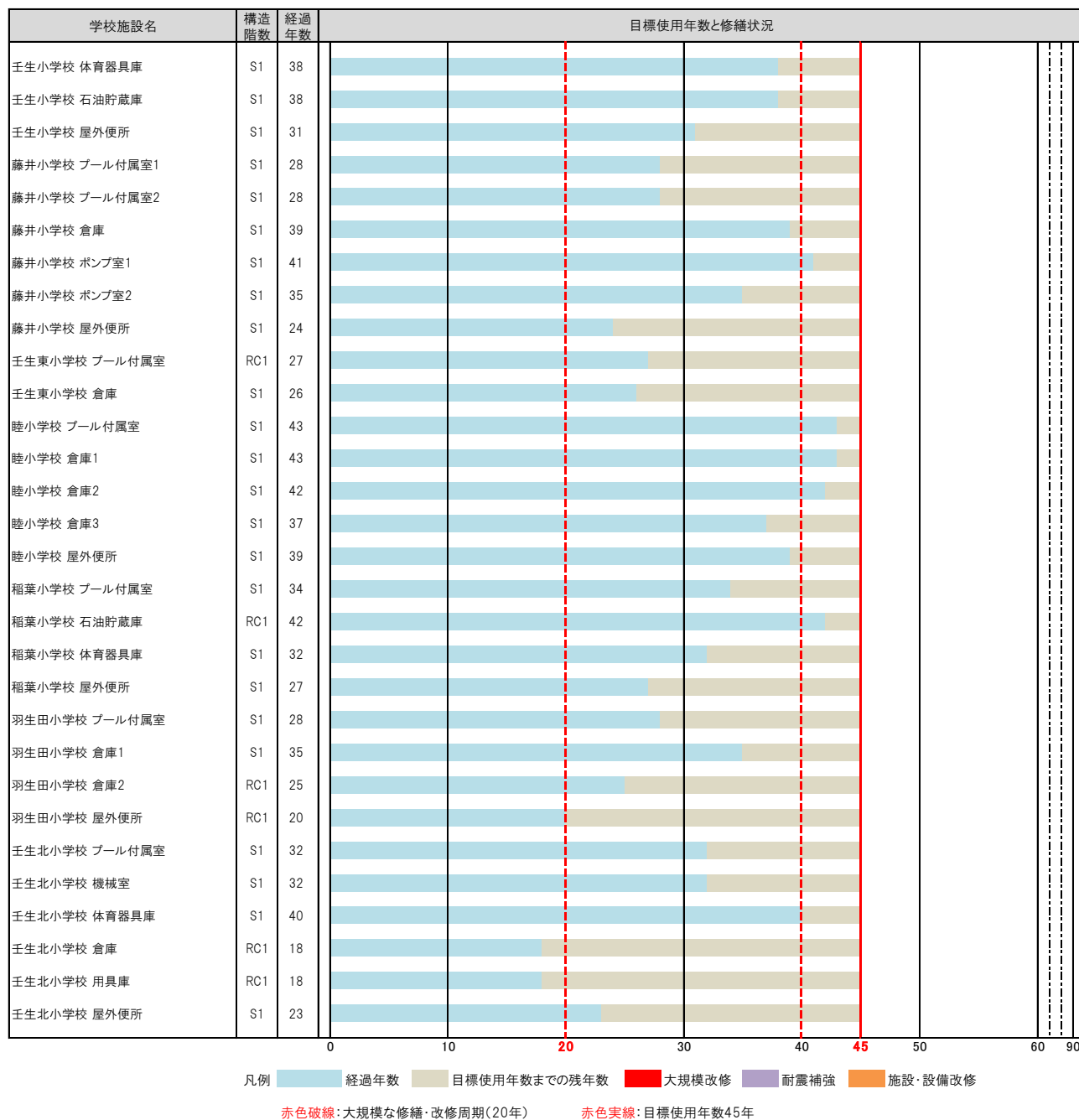
※図表中の丸番号は、前述の3（2）3）⑥学校施設の修繕・改修状況の図表 35 の丸番号と整合し、学校施設の修繕・改修内容を説明しています。

② 目標使用年数 45 年間の施設

目標使用年数を 45 年間と設定した施設は、軽量鉄骨造のプール付属室や倉庫などの 41 施設となっています。

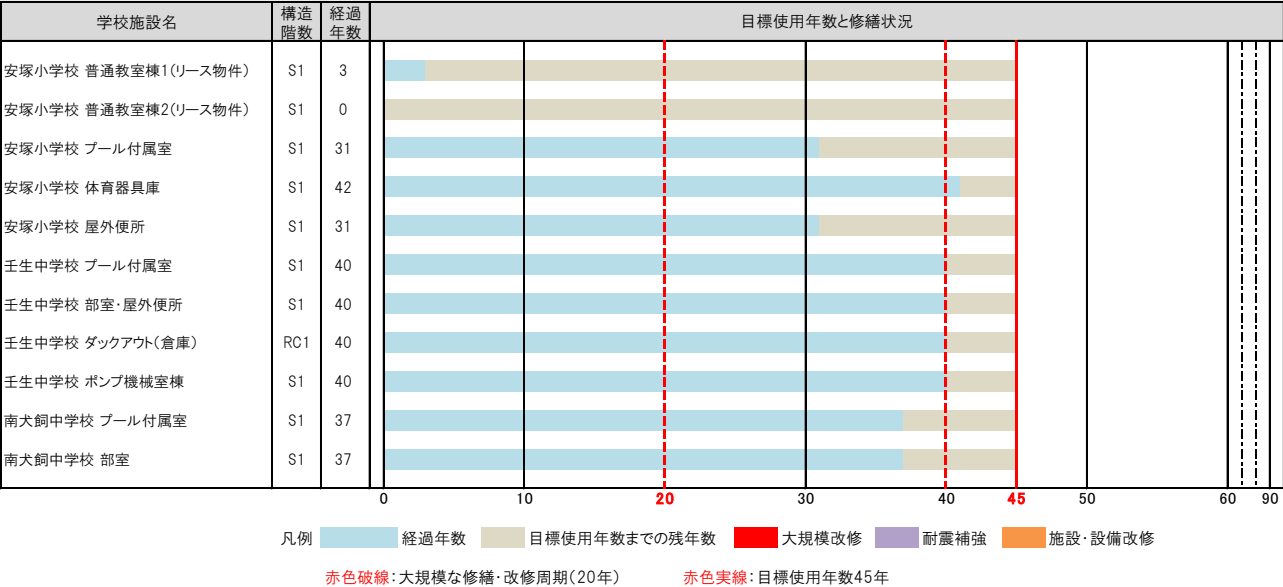
これまでの施設の修繕状況をみると、対象施設がプール付属室や倉庫等ということもあり、大きな修繕は行っていません。残りの活用年数が 10 年未満の施設は 18 施設となります。老朽化が進む施設においても、なるべく長く活用していけるように日常的に点検を行い、設備の不具合が軽微なうちに修繕し、適切に維持管理を行っていくものとします。

図表 42：目標使用年数 45 年間のプール付属室・倉庫等と修繕状況（1/2）



※図表中の丸番号は、前述の 3（2）3）⑥学校施設の修繕・改修状況の図表 35 の丸番号と整合し、学校施設の修繕・改修内容を説明しています。

図表 42：目標使用年数 45 年間のプール付属室・倉庫等と修繕状況（2/2）



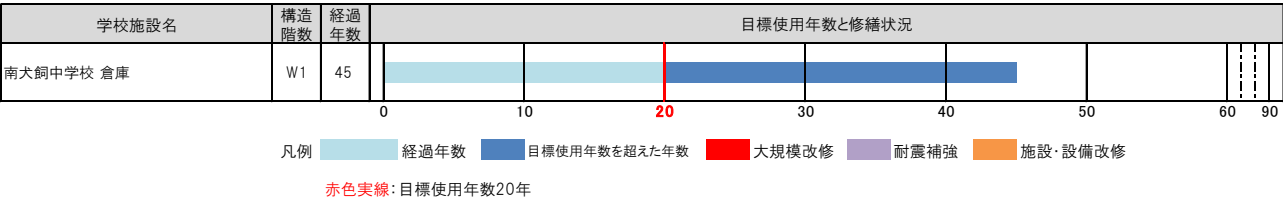
※図表中の丸番号は、前述の3（2）3）⑥学校施設の修繕・改修状況の図表 35 の丸番号と整合し、学校施設の修繕・改修内容を説明しています。

③ 目標使用年数 20 年間の施設

目標使用年数を 20 年間と設定した施設は、南犬飼中学校倉庫の 1 施設のみとなっており、既に目標使用年数を 25 年経過しています。

これまでの施設の修繕状況をみると、倉庫ということもあり、大きな修繕は行っていません。近年建替えを実施した施設はもとより、目標使用年数を経過した施設においても、日常的に点検を行い、不具合が軽微なうちに修繕を行うことで適切に管理し、施設をできるだけ長く活用していくものとします。

図表 43：目標使用年数 20 年間の倉庫と修繕状況



※図表中の丸番号は、前述の3（2）3）⑥学校施設の修繕・改修状況の図表 35 の丸番号と整合し、学校施設の修繕・改修内容を説明しています。

④ 設備の修繕周期

設備の修繕周期の基準は、国土交通省の「大規模リニューアル（案）」に基づき、（一財）建築保全センターの「建築物ライフサイクルコスト」を参考にするものとします。

図表 44：学校設備の修繕周期一覧（1/3）

区分		工種別	耐用年数	仕様等
建築	屋根・屋上	アスファルト防水※	15	露出
		アスファルト防水※	25	保護層あり
		アスファルト防水	30	押えコンクリート厚 80
		タイル貼	30	
		アルミ笠木	40	
	外壁	石貼	65	花崗岩
		タイル貼	40	磁器タイル打込み
		合成樹脂吹付	15	モルタル下地
	カーテンウォール	PC 版製	65	モザイクタイル打込み
	外部天井(軒天)	アルミ製	30	
		ステンレス製	40	
		ボード貼	20	フレキシブルボード
	外部建具	スチール製建具	30	
		アルミ製建具	40	
		ステンレス製出入り口	40	4,400×2,500
		鉄部合成樹脂調合ペイント塗り	5	
	外部雑	屋上手摺り(スチール製)	30	
		屋上手摺り(ステンレス製)	65	H=1,100
		屋上手摺り(アルミ製)	40	H=1,100
	床	花崗岩	65	稲田程度
		大理石	65	
		テラゾーブロック	30	
		タイル貼	65	
		モルタル仕上げ	30	モルタル金罫
		塩ビタイル	20	モルタル下地
		ビニル床シート	20	モルタル金罫
		フローリング材※	30	
		カーペット	20	モルタル下地
	内壁	花崗岩	65	稲田程度
		大理石	65	
		テラゾーブロック	65	
		タイル貼	65	陶磁器タイル
		モルタル仕上げ	65	EP 塗り
		複層仕上げ塗材	20	モルタル下地
		ビニルクロス貼り	20	合板下地
		ビニルクロス貼り	20	GL 工法、PB=T12
		ウォールナット練付け	20	T=9、胴縁共
		メラミン化粧版	30	T=9、胴縁共
	天井	アルミ製	30	軽鉄下地
		ボード類	30	化粧プラスターボード
		ビニルクロス貼り	30	PB 下地、T=9
		合成樹脂吹付	20	コンクリート下地

※「改修によるマンションの再生手法に関するマニュアル」等を参照

図表 44：学校設備の修繕周期一覧（2/3）

区分		工種別	耐用年数	仕様等
建築	内部建具	アルミ製建具	40	
		鋼製建具	30	
		木製建具	30	OP 塗り
	その他	便所スクリーン	65	テラゾーブロックパネル
		便所スクリーン	30	化粧鋼板パネル
		流し台	30	
電気設備	高圧機器	高圧受電盤	25	屋内キュービクル
		高圧受電盤	25	屋外キュービクル
		配電盤	25	
		変圧器	30	
	自家発電機器	自家発電装置	30	
	直流電源装置	蓄電池(鉛)	7	シール型・鉛(HS)
		蓄電池(アルカリ)	25	シール型、AHH
	盤類	動力制御盤	25	
		電灯分電盤	25	
		端子盤	30	
	照明器具	蛍光灯器具	20	
		白熱灯器具	20	
		誘導灯	20	
	弱電設備	電話交換機	15	電子ボタン電話装置
		増幅器	20	ラック式
		スピーカー	20	天井埋込み
		インターフォン	20	親子式
		電気時計	20	親子式
		TV アンテナ	10	
		TV 増幅器	20	
		混合器、分岐器	20	
	自火報機器	感知器	20	差動式
		受信器	20	50L
	配線器具類	スイッチ	30	タンブラースイッチ
		コンセント	30	
	配線配管	電線類	30	
		配管類	65	薄鋼電線管
		ケーブルラック	65	鋼線
機械設備	ポンプ類	揚水ポンプ	20	
		給湯循環ポンプ	20	
		雑排水ポンプ	15	
		消火ポンプ	20	ユニット式
	水槽	受水槽、高架水槽	20	鉄板製
		受水槽、高架水槽	25	FRP 製
		受水槽、高架水槽	30	ステンレス製
	製缶類	オイルタンク(地下)	30	
		貯湯槽(鋼板製)	20	
		貯湯槽(ステンレス製)	25	
	配管	炭素鋼鋼管(白)	30	排水、通気
		炭素鋼鋼管(白)	30	消火
		塩ビライニング鋼管	25	
		銅管	30	M

図表 44：学校設備の修繕周期一覧（3/3）

区分		工種別	耐用年数	仕様等
機械設備	配管	ステンレス管	30	
		ビニル管	20	HVP
		ビニル管	30	VP
		鋳鉄管	40	
		ヒューム管	40	
	消火機器	屋内消火栓	30	
		送水口	30	
		ハロン消火噴霧ヘッド	20	
		ハロン消火起動装置	20	
	衛生器具	大便器	30	
		小便器	30	
		洗面器	30	
		洗面化粧台	15	
		水栓類	15	
	湯沸器	ガス湯沸器	10	
		電気湯沸器	10	
	冷熱源機器	鋼板製ボイラー	15	
		鋳鉄製ボイラー	30	蒸気
		煙管ボイラー	20	
		ターボ冷凍機	20	
		往復動冷凍機	15	
		吸収式冷凍機	20	
		空気熱源ヒートポンプチャラー	15	
		冷却塔	13	FRP 対抗式
	空調機類	AHU	20	
		パッケージ型空調機	20	水冷式
		パッケージ型空調機	15	空気熱源ヒートポンプ
		FCU	20	
		ファンコンベクター	20	
	全熱交換機	全熱交換機	20	回転型
		鋼管換気ユニット	20	天井埋込み
	送排風機	送風機	20	遠心式
		排風機	25	
	ポンプ類	冷温水ポンプ	20	タービンポンプ
		冷却水ポンプ	20	
	配管	炭素鋼鋼管(白)	20	冷温水
		炭素鋼鋼管(白)	20	蒸気
		銅管	30	L
	ダクト制気口	空調用ダクト	30	
		パン型吹出口	30	
		ユニバーサル型吹出口	30	
	自動制御機器	検出器	15	電子式、温度
		調節器	15	電子式、温度
		操作器	12	電子式
		制御盤	10	
		中央監視盤	10	
	昇降機	エレベーター	30	一般型

⑤ 経過年数による設備の劣化状況比較

前項の④ 設備の修繕周期において取りまとめた耐用年数と、校舎を長期的に活用するための主な設備（屋上・外壁）の経過年数に応じた劣化状況を整理し、今後の維持管理の参考資料とします。

図表 45：設備の耐用年数と経年劣化状況

施設区分	屋上防水		
工種・仕様	シート防水		
施設状況			
建設・修繕年	昭和 60 年(1985 年)	昭和 57 年(1982 年)	昭和 50 年(1975 年)
経過年数	35 年	38 年	45 年

※アスファルト防水耐用年数 露出：15 年 保護層あり：25 年 押えコンクリート厚 80：30 年

施設区分	外壁防水		
工種・仕様	合成樹脂吹付		
施設状況			
建設・修繕年	昭和 61 年(1986 年)	昭和 59 年(1984 年)	昭和 55 年(1980 年)
経過年数	34 年	36 年	40 年

5. 基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等

(1) 改修等の整備水準

今後、学校施設の改修等を行う際には、施設の長寿命化に向けて「安全面」、「機能面」、「環境面」、「財政面」の4つの視点に基づき、施設の長寿命化に向けた改修を実施するものとします。

本町の学校施設は、建設後30年以上を経過するものが80施設あります。建設当時は一般的な整備水準であった施設も、現代の教育制度で求められるICT化や省エネルギー性、バリアフリー等の社会的要求に対応できなくなっています。また、校舎などの構造体においても、経年変化により施設の老朽化が進行しており、部材の落下や躯体強度の低下、設備配管等の劣化など、安全面にも配慮が必要となっています。

前章の4(2)4)修繕・改修周期の設定で取りまとめたように、これまでの改築中心の考えから、計画的な維持管理に考えを改め、施設の長寿命化を図ることで、財政面での負担軽減を目指すとともに、建設廃材の発生を抑制するなど、環境面にも配慮します。

さらに、老朽化した設備を現代の技術水準で改修することでグレードアップを図り、現代の社会的要求に対応できる施設整備を行います。

図表 46：長寿命化において配慮すべき4つの視点

項目	内容
安全面	部材の経年劣化による外壁・窓などの落下や、鉄筋の腐食、コンクリートの劣化による構造体としての強度の低下、ガス・水道・電気の設備配管等の劣化などの危険が生じないよう、安全の確保に配慮する。
機能面	教育内容・方法の多様化に伴い、少人数指導やICTを活用した教育に適応した設備を目指すとともに、老朽化したトイレの改修による衛生面の改善や、障害者の利用しやすいバリアフリー化への対応など、機能的な施設づくりに配慮する。
環境面	壁や窓等の断熱化による冷暖房の効率化や、照明機器等の省エネルギー化による使用電力量の抑制、二酸化炭素排出量の削減など、エコ改修の推進により環境面に配慮する。
財政面	改築中心の考え方から施設の長寿命化へと考え方を改めることで、将来における施設の更新費用負担を軽減させ、建築経費の縮減と財政負担の平準化に配慮する。

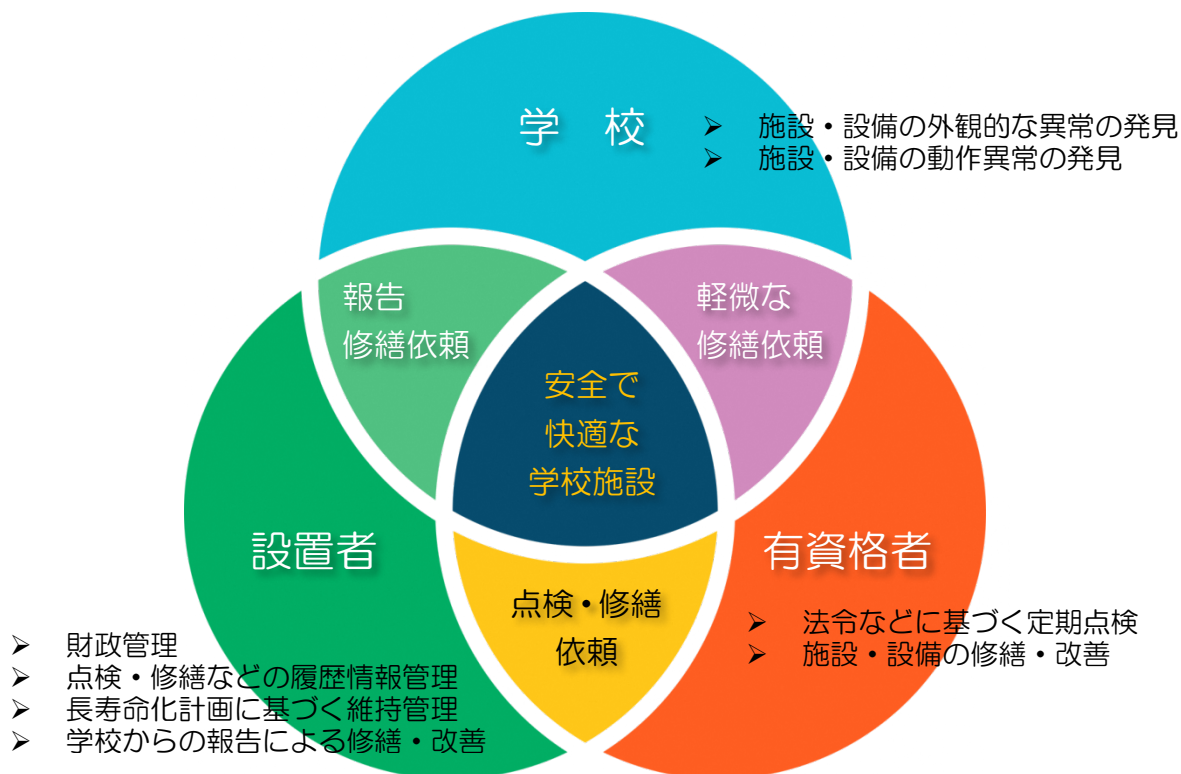
（２）維持管理の項目・手法等

学校施設は、児童生徒等の学習・生活の場であるとともに、非常災害時には、地域の避難所としての役割を担います。そのため、日常はもとより、災害時においても十分な安全性・機能性を有することが求められています。しかし、建設当時には、確保されているこれらの性能も、経年劣化等により必要な性能を満たさなくなっていることがあります。それに気づかずに放置していると、突然外壁タイルやモルタルが落下するなどの事故が発生する可能性があるため、常時健全な状態を維持できるよう、法令などに基づいて定期的に点検を行い、必要な修理・修繕等を速やかに実施することが必要です。

１）維持管理の体制

学校の施設・設備の維持管理は、設置者の責務で行うものとなります。設置者は、法令に定められた定期点検等を専門の技術者に依頼したり、定期的に見回るなど、維持管理を行っていますが、施設・設備の日常的な変化は、毎日学校にいる教職員の方々が一番良くわかっています。したがって、教職員の方々の日常的な施設・設備の点検がとても重要となり、安全で快適な学校施設を維持するためには、「学校・設置者・有資格者」の協力・連携体制が大切となります。

図表 47：施設管理の連携体制



2) 日常的な点検

教職員の方々による日常的な点検については、文部科学省の「安全で快適な学校施設を維持するために」を参考に行うものとします。

なお、この点検は、日常の施設や設備の利用を通じて、症状を確認した際に行うものとします。

図表 48：日常的な点検の内容

点検設備	症状	危険性	留意点
天井	➤ 天井ボードがはずれ、落ちかけている。 ➤ 天井吊りのテレビモニターがグラつく。 ➤ 天井にシミができた。	● 剥がれかかった天井ボード等は落下の危険性があります。	● 天井のシミは漏水などが考えられるので、専門家による調査が必要です。
内壁	➤ 壁モルタルに亀裂が入った。 ➤ ボードが割れた。 ➤ トイレなどでタイルが割れた、剥がれた。	● モルタル等が欠け落ちてくる可能性があります。	● 木製扉のささくれ、クギ等の突起物は怪我の原因となるため、措置が必要です。
床	➤ 床シートが剥がれた、摩耗した。 ➤ 床タイルが剥がれた、割れた。 ➤ 階段の滑り止め金具が外れた。	● 床の損傷は転倒など、怪我の原因となります。	● 放置すると損傷が広がることがあるため、応急措置が必要です。 ● 床は濡れたままにすると剥がれ、割れ等の原因になるため、その都度ふき取ることが大切です。
外壁	➤ 外壁、庇に亀裂が入った。 ➤ 外壁のモルタルが落ちてきた。 ➤ 鉄筋が露出している。	● モルタルが落下する危険性があり、放置すると損傷の範囲が広がることがあります。	● 児童生徒が近づかないようバリケードを設置するなどの措置を講じてください。 ● 専門家による調査が必要です。
屋外遊具施設等	➤ 屋外の鉄製の遊具施設にサビがでている。 ➤ 国旗掲揚ボールの固定部分、根本が腐食している。 ➤ 鉄棒等にグラつきがある。	● 鉄の腐食は進行が早く、突然倒壊する可能性があります。	● 遊具施設は直接雨風にさらされ、乱暴に扱われることがあるため、グラつかないか、ボルトが緩んでいないか等を点検する必要があります。
屋外階段	➤ 階段手すりがグラつく。 ➤ 鉄骨階段にサビが発生した。	● 手すり踏み板などの痛みが著しい場合、緊急時に避難する際、転倒するなど支障となります。	● 手すりのサビ、グラつきを点検してください。 ● サビが進行しないうちに、塗装の塗り替えを行うことが必要です。

資料：安全で快適な学校施設を維持するために/文部科学省

3) 学校施設における定期点検の義務

学校の施設・設備については、建物の劣化・損傷の状況や防火壁が撤去されていないかなどの基準への適合性、非常警報・屋内消火栓等の消防設備の動作状況など、様々な事項について関係法令等により、定期点検等の実施義務が生じています。

さらに、文部科学省では、点検実施義務がない学校設置者に対しても、点検の実施義務がある場合と同様に、建築基準法や関係告示を参考として、有資格者による専門的な点検を定期的実施するよう要請しています（平成 27 年 10 月 30 日付け 27 文科施第 375 号「学校施設の維持管理の徹底について（通知）」）。

本町は、建築基準法に基づく法定点検の義務は生じておりませんが、学校施設を長期的に活用するためには適切な維持管理は必要不可欠であることから、文部科学省の「学校施設の維持管理の徹底について」の通知に基づき、施設の定期点検を実施するものとします。

点検内容は、有資格者による専門的な点検を実施するため、建築基準法第 12 条の法定点検を 3 年毎に実施するものとします。

図表 49：法定点検の実施について

法定点検	制度内容等
建築基準法	建築基準法に基づく定期点検の制度では、学校設置者の別や学校施設の所在地を所管する特定行政庁が学校を定期点検の対象に指定しているかどうかによって、義務付けられる点検等の有無や内容が区分されています。さらに、文部科学省では、点検の実施義務がない学校設置者に対しても、定期点検の実施を要請しています。
消防法	消防法に基づく定期点検の制度では、全ての学校設置者に対して、消防設備の種類に応じて 6 ヶ月から 1 年以内毎に点検し、3 年毎に消防長又は消防署長への報告を行うことが義務付けられています。

資料：子供たちの安全を守るために/文部科学省

図表 50：建築基準法に基づく、学校設置者別の点検内容

学校設置者	特定行政庁が学校を定期点検の対象に		点検等の内容	点検等の時期
	指定している	指定していない		
● 都道府県又は建築主事を置く市町村が所有・管理する公立学校	定期点検の実施義務		建築物の劣化・損傷の状況の点検	3 年以内毎
● 国立学校 ● 私立学校 ● 上記以外の公立学校	定期調査の実施及び特定行政庁への報告義務	義務なし	建築物の劣化・損傷の状況及び基準への適合性等の点検・調査	3 年以内毎で特定行政庁が定める時期

資料：子供たちの安全を守るために/文部科学省

※特定行政庁：各地域において、建築基準法の事務を司る地方公共団体の長のことをいいますが、慣例的にはその地方公共団体のことを指します。

※建築主事：建築基準法に規定する建築確認申請に関する事務を司る者のことで、都道府県及び人口 25 万人以上の市に置かなければならないとされています。なお、これら以外の市町村においても建築主事を置くことができます。

4) 施設・設備点検の実施体制

これまで実施してきた施設・設備の継続的な点検の項目を整理します。なお、専門業者以外が行う日常的な点検は、前項の2) 日常的な点検に基づき、教職員等で実施するものとします。

図表 51：施設・設備点検の実施体制

種別	点検内容	実施対象者	点検時期	備考
日常的な点検	建物の劣化・破損の状況	教職員	常時	継続(見直し)
定期点検	建物の劣化・破損の状況	有資格者	3 年	継続
	消防設備等点検	専門業者	6 ヶ月	継続
	電気設備点検	専門業者	2 ヶ月	継続

5) 点検・修繕などの履歴情報の管理

学校施設を適切に維持管理するためには、施設名、竣工年、延べ床面積などの施設の基本情報とともに、点検記録や修繕・改善の履歴情報、今後予定する修繕・改善計画の情報を一元管理するデータベースを構築し、情報を集積することが重要となります。

なお、このデータベースは設置者が管理し、各学校と専門業者との連携を円滑に図るためのツールとして活用します。

6. 長寿命化の実施計画

本計画における長寿命化の実施計画の検討は、鉄筋コンクリート造、鉄骨造の校舎と屋内運動場を対象とするものとします。

(1) 補助制度と事業内容

各学施設の改修工事は、長寿命化改修事業を活用することを前提に実施計画を立てるものとします。なお、将来において長寿命化改修事業の補助制度以上に有益な制度が施行された場合は、他省庁の制度であっても積極的に活用を検討するものとします。

図表 52：補助制度の整理

項目	大規模改造(老朽化)	長寿命化改修事業	改築
趣旨	経年により、通常発生する学校建物の損耗、機能低下に対する復旧措置等	建物の耐久性を高めるとともに、現代の社会的要請に応じた施設への改修	構造上危険な状態にある建物や、教育を行うのに著しく不適当な建物で特別の事情があるものの改築
交付金算定割合	33.3%	33.3%	33.3%
地方財政措置	なし	40.0%	40.0%
実質的な地方負担	66.7%	26.7%	26.7%
上限額	2 億円	なし	なし
下限額	0.7 億円	0.7 億円	なし
補助要件	・建築後 20 年以上経過したもの ・外部及び内部の両方を同時に全面的に改造するもの	・建築後 40 年以上経過したもの ・今後 30 年以上使用する予定のもの ・構造体の劣化状況等について調査を行い、劣化対策を要すると学校設置者が判断するもの	・危険建物の改築 耐力度調査の結果、基準点以下となったもの ・不適格建物の改築 Is値がおおむね 0.3 に満たないもの又は、保有水平耐力に係る指標(q)の値がおおむね 0.5 に満たないもの
補助単位	改築単位 (約 17 万円/㎡)×53%	改築単位 (約 17 万円/㎡)×60%	改築単位 (約 17 万円/㎡)

資料：公立学校施設整備について/文部科学省

図表 53：長寿命化改修事業と大規模改造(老朽)事業のポイント

項目	長寿命化改修事業	大規模改造(老朽)事業
建築後経過年数	40 年以上	20 年以上
今後の使用予定年数	30 年以上	30 年末満でも可
改修面積	原則建物一棟全体	内部・外部のいずれかの施工割合が 70%以上、もう一方が 50%以上
構造体の長寿命化	実施	実施しなくてもよい
ライフラインの更新	実施(実施済み含む)	実施しなくてもよい
その他長寿命化に必要な工事	原則実施	実施しなくてもよい

資料：公立学校施設整備について/文部科学省

図表 54：長寿命化改修事業の工事内容

必ず実施する工事	
鉄筋コンクリート造及びコンクリートブロック造の場合、a～cのうちいずれか 1 つ以上の工事	a:コンクリートの中性化対策
	b:鉄筋の腐食対策
	c:鉄筋のかぶり厚さの確保
鉄骨造の場合、a、b のうちいずれかの工事	a:鉄骨の腐食対策
	b:接合部の破損の補修
木造の場合、構造体の腐朽対策(土台、柱、梁等)	
水道、電気、ガス管等のライフラインの更新	
原則として実施する工事	
耐久性に優れた材料等への取り替え(劣化に強い塗料、防水材等の使用)	
維持管理や設備更新の容易性の確保	
少人数指導など多様な学習内容・学習形態による活動が可能となる環境の提供	
断熱、二重サッシ、日射遮蔽等の省エネルギー対策	

資料：公立学校施設整備について/文部科学省

(2) 整備レベルの見直し

前章の基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準で取りまとめたように、老朽化した施設・設備を現代の技術水準で改修することにより、現在の社会的要求に対応できる設備にグレードアップを図り、現行施設の仕様状況から、「長寿命化改修」を行うものとします。

なお、改修単価の設定に当たっては、用地補償業務に用いる推定再建築費から施設部位毎に工事費を積算し、㎡当たり単価を設定しています。

図表 55：㎡当たり単価

(円)

項目		校舎 (RC 造)	屋内運動場 (S 造)	給食棟 (RC 造)
工種	部位			
仮設	1 仮設	8,300	22,600	8,300
躯体	2 基礎	19,200	19,200	18,200
	3 軸部	90,900	94,000	90,900
外部	①屋根・屋上(陸屋根防水仕上)	10,600	10,600	10,600
	(金属板葺)	16,500	16,500	16,500
	(日本瓦)	20,100	20,100	20,100
	②外壁	12,400	12,400	12,400
	③外部天井	100	2,100	100
	④外部雑	16,400	5,500	16,400
	⑤建具(外)	14,400	20,100	14,400
内部	⑥内壁	14,600	12,800	14,600
	⑦天井	7,000	5,600	7,000
	⑧造作	15,000	15,000	21,900
	⑨床	13,500	19,800	8,300
	⑩建具(内)	8,800	3,000	8,800
	⑪給水	5,400	8,600	5,400
設備	⑫給湯	300	700	300
	⑬排水	5,700	11,500	5,700
	⑭電灯	7,500	9,500	7,500
	⑮電気(配線、配電 e t c)	18,500	15,700	18,500
	⑯EV	0	0	0
	⑰消防防火設備	1,300	1,800	1,300
	⑱ガス	1,500	2,900	1,500
	⑲空調	22,200	3,500	22,200
	⑳トイレ	3,000	4,000	3,000
予防改修単価(①～③、⑭、⑮、⑲)		71,300	53,800	71,300
長寿命化単価(①～⑳)		178,200	171,000	179,900
建替え単価(1～3、①～⑳)		296,600	306,800	297,300

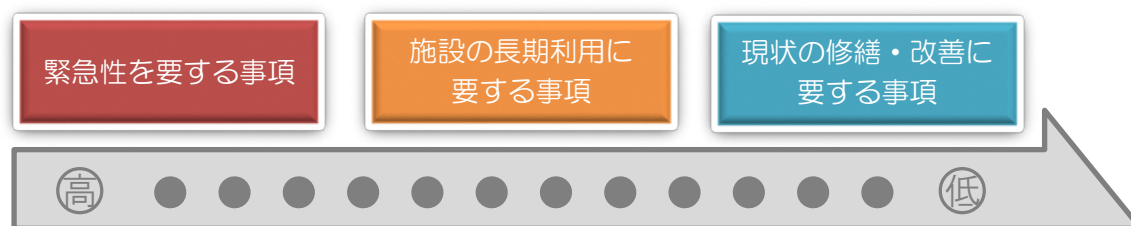
※政府において、蛍光灯の省エネルギー性能に関する基準を厳格化する方針が閣議決定され、蛍光灯の流通が実質的に終了を迎えるとともに、経産省では、2030 年までに、公共施設を含む全ての建築物における LED などの高性能照明の普及率 100%を達成するという目標が掲げられました。このことから照明設備を LED 照明器具に改修するものとします。

（３）改修等の優先順位付けと実施計画

１）改修等の基本方針

学校施設の改修等を実施するに当たり、前章の４．学校施設整備の基本的な方針等に取りまとめたように、児童生徒の安全に関するものを最優先とする「緊急性を要する事項」、施設の老朽化対策に関する「施設の長期利用に要する事項」、設備の質や環境に関する「現状の修繕・改善に要する事項」を基準とするとともに、前項の（１）補助制度と事業内容で整理した実質的な地方負担が少なくできる長寿命化改良事業を原則に改修事業の優先順位付けを検討するものとします。

図表 56：改修等の優先順位の考え方



２）長寿命化改良事業の対象要件と各学校施設の状況

前項の（１）補助制度と事業内容の長寿命化改良事業の対象要件となる学校施設は、「建築後40年以上経過したもの及び今後30年以上使用予定であるもの」と定めていることから、校舎や屋内運動場などの大規模施設（目標使用年数60年以上）を対象としているものと考えられます。

前章の４（２）３）目標使用年数の設定で90年以上使用するものとした校舎や屋内運動場などは54施設あり、このうち、すでに建築後40年以上経過したものが23施設あります。

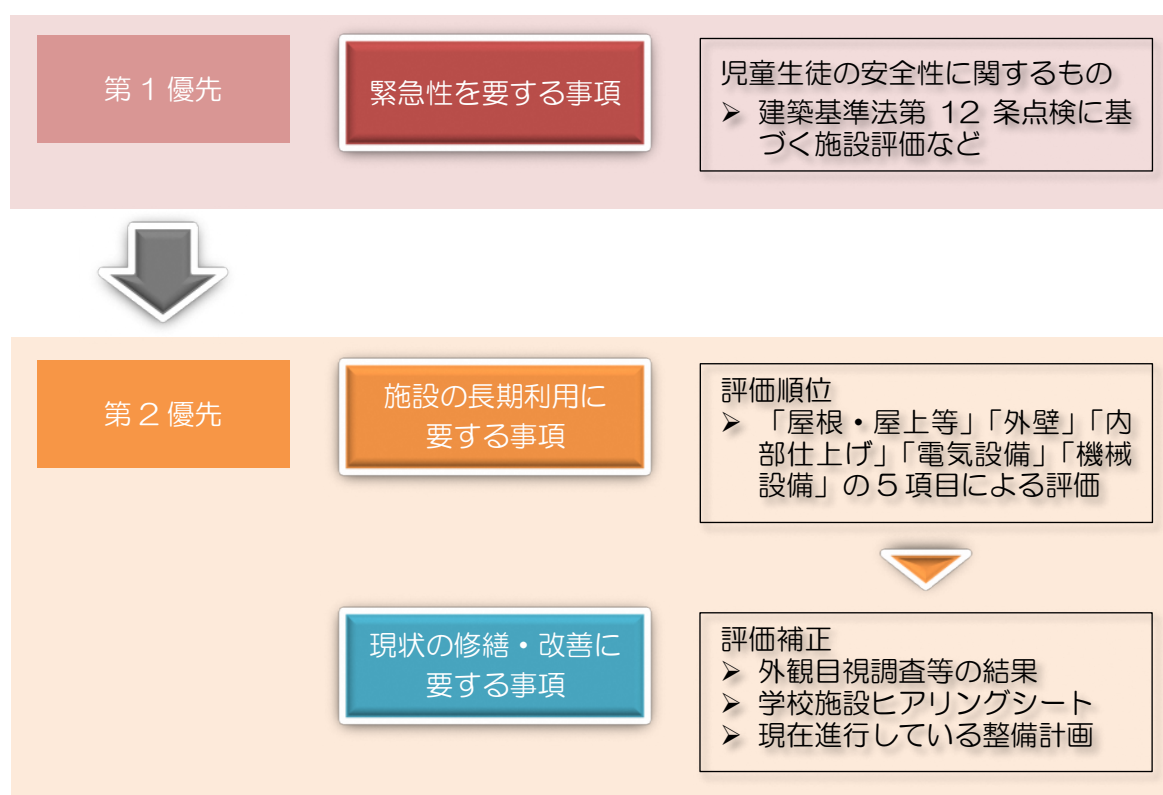
3) 改修等事業の優先順位付け

改修等事業の優先順位付けにおいては、前項の1) 改修等の基本方針で整理したように、「緊急性を要する事項」を第1優先とし、次に「施設の長期利用に要する事項」などを実施するものとします。

「施設の長期利用に要する事項」などの順位付けの方法としては、前章の3(2)2)②解説書に基づく施設評価で整理した施設部位評価を文部科学省の「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」の健全度の算定方法に基づき算出し、改修等事業の優先順位を点数評価します。

さらに、健全度の算定で算出した優先順位は、施設全体における評価であるため、各部位の劣化状況に着目し、劣化が進行していると評価したC及びD評価がある場合は、その部位を優先して修繕・改善を検討するものとします。

図表 57：改修等事業の優先順位評価方法



4) 改修等の実施計画

長寿命化対象とした全 56 施設の改修費用の縮減効果を検証するため、従来の改築中心の維持管理モデル（建替え：40 年）と長寿命化の維持管理モデル（建替え：90 年）における今後、90 年間の更新に要する費用を比較検証しました。

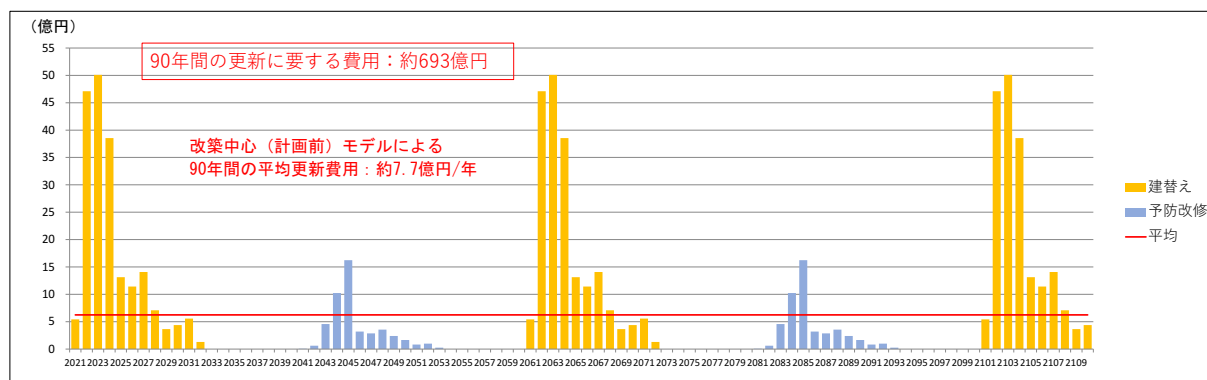
改築中心の維持管理モデルでは、今後 90 年間の更新費用は、約 693 億円となり、年間平均にして、約 7.7 億円の費用を要します。

一方、長寿命化の維持管理モデルでは、今後 90 年間の更新費用は、約 444 億円、年間平均で、約 4.9 億円となり、単純に更新費用を比較すると、約 249 億円の費用削減が見込まれることから、長寿命化改修による財政負担の縮減効果が確認できました。

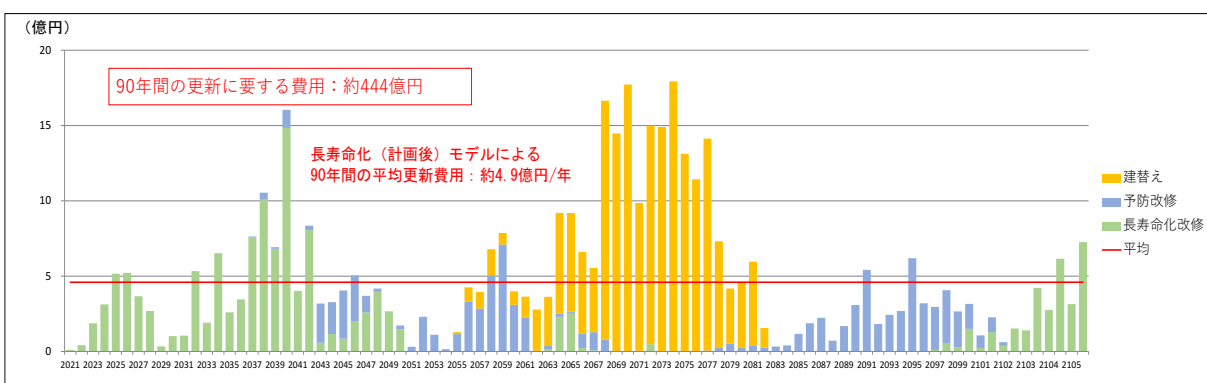
なお、前章の 3（1）3）財政状況において、「壬生町公共施設等総合管理計画」に基づく更新費用を約 328 億円（40 年間）と整理しました。この試算結果と本計画の長寿命化の維持管理モデルの更新費用（約 158 億円）を単純比較すると、今後 40 年間で、約 170 億円の財政負担の縮減が見込まれる実行計画となりました。

※今回、試算した改築中心の維持管理モデルと長寿命化の維持管理モデルには、公共施設等総合管理計画の更新費用にない設計費が含まれています。

図表 58：改築中心の維持管理モデルによる 90 年間の更新費用



図表 59：長寿命化の維持管理モデルによる 90 年間の更新費用



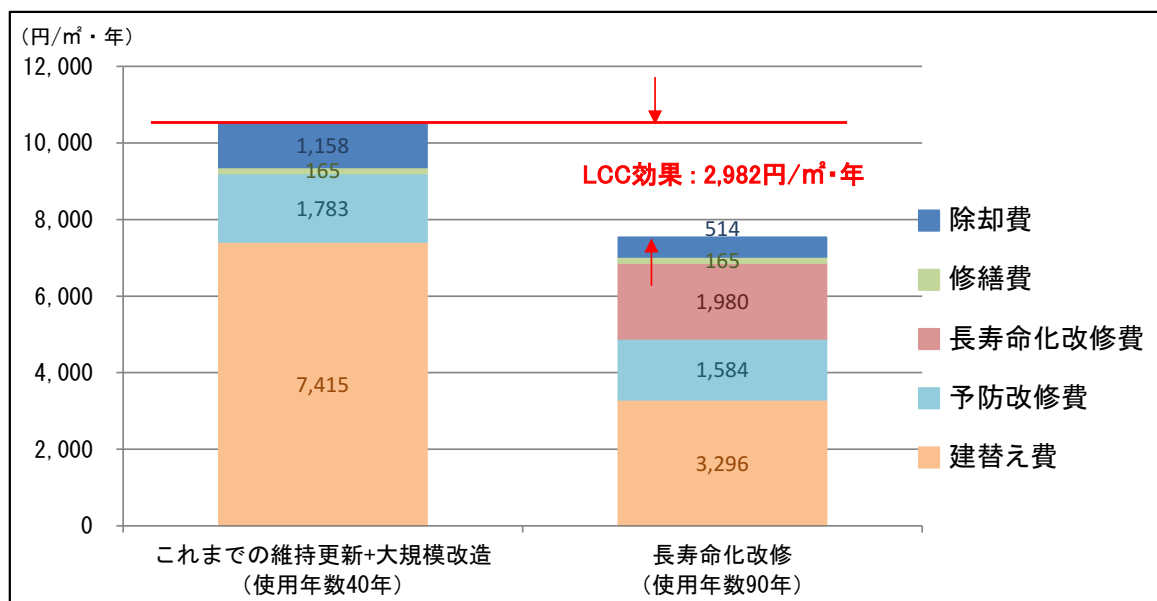
5) 長寿命化のコストの見通し、長寿命化の効果

ライフサイクルコストを算定するに当たり、主な改修内容は、前項の(2)整備レベルの見直しに基づき算定を行うものとします。

改築中心の維持更新モデルは、予防改修を1回実施し、更新期間40年で算定するものとします。長寿命化改修モデルは、改修時期を20年間隔として予防改修を2回、長寿命化改修を1回実施するモデルで、更新期間を90年として算定するものとします。

この条件下における長寿命化の効果として、年間2,982円/㎡の事業効果を確認しました。

図表 60 : LCC 算定と長寿命化の効果



※Life cycle cost (ライフサイクルコスト): L C C

7. 長寿命化計画の継続的運用の方針

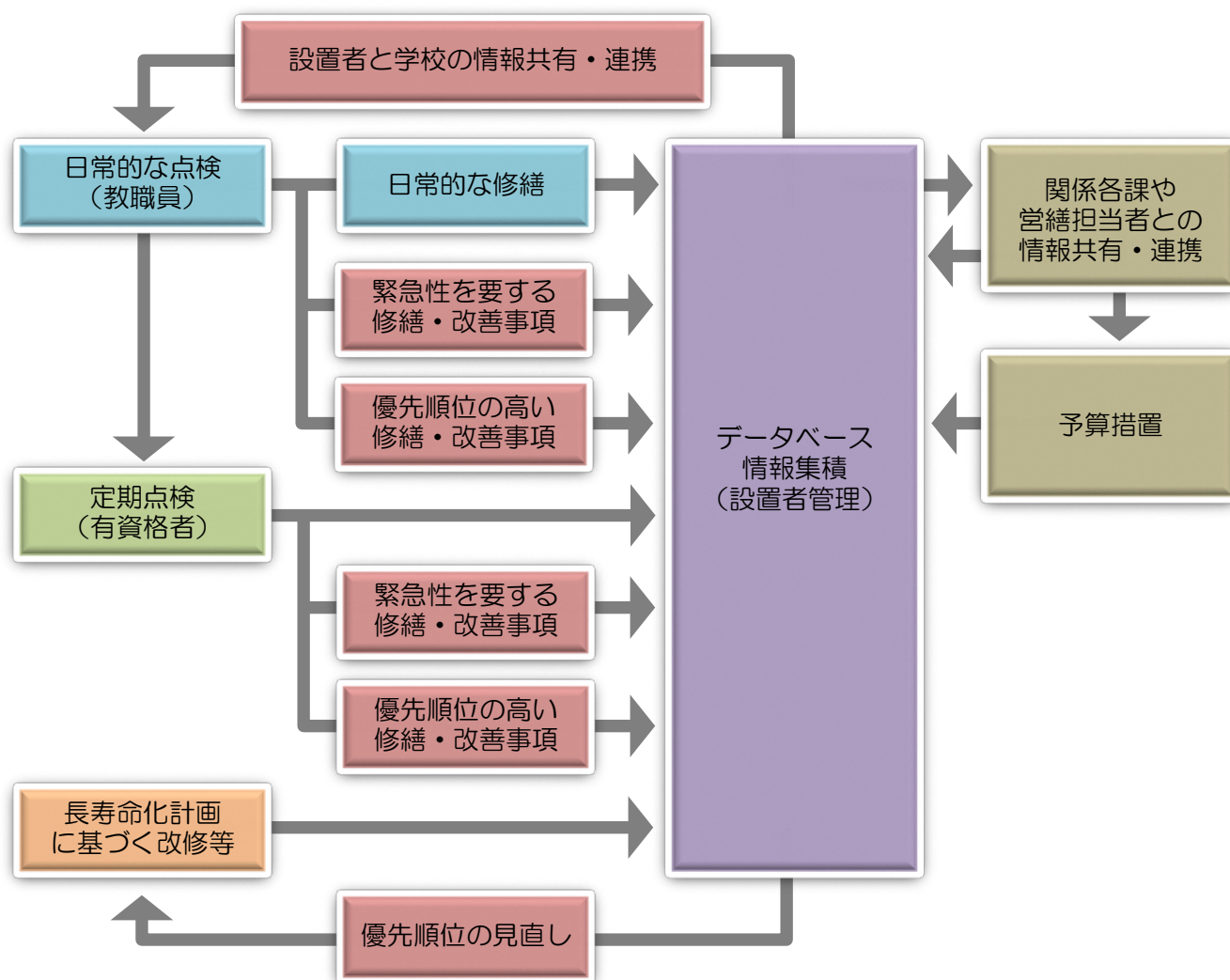
(1) 推進維持体制等の整備

前章の5. 基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等において整理したように、安全で快適な学校施設を維持するためには、「学校・設置者・有資格者」の協力と連携体制が重要となります。

この連携体制をより強化するためには、施設情報や点検記録、修繕履歴、今後の修繕・改善計画などを一元管理するデータベースの運用が効率的かつ効果的です。

日常的な点検や定期点検により明らかとなる緊急性を要する修繕・改善事項、優先順位の高い修繕・改善事項などの情報をデータベースに集積し、その情報を庁内関係各課や営繕担当者、各学校と共有して連携を図るとともに、長寿命化計画に反映させ優先順位を見直すことで、継続的に運用できるメンテナンスサイクルの構築を図ります。

図表 61：推進維持体制のフロー（メンテナンスサイクル）



(2) フォローアップ

フォローアップは、3年毎に実施する有資格者による建物の定期点検の結果を基に行うものとします。この点検結果で緊急性を要する修繕・改善事項や優先順位の高い修繕・改善事項の情報を受けて、長寿命化計画における修繕・改善計画とかい離が見られる場合は、必要に応じて改修等の優先順位の見直しを行うものとします。

なお、教職員の行う日常的な点検において、緊急性を要する事項が発生した場合は、その都度対応を図るものとします。

壬生町学校施設長寿命化計画

令和3年3月

発行：栃木県壬生町

編集：壬生町学校教育課

T E L：0282-81-1870

F A X：0282-82-0935

E-mail: kyoiku@town.mibu.tochigi.jp